發行所 株式會社滿洲日報社

方振武、中央兩軍遂に高麗營附近にて衝突
形勢は急角度で重大化

【新京特電】懷柔に集結した方振武軍はわが關東軍の嚴重なる撤退通告により牛山を通過し順義に移動し、一方劉桂堂及び吉鴻昌は北平北方高麗營に集結し既に何應欽軍と激戰を交へつゝあり、斯くして協定線外に撤退した方振武軍の順義集結と劉桂堂、吉鴻昌兩軍の高麗營進出により北平は指呼の間に迫り、何應欽も北平を中心として嚴重なる陣地の構築をなしつゝあり、事態は或は急角度に重大化せん形勢を示してゐる

【北平特電二十七日發】方振武軍の大部分は三河縣に逃竄し夜陰に乘じて全部東へ逃走すると見られてゐる

【北平二十七日發國通】支那紙によれば牛欄山に移動した方振武軍は今暁零時二隊に分れ牛欄山を出動一隊は東進し三河方面へ、一隊は南下し高麗營に向ひ依然移動を續けてゐるが、今曉四時高麗營附近で中央軍との間に小規模の前哨戰あり、更に今曉北平より順義に向つた長途列車は運行の危險を感じ北苑より北平に引返した

【北平二十七日發國通】牛欄山一帶の方振武軍は二十五日夜東南兩路に向つて前進を開始し、東路は三河縣境に向ひ玉田にある老耗子と連絡せんとしつゝあり、南路は高麗營の東方四里の小營村及び中村一帶に前進し昨朝四時先鋒部隊は保安隊と衝突を見た、戰線十餘里に亘り戰ひは午後一時に至るも止まず、住民は昨朝來北平に續々避難しつゝある

【北平二十七日發國通】今朝の大公報によれば昨日午後五時頃高麗營以北の中村一帶において支那側軍隊と方振武軍と交戰の火蓋を切つた、吉鴻昌部隊は現在懷柔以西に在り漸次西南に退走するものと觀られる

灤東土匪軍撫寧占領

【天津特電二十六日發】方振武軍と連絡ある灤東の土匪軍約五千は保安隊を擊破し撫寧を占領し更に昌黎に迫りつゝあり

方軍撤退を嚴重監視

【東京特電二十七日發】北平來電によれば、密雲にあつたわが部隊の一部は方振武軍撤退の跡を追ひて二十六日○○に入城、又○○に待機中のわが○○機○臺は方、吉兩軍の協定線外撤退を嚴に監視中の偵察によれば、同日正午頃方振武軍は板橋村(高麗營子北方)を通過して西方へ協定線外に前進中である、吉鴻昌軍は二十五日九渡河(昌平北方五里)を經て西南方に前進した模樣であるが、劉桂堂軍は南下の形跡なく方振武及び吉鴻昌の部隊は早くも孤立無援に陷つてゐるが、わが軍では依然これらの狀況を嚴重監視中である

【新京電話】二十六日正午支那軍は南方から順義及びその南方の孫家鎭方面に到着し方振武軍に對し陣地を構築中である、なほ飛行機

皇軍態度公明
わが軍飛行機北平上空を飛翔
軍司令官の傳單撒布

【北平二十六日發國通】本日午後零時三十分頃我軍○○機○機南方より飛來、北平上空を通過傳單を撒布して北方に飛び去つた、なほ本日は北風強く該傳單は大部分城外に散つた、傳單の內容は左の如し

中國軍當局官憲民衆に告ぐ最近方振武及び中國人間に停戰協定を無視し大軍を非戰區內に侵入せしめ地方民衆をして敢て塗炭の苦しみを與へんとするものあり、しかしながら大日本軍司令官は中國相互の係爭に對しては絕對干涉せず、飽くまで公明正大なる態度を持して停戰協定の精神を遵奉し、茲に武裝中國軍の線區撤退を要求せるものである、而して彼等が飽くまで反省するところなき時は斷乎討伐の決意を有する、固より方軍の反則は事實明瞭にして中國軍亦方軍討伐の意あることを確信する更に該地は停戰協定により武裝中國軍の侵入を許さざる地なるに鑑み茲に彼等の線區外撤退を要求するもので其他毫末の他意なきを重ねて聲明す、然れども不幸已むなく方軍と干戈を交へ爲に受くる民衆の損害を思ふとき本司令官は斷腸の思ひあり、希くは地方官憲民衆一致團結し方軍を線區以南の地へ撤退せしむれば幸甚なり

大日本軍司令官

方振武軍撤退

【東京二十七日發國通】方振武の率ゐる討構軍は日支停戰協定線內懷柔に進入したるため、我が關東軍は二十二日方振武に對し撤退を警告したに對し二十四日これを容れて撤退を開始するに至つたので二十六日陸軍省より左の如く發表された

懷柔にある方振武軍は二十二日我關東軍より撤退勸告をなしたるを容れ二十四日順義方面へ(協定線內)撤退行動を開始したり

廣田外交の對支方針
愈よ積極的に乘出すか
蔣公使に早急歸任を申入る

【東京二十七日發國通】廣田外相は就任の際の聲明によつて明らかなるが如く對支外交調整を重大政策の一として抗日休止、一時的退却を爲した支那に對し、有吉公使を通じて機會ある每に南京政府と折衝せしめ日支關係常道關係樹立に努力しつゝあつたが、外相は更に蔣公使の歸國により折角打合せに不便を感じ今後益々多岐多端の交涉にも支障を來すを遺憾とし二十六日駐日支那公使代理江華本氏を通じて南京に在る蔣公使に宛て速かに歸任されたき旨申入れた、右に對し蔣公使も同意し愈々來月上旬歸任する事となつたが、果して蔣公使が如何なる訓令を攜行するか、右は廣田外相が從來の靜觀主義を拋棄し積極的に乘出すにあらずやと注目されてゐる

その後の熱河 (5)

山口特派員撮影 島田特派員記

承德離宮 老虎塔

◇…熱河は北に沙漠を控へ、西は山岳連なり、僅かに東南部に平野を有するのみで、冬近づけば朔風吹き荒ぶ。

◇…然し夏季における承德地方は滿洲有數の樂天地、灤河の流れにうるほうて青葉涼風に饒へり、山岳には卓花の錦を織る。

◇…承德離宮は絕好の地を占めて内に山あり、清流あり、その間に壯麗なる殿堂點在して世界の秘園と稱せらる、今は我○團司令部が入り熱河の治安に當る。

將來の滿洲には安い資本が必要
大淵滿鐵理事來連談

滿鐵東京支社長大淵理事は林田經理課長と共に二十七日入港うらる丸で來連した、主なる用件は近く行はれる豫算會議に出席の爲で、併せてこの機會に奥地を視察北鮮方面を一巡する豫定であるが、船中語る

四月に來て以來だ、主要な目的は豫算會議に出席の爲である、同時に社務の打合せをする、當分居るがそれ迄に**北鮮方面**を視察して十月十日前後に今一度來連する、今のところ東京支社の方には支社の建築位で大した變りはない、林總裁も二日に東京を立つて豫算會議迄に歸任の豫定だ

×

滿鐵の株は大變評判がよく政府當局は勿論關係者方面、内地新聞界等の絶大な後援好意によつて未曾有の好績を收めた、今のところ株主に割當てた二百二十萬株もバタバタ片づいて自分の來る迄に殘株七千といはれてゐたが恐らく今時分は三千位になつてゐるだらう、大正九年の增資の時十二萬株も殘つたのと比較すると大變な相違だ、今度**成功した**原因は公募を先にやつて、プレミアムの値が出たのと未募集株がなく百廿萬株全部市場に出た事などがかうした好成績を得させたのだと思ふ

×

經濟界の狀況から見て將來滿洲には巨額の安い資本が必要だ、さうした巨額の安い資金を得る事が滿蒙工作の大問題だと思ふそれには信用が大切だ、内地金融界方面から信用を得る事が急務だと信ずる、そこで滿鐵では日本における銀行團の代表者を招き生きた滿洲を如實に見て貰うといふ目的でかれて交渉のところ、金融界の第一線に立つ興銀寶來理事、第一銀明石副頭取、安田森副頭取、住友大平常務、正金最上頭取、川崎第百銀星野取締、朝鮮松田理事、三菱瀬下常務の八氏が七日神戸をはるびん丸で出發、約十八日間の豫定で北はハルビン迄滿洲における**實情を見**る事になつた、これは滿鐵が招くが滿鐵のみならず一般民間の人も廣く接觸して欲しいものである、いづれも多忙の中を割きはじめて來滿するもので經濟工作をやる時期には好いチャンスである、社債の借替も御承知の樣に好い機會をつかんで成功した、六分乃至六分五厘の利子を四分五厘にしたのだが金額にして二百萬圓の利益が擧るわけで、これは純益だから馬鹿に出來ぬ、增資に關する報告總會は十二月中旬頃行ふつもりだが、これで今年總會は三度やる事になる

×

日滿マグネシウム會社は近波博士が創立委員長だつたが病氣なので私が代つてゐる、株式の割當は大體決つた供給者と需要者で引き受ける事になつてゐる　**創立總會**を十月二十日頃やるつもりだ、資本金七百萬圓、株の半數七萬株を滿鐵が、三萬株を理研が、その他を住友、三菱等が引受けるはずだ

最後に政界の模樣をと水を向けると「落ちついた樣な、つかない樣な」と巧にポイントを外してしまふ、例の兒玉博士事件に就いては「全く初耳だ、博士は面識あるがそれは大變な事件だね」

關東廳に新機關設置
滿鐵其他の業務監督
明九年度より實施決定

滿鐵業務監督機關に關しその後拓務省と關東廳との間において、これが打合せを進められてゐたが、最近滿鐵の業務が著るしく發展しつゝあり、これに伴ひ傍系會社も相當成績を示して居り、又去る九月一日より關東廳の一部であつた電信電話が獨立して會社となつて現れるなど直接監督の位置にある關東廳地方課の業務は多忙を極め現在の人員及び制度では十分な監督が行屆かずこれが措置として種々考究されてゐたが、今度關東廳に滿鐵及び同傍系會社、電信電話會社を統制する卽ち監督課なるものを設置することになり、關係各課において打合せを濟まし來年度より實施することに決定、二十七日日下局長より長官に詳細說明する所あつたが、監督課の內容は

一、勅任事務官一人(滿鐵並びに通信會社監督業務の總轄)

一、勅任技師一人(滿鐵並びに通信會社の技術方面總轄)

一、理事官一人(事務主任)技師一人(鐵道並びに化學方面擔任)

その外に屬四人雇三人を置き

一、滿鐵會社自體の事務擔任

二、滿鐵傍系會社の業務監督擔任

三、鐵路總局關係及び滿鐵會社の組織重役その他の關係擔任

四、通信會社の事務擔任

對日本軍の疑惑一掃
殷同線區委員談

【北平二十七日發國通】柴山武官は關東軍の訓電に接し二十六日午後二時何應欽を訪問し、日本側の方振武に對する態度につき通告したが、右會見後線區接收委員の一人として日本側との折衝に重きを成した殷同は語る

日本軍の態度は公明正大なもので我方の要求も容れて貰つたから日本軍は方振武、吉鴻昌兩軍を西南方に驅逐して吳れるものと思ふ、之で我方の一部で心配した方、吉兩軍の背後に日本軍ありとの疑惑も全く一掃された

中傷宣傳に嚴重警告

【北平特電二十七日發】支那軍憲は方、吉兩軍の行動が日本の煽動に依ると中傷宣傳してゐるので、柴山武官から二十七日何應欽に對し嚴重警告を發した

鹿子木博士の講演と座談會
あす滿鐵地方部地方課主催で

滿鐵地方部地方課では目下來連中の九州帝大教授鹿子木員信博士を聘し二十八日午後四時半社員俱樂部階上第二食堂に於て講演會を開催し一般の來聽を歡迎する由

鹿子木博士は日本精神を基調とする大亞細亞主義者で今年既に渡支二回、特に今回は北滿、蒙古、熱河、北支方面の視察を終つての歸途であり、現代右翼の最大團體たる國本社內唯一の理論鬪士たる同博士の所說に傾聽することは時節柄頗る有益であらう

尙右講演終了後引續き同俱樂部第一集會室に於て鹿子木博士を中心とする滿鐵人及び日滿關係者の座談會が開かれる筈

滿洲國へ特派の我"法曹使節"
けふ、うらる丸で來連

日滿法曹の提携親善を圖り以て司法制度の改善並びに民權の伸張に寄與せんがため去る七月十日の總會において代表を派することを決した日本辯護士協會滿洲國特派代表一行の駒澤辰明、溝口喜方、平野卯三郎、松井繁太郎、古森幹枝、江崎縫三の五氏は二十三日東京驛を出發し二十七日入港のうらる丸にて來連、ヤマトホテルに投宿したが、船中一行を代表して駒澤氏は語る

今まで實業界、政界の代表は度々來滿してゐるが、法曹使節は今回が初めてゞす、かつて一地方から來たことはありますが、それは今回の如き正式の使節ではなかつたのです、今度は日本辯護士協會といふ全國に亘る勿論關東州も含んでゐますが、その中から私と溝口、平野君は東京、松井、古森の兩君は廣島、江崎君は名古屋からといつた工合になつてゐます、昨年代表派遣の話が出たのですが、未だ充分に治安も恢復してなかつたので取止め、今秋になつて漸く實現したわけです、漸く滿洲國の治安が維持され司法部が漸次完成されつゝある際に我々代表が來滿富路者と意見の交換を行ひ法曹界の親善、延いて日滿朝野の親善を圖りたいのが念願です新京に行き執政に賀表を捧呈した上、十月の十日頃歸りますが滿洲國の辯護士は許可方針のため、我々が來ると自分等の生活圈內に割込まれはしないかといふ懸念を持つて却々我々と會はうとしないのです、決して我々はそんなケチな考へを持つてゐるのではないから大いに滿洲國人の辯護士と會つて意見を交換します、この點は鄭孝胥氏にもよく諒解を求めておきました、問題になつてゐる治外法權撤廢は今何んとも意見は申上げられません、視察してからのことです、青柳辯護士の問題は一寸新聞で知つてゐます、これも辯護士協會の協議によつて近く目鼻がつくでせう(寫眞は一行)

大連醫學會例會

大連醫學會では二十九日(金曜日)午後正四時より大連醫院に於て例會を開催左の講演ある由

(一)姙婦尿注射の家兎哺乳仔の發育並各臟器殊に內分泌腺の發育に及ぼす影響に就て(第二回報告) 松浦豐

(二)尿注射に依る家兎チレオテストの小實驗 今井實

(三)腦液水素「イオン」濃度及び臨液內糖酸排泄に及ぼす臟汁酸の影響 藏本常雄

(四)トロンメル氏反應の膠質化學 田中貫一

▲特別講演 題未定 日本商科醫專教授 加藤清治

全滿司法會議

全滿司法官會議は來る十月十日から四日間關東廳において開催されることゝなつたが、滿洲司法制度問題、辯護士法改正問題等の重要事項及び司法事務改善に關する打合せが行はれる筈

駒澤氏歡迎會

明治大學校友會では校友、商議員、辯護士駒澤辰明氏二十七日うらる丸にて日本辯護士協會の要務を帶び來連につき二十七日午後六時より菊水にて歡迎會開催につき多數校友の出席を希望すと

はるびん丸船客

【門司特電二十七日發】二十九日大連入港豫定のはるびん丸の主なる船客諸氏

大阪朝日新聞專務取締役上野精一、同營業局長辰井梅吉、同販賣部長忠田平造、同通信部長內田眞吉、滿洲醫大學長稻葉逸好、陶器會社員高山雄次、貿易商野崎末男、機械製作業日高晴生、會社員大森豐二郎、同小原和吉、西原一秀、步兵少佐旦左近、平山謙三郎、高良淳

▲林滿鐵總裁夫人並令嬢 二十七日入港うらる丸にて歸連

▲大淵三樹氏(滿鐵理事) 同上

▲一宮銀生氏(大日本麥酒重役) 同上

▲荒井陸男氏(洋畫家) 同上

▲神尾茂氏(大朝記者) 同上

▲關田勉次郎氏(滿洲電々會社庶務課長) 同上

▲駒澤辰明氏、江崎縫三氏、溝口喜方氏、平野卯三郎氏、松井繁太郎氏、古森幹枝氏(以上辯護士) 同上

▲林田精一氏(滿鐵東京支社經理課長) 同上

▲藤好南海生氏(日本醱素株式會社) 同上

▲宮部美子氏(滿洲國警備司令夫人) 同上

▲池內眞清氏(關東廳檢察官) 二十七日出帆しあさる丸にて上京

▲迫喜平次氏(國務院人事處長)同 午前八時着列車にて來連遼東ホテル投宿

▲鈴木熊太郎氏(一等主計正關東軍經理部長) 同上

▲山領貞二氏(鐵路總局工務處長) 同上

▲國防婦人團一行十七名 同上

▲金井章次氏(奉天省總務廳長)同 午前九時發はとにて歸奉

蛇角

◇ いよ／＼出でゝいよ／＼怪奇な兒玉博士毆殺人事件。

◇ 謎は謎を生み、疑惑はさらに疑惑を增す。

◇ 際限なく繰り擴げられ行く戀愛葛藤の大繪卷物。

◇ 血腥き殺人事件を背景に、咲き亂れる眞紅の花の毒々しさ。

◇ これを一篇の探偵小說と見、或は一幅の異色繪畫と見んか。

◇ 亂歩も、龍子も、筆を投じて嗟歎せんのみ。

◇ 亂れ生ふる葵の中に鬼薊。

東天紅 (211)
田中純
林一三 畫

モンナ・ヴンナ (七)

「だけど、ねえ、文子さん」

文子の目が、晶子の指輪に落ちてゐるのを見ると、晶子は、こことそ思つたやうに、言ひ續けた。

「あなたがもし、松波から、無事にそのお金をお借りになろうと思つたら、あなたの方でも、多少の辛抱はなさらないと駄目なことよ」

「辛抱と言ふと」と、文子は訊き返した「たび／＼松波さんにお願ひに上らなきやならないの？」

「ううん、そんな意味ぢやないけども、ただ、松波と言ふ人に就てまりれ、あの人、老人の癖に、ちよつと變態なところがあるのよ」

「……」

文子は、何を言ひ出すのだらうと思つて、晶子の顔を見つめた。

「だからね、あなたにお目にかゝつてる間にも、多少失禮なことをするかも知れないのよ」

「まア」

「尤も、失禮なことゝいつたつて、たゞ、ちよつと、いやらしいことをいふとか、手を觸りに來るとか、そんな程度のことなんだけど……」

「まア。そんなことをなさるの？」

「だけど、ただ、それだけのことよ。それ以上のことは、決してしやしないから、安心してらして好いの」

「まア。だけど、何故、そんなにお年を召してらして、そんなことをなさるのでせう？」

「そこが、つまり、變態の變態たるところなのよ。だから、自分でも、半分は無意識にやつてるらしいの。ただ、自分の目の前に美しい白い手があると、どうしても觸らないでゐられないのですつて」

「まア……」

「つまり、子供が美しい花を見ると、どうしてもそれに手を出さないでゐられなくなる、あの氣持と同じなのよ。だから、本人は非常に無邪氣な氣持でやつてるんだけど、他人から見ると怪しからんと言ふことにもなるのよ」

「だけど、私なぞにも、そんなことをなさるか知ら？」と、文子は不安げに訊いた。

「それは、多分、するだらうと思ふの。だつて、あなたのやうな美しい人を目の前に置いて、あの人のその病氣が起らない筈はないのですもの」

「まア。そんなんだつたら、わたし厭だわ」

文子は、さう言はないで居られなかつた。

「だけど、それがお厭だとすると、この話しはちよつとむつかしいかも知れなくてよ。だつて、松波と言ふ人は、手を握るくらゐに好きにならなければ、決して、金なんぞ出さない人なのだから」

晶子は押しつけるやうに言つてじつと、文子の顔を見た。

「まア。それではわたし、どうしたら好いのよ。手を握られても、じつとしてゐなきやならないの？」

言つた時、文子の顔は、かすかな蒼白を帶びてゐた。

「ううん、それは、臨機應變で、どうなすつても好いのよ。ただ、その際、あなたが聲を立てたり、邪慳に振り拂つたりなさると、結果が惡いかも知れないの。松波と言ふ人は、根は非常に善良なのだけど、對手が自分に好意を持つてゐないと見ると、すぐに、自分でも好意を棄ててしまうやうな人だから」

「まア……」

文子はさう言つて、考へこんだ。

全國の捜査網を潜り

逃げ廻る夫人と中薗

血の慘劇に戰慄を續ける魂を抱き、愛人中薗と共に内地へ逃避した兒玉博士夫人勝美は何處の空で苦悶の日を送つてゐるか……十三日出帆のうすりい丸三等船室に傷ついた心をひそめ、人目を避けて母國に逃れて以來、全國警察の嚴重な捜査網を潜つて、[illegible]して流れて行く二人に秋冷一しほ深きものがあらう、殊に勝美夫人は早や夫博士が鐵窓の内につながれてゐることを知つて居やう、或は中薗の手より逃れ得ず、止むなく罪の男と行を共にしてゐるとも傳へられてゐるが、何れにせよ纎弱き女性の魂がこの打擊、この恐怖に何時まで堪へ得るのであらうか、沙河口署は大連市内各署と協力、物凄き電報の手配陣を布いて飽く迄二人の逮捕に努めてゐるが、目下の見込みは既に大阪を離れて、秋色深き湘南鎌倉に集中されてゐる……

中薗の兄を訪問して 二人で大阪に現はる

新聞記事に驚き韜晦

【大阪特電廿七日發】兒玉勝美、中薗秀雄の行方に付て中薗の兄が大阪港區八條通り一に住居して居るのを探知した兵庫縣警察部はその兄に付て調査した所二十五日夜二人が來訪しその夜は同區三條通り三の福井旅館に中薗秀雄(三三)同光子(二九)と稱して投宿し二十六日午前立去りその日の夕刻使ひの女が兩人の荷物を受取つて行つたことまで判明し東京に行くと稱したとのことで同方面に手配中である

【大阪二十七日發國通】兒玉博士邸の怪奇殺人事件の關係者中薗秀雄と兒玉夫人の行方に就き神戸湊川署は二十五日大阪入港の船で大阪に潜伏せることを探知し嚴重捜査の結果、二十五日午後九時頃港區三條通り四の四一福井館事滿田功方へ投宿したことを突止め同旅館を取調べたる結果、宿帳には大連汽船社員中薗秀雄(三三)妻光子(二九)と認めて居り二十六日午前十時頃新聞朝刊を見て狼狽て、外出姿を消したことが判つた、その後東京方面に潜行した模樣である

中薗の魔手が迫り 夫人の身邊危險

推測する山田辯護士

【東京特電二十七日發】大連に於ける殺人事件の犯人が東京地方に潜入せる形跡ありとの報に警視廳は二十六日來捜査網を張るとともに上京せる山田辯護士について詳細を聽取するところあつた、尚山田氏の推測では勝美は秘に内地に去らうとしたのを中薗に發見され附纏はれ威嚇されてゐるもの丶如く殺害或は無理心中のおそれがあるとて同氏は躍起となつて警察の活動を依賴してゐる

神戸には立寄らぬ 實母が出迎

【神戸二十七日發國通】兒玉夫人の内地歸還のなり唯一の立寄先と考へられる湊區下山町三丁目遠沼時男夫人は語る

勝美さんは何時も女中にかしづかれ深窓に育つた純な一人娘であつた、ダンスホールに通ふうちチヤーミングな美しさと有閑夫人と云ふので不良青年に接するやうになつたのだらうと思ひます、十三日大連から歸るといふ便りがあつたので實母靜子さんが十九日出迎へのため私の家に來られましたが神戸には遂に姿を見せず目下心當りを捜してゐる次第です

御幡三輪子 所在判明 當局でかくす

事件の陰に躍る疑問の女、ピアノ教師御幡三輪子(二九)は怪事件の渦中にある重要人物として所轄沙河口署で捜査の結果、二十五日夕刻その住居を突き止め谷川司法主任は極秘裡に同女と會見、取調べを行つたが、中薗及び博士夫人に關する重要なるヒントを得たもの丶如く、同署では適當の時期まで絕對に同女が世間に現れぬやう意を含め密かに某所に身を潜ませてゐる

大阪に潜伏か

【長野二十七日發國通】兒玉博士夫人の行方については實弟南安曇郡豐島町藤森方では非常に心配し取敢ず博士の實弟大阪帝大教授兒玉元一氏に對して照會したところ勝美夫人は大阪に來て落着いてゐるから安心せよとの返電あり藤森方より家人が至急下阪した

勝美夫人離婚手續を山田辯護士に依賴す

博士は下手人でない

事件發生後の兒玉博士は懊惱に懊惱を重ね、うつろな氣持ちで徒らに日を過してゐたが事件後一週間目の去る十七日早朝市内榮町二番地辯護士山田喜久雄氏を私宅に訪れ事件の一切を打明けたうへ自首後の一身上の後事を同辯護士に託したが、博士一身上に關する重要な點として特に山田辯護士に依賴したのは勝美夫人との離婚問題であつた、博士の悲慘な決意を知つた山田氏は「よろしい引き受けました」と應諾し直に飛行機で内地へ急行したのであつた、博士は最初山田辯護士を訪れた際先づ口を切つたのは「僕の友人のことですが」と他人の出來事になぞらへて相談を持ちかけたほど身を處決するまでの博士の煩悶、苦惱は想像に餘りあるものがある、博士が訪れた當時の情況に就き山田法律事務所中里事務員は次の如く語つてゐるがこれによつても博士は直接の下手人でないことが明にされてゐる

博士が來訪されたのは十七日朝で三日間續いて毎日來られて先生(山田氏)と相談された結果いよいよ自首する決心をされたものです、博士が先生に後事を託された重要なもの丶中に夫人との離婚問題があり先生は夫人と直接面會し正式離婚の手續を執るべく内地に行つたものです當時博士の樣子は見るからに氣の毒な程苦悶の樣が現れてをり先生に語られたところによると「自分は決して靑柳殺の下手人ではない、全く兇行後中薗から手傳はねば共犯にするぞと脅迫され死體の處置を手傳つたのみで、これも自分の意志薄弱の結果で殘念である」と男泣きに泣かんばかりの態度でした、これら前後の樣子から推して眞の下手人は博士でないことが充分窺はれます

光榮に浴す 滿鐵社員の遺品

宮城内御府に御保存

滿洲事變のため殉職した滿鐵社員の遺骨および事變記念品は滿洲上海兩事變の軍人戰死者の遺品と共に宮城内の御府に御保存されることゝなつたので滿鐵では關係各箇所に通達し遺品寫眞その他を集めたうへ十月五日までに總務部人事課で取揃へ囑託將校の手から獻納の手續をとることゝなつた

中薗を繞る戀愛遊戲 三角關係の記念撮影

子供連れでカムフラージして 市内各所を遊び廻る

兒玉夫人と御幡三輪子と中薗秀雄の三人がたゞれ切つた三角關係をダンスホールに喫茶店に映畫にと相携へて大連市内に戀愛遊步しなことは彼等三人が不倫の戀のページを公然と寫眞館に歩んだ行爲によつても窺はれる、即ち昨年八月二十五日中薗、勝美夫人、御幡三輪子の三人が市内吉野町内田寫眞館に赴いて寫眞を撮つた事實があり今當時の彼等の行動について主人内田實氏を訪ふと

「何分澤山のお客さんの事ですからハッキリした記憶とてもありませんが」と前提しながら

兒玉さんはたしか四回ばかりお見えになつたと思ひます、第一回に御出でになつたのが八月十三日の夜でその時は兒玉さんと御幡さんだけで活動歸りだとかと云つて映畫の話などされて居ま樣でした、そして其後二回ばかりお寫しになつたのですが、いつもお子供さん達をお連れになつてこの寫眞をお寫しになつたのが一番最後の八月二十五日の夕方、先づ兒玉さんと御幡さんの二人が店に來られて中薗さんと云ふ方を電話でお呼びになつて三人御一緒にお撮りに成つたのです、何でも中薗さんが旅行されるから記念の意味でとかおつしやつてゐましたが、その際も聖德街の兒玉だからと云つて後で中薗さん自身で取りにいらつしやいましたが、兒玉さんは何時もおとなしい方でどつちかと云ふと御幡さんが絕えず兒玉夫人をリードして寫眞に寫る時も中薗さんと兒玉さんを二人並ばせたりして居られました【寫眞はその時の記念撮影で向つて左から御幡三輪子、兒玉夫人、中薗秀雄で御幡と夫人の間に子供一人がゐるが特に抹殺】

洮南城内ペスト發生

四平街も危險に瀕す

二十七日滿鐵衞生課入電によれば二十五日洮南城内東門街に二十一歲の滿人女ペスト樣症狀となり發病後間もなく死亡したが二十六日洮南在勤秋山公醫が塗抹標本を檢鏡せるところペスト疑似菌を發見した、なほ死體の肺切片を四平街細菌研究所に送り目下檢査中であるが發病の經過より見てこれは眞性ペストと見て間違ひなくペスト患者は愈々洮南市中に發生、在住邦人六百に大恐慌を來してゐる、なほペストが人口稠密な洮南市中に發生したので蔓延區域が愈々擴大の虞あり滿鐵線四平街も危險に瀕したので四洮線の防疫は益々嚴重に行ふことゝなつた

防疫方法を改正嚴戒

鐵路總局ではペスト防疫の爲め二十七日より左の如く防疫方法を改め各線の防疫を益々嚴重にしてペスト絕滅の策を講ずる事となつた

一、四洮線、鄭家屯、三林間は乘込檢疫を廢止せる代りに大平川驛にて停車中檢疫を行ふ

二、四平街、八面城間の乘込檢疫を四平街、鄭家屯間に延長す

三、洮南、四平街及び通遼、鄭家屯間の三等客は別箱とす

四、打通線通遼、彰武間の旅客の取扱を中止す

埠頭で凱旋兵接待

松田〇隊の殿を承はつた第三次凱旋部隊として常岡部隊が凱旋の日、埠頭待合所内に設けた滿日婦人團「凱旋將士接待所」では最後の馬力をかけて午前十時小川市長夫人を始め各婦人團員、各女學校同窓會有志會員は集合し十一時から接待を開始したが、十時四十分劉喨たる喇叭の音を響かせて凱旋兵は埠頭に到着し甲埠頭で武裝を解いて命令一下婦人團の接待所に殺到し大喜びであつた【寫眞は滿日婦人團の接待をうける兵隊さん】

夫人を嫌つて避けてゐた

被害者の同僚語る

廣い用度事務所のオフイス、その眞中にポツンと主のない被害者靑柳君の机が淋らほこりぽく同僚等の机にはさまれてそのまゝ殘されてゐる、靑柳貢と彫刻された吸取器が在りし日の故人を偲ぶ唯一の遺品、故靑柳君の最後の手記に出てくる隣席の小〇君を訪ふと

この机が靑柳君のです、こんな工合に机を並べてゐるので自然話をする樣になつたもので、一年位一緒の勤めをしてゐます、非常に快活な人で冗談をよく云ふ交際して氣のおけない人でした、この間も警察の人が來て色々聞いて行きましたが、餘り書き立てないで下さい、たゞあの兒玉夫人を非常に嫌つて避け樣避け樣としてゐるのは事實でした、たしか私も紹介して貰つた記憶があります、滅多に休んだ事のない男だつたので實は心配して居たところ、あゝした最期をとげた事を知つたのです、最後に非常に親孝行でよく母親をつれて奉天や熊岳城等に行くのを見掛けました

神兵隊事件で 株の思惑賣

資金關係に新しく登場した 松屋の前常務内藤氏

【東京特電二十六日發】神兵隊事件の取調べ進行につれて隊員の三名が目下背任事件で收容中の松屋常務内藤彥一氏の岩村秘書から多額の金をとつたこと判明、これは神兵隊事件を賣込んで内藤が株の思惑賣りをなしたものらしいと推定され更に連累者を探査中である

【東京二十七日發國通】神兵隊陰謀事件の資金關係に就ては警視廳に於て極力捜査中であつたがその眞相に觸れる事が出來なかつた、然るに過日來東京銀座松屋に拘る一疑獄事件として取調べを受けて居た同店前常務内藤彥一氏に關する背任に就き取調べ追及して居る中に同氏が神兵隊と連絡して居る事を發見したのみならず同事件に意外な人物が參加して居る事も判明した、その意外な人物とは故福田雅太郎大將の女婿陸軍豫備中佐安田鐵之助氏で先年豫備役に編入されたものであるが、同氏は神兵隊事件の背後で陰謀決行のため資金の提供その他凡ゆる黑幕として策動して居たのみならず内藤彥一氏と通じ何事かを策して居たものである、安田氏は目下何處へか逃走して居るので警視廳では極力調査中であるから今明日中に逮捕されるであらうが同氏の取調べに依つて更に事件が擴大して行くものと見られて居る

海軍機墜落

【大村二十七日發國通】午前九時頃大村海軍航空隊の攻擊機二機飛行訓練中内一機はガソリンに引火し西大村第二飛行場に眞逆に墜落し飛行機は燒失し搭乘の一等航空兵宮崎康一、佐藤保、桑原繁三名は即死した

故鈴木伍長の葬儀

赤峰攻擊に茂木部隊に屬し奮戰不幸敵彈に斃れた大連出身騎兵伍長鈴木芳弘氏の葬儀は在鄕軍人大連第二分會、北部町區の合同葬に依り二十九日午後三時より市内常安寺に於て執行される

天氣予報

二十八日 西の風 晴一時曇

滿潮(午前 四時十五分 午後 四時十五分)

干潮(午前 十一時〇五分 午後 十時四十五分)

各地溫度(廿七日午前十一時)

大連	一九	奉天	一四
旅順	二〇	新京	一一
營口	一六	新義州	一六

今日の小洋相場(十二時半) 金百圓につき一一三圓一〇錢

善鬼惡鬼 (211)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

二つの骸（一）

二つの眞黒な死骸を、舟に積み込んだ長吉は、一旦千住へ向けた舳先を、途中で向けかへて、綾瀬川を逆上つた。

尾久の渡し場へ舟を漕ぎよせると、すぐに藤助の小屋を訪れる。

丁度寢入り端だつたらしい。やゝ暫く、雨戸を叩いた長吉の前に、目をこすり／＼現れたのは藤助爺ではなく、伜の金太郎であつた。

「ぢいさん、ゐるかい」

「居るにはゐるが、病氣だ」

「そいつは困つたなあ。餘程重いのかい」

「うん」

金太郎は返事をしぶつてゐる。病氣がかりそめの病氣でない事を知つて、長吉はいよ／＼困つた。そんなところへ持込むのには、あまり縁起の好い代物ではないのだ。

「まア、入んなせえ、何を考へてゐるんだえ」

金太郎は、雨戸を一杯に引開けて、手狹な家を片付けなどした。家の中は、藤助と金太郎と二人の床を展べたら、もう足も踏込めないほど狹い。

「どうしたんだ、長さん。つれでもあるのかい」

「うむ」

「おいらの床だけ片よせたら、二人や三人が坐ることは出來るだらう。むさくるしいのは云はずと知れた話だ。さあ入んなせえ」

金太郎はやさしい心掛の若者だつた。

「一人ぢやねえんだ」

「だからよ、おつれさんも一緒に――」

「そのつれがね、一人ぢやねえといふことさ」

「何人でもかまはねえ。お入んなせえよ」

藤助が目をさましたらしい、中から嗄がれ聲で呼びかけた。わづかの間にめつきり衰へが見えてゐる。

「父さん、どうなすつたえ。お前さんが轉込むなんざ、よく／＼の事だ」

長吉はそつと入つて、藤助の枕もとをのぞき込んだ。

金太郎はその間に外へ出たが、誰もゐない。只、薄曇りの夜風がひやひやと川面を渡つて、岸の蘆の葉が淋しくそよいでゐるばかりだつた。

「長さん、おつれさんはどこにゐなさるえ」

中を覗きこんで呼びかけると

「舟の上にゐるんだよ」と答へた。

「うむ、判つた、お前の連れといふのは、おいらに見當がついてゐらあ。どれ、舟まで行つておいらがお連れ申すとしよう」

金太郎は早合點をして渡し場の方へ飛び出した。

「待て／＼金太、おいらも一緒に行くよ。父さん、しづかに寢て、おくんな。今戻つて來て、委細の話を聞いてもらうからな」

長吉も雨戸をしめて、金太郎を追かけた。丁度、渡場への下り口蘆の葉ごしにつないだ舟の舳だけが見えるあたりで、金太郎に追ついた長吉が

「金太、一寸待てよ」と云つた。

「うむ」

「まアこゝで一通りの話だけ聞いてくれ」

さういつて、草むらへどつかり腰をすゑた。

「何だな、そんなところに腰を下さなくても話なら舟の上だつて出來る事だ」

「まア聞けよ。おつれ申した人といふのはな」

「おぎん様だらう」

「さうぢやねえ」

「そんなら誰れだ。おら、お前がこつそりお連れしたんだから、てつきりさうだとばつかり思つてゐたのに、一體誰を連れて來たんだ」

「お前の親分さ」

「なに、鐵五郎親分か」

「さうよ、それからもう一人。これもやつぱりお前にや、親分すぢに當るかも知れねえ」

「何だか樣子がをかしいなア。早くわけをいひなせえよ」

「わけといふのはな。――お前の父さん、よつぽど惡いのかえ」

「うん、今度は死病になるかも知れねえよ」

「チヨツ、こいつあ一番困つた」

長吉はすつかり目ろみがはづれたらしい。手を拱いて考へ込んだ。その間に、金太郎が、舟の方へ下りて行つた。

醫師を招待し ナガナ試寫會

映樂館では十月三日からユニヴァーサル映畫「ナガナ」を上映するが、同映畫は邦人俳優森田幹が出演し故野口英世博士の殉職をとり入れた作品なので同映畫上映記念として大連醫師會員全部及び各醫院看護婦長約四百名を招待して封切に先立ち一日午後四時から同館で試寫會を開催する

觀世倶樂部月次會

觀世倶樂部では第八十五回月次會を來る二十九日午後七時から市内神明町の同倶樂部で開催、番組は三輪、通小町、野宮、柏崎、猩々 奏上

うわさ話

男裝の麗人川島芳子さんがアジア社會教化團が製作する滿洲國建設秘史「男裝の革命娘」に金壁輝將軍として出演するらしく▲愈よ實現すれば松竹でオールトーキーとして撮影する豫定で計畫が進められてゐる▲秋のシーズンを睨はず洋畫陣が次から次へ傳へられるが映樂館の「ナガナ」に次いで▲日活館が十月に「男子戰はざるべからず」十一月に「ヘル・ビロウ」上映と確定▲洋畫專門の常盤座はパ社超特作品「戰場よさらば」を擁して上映の好チヤンスを狙つてゐる▲中央映畫館の柳さく子の實演「奴道成寺」の地方は快樂藝妓連と決まり今週のプロでメンバーを發表してゐる

柳さく子の實演〃奴道成寺〃 松竹蒲田のスター柳さく子が中川芳江、浪橋照子、高橋時子と共に實演團を組織し滿鮮各地を巡演すべく來る十月一日入港の香港丸で來連し大連では中央映畫館に二日から出演、新舞踊「奴道成寺」を快樂藝妓連の賛助出演で實演する（寫眞は柳さく子）

外國爲替管理法發布
豫想外に内容嚴格と 關係業者は一齊に不服

關東州及滿鐵附屬地外國爲替管理規則は二十七日關東廳々報を以て發表せられた、同規則は本文二十四條、施行細則十九條よりなり頗る複雜を極め可成り難解を思はせるものがあるが、今その大要を概說すれば左の如くである

全文を通覽すると大體に於て第一條と第二條に於て思惑取引を禁止し、第三條以下に於て除外例若しくは緩和してゐるものとみてよい

內地の外國爲替管理法では冒頭第二條に於て思惑取引の禁止を强調してゐるが、當地の管理法では、關東長官の許可を受くるに非ざれば……することを得ずとその

内容 に於て思惑を禁止してゐるわけである、當地での最も問題となつてゐたのは錢鈔取引即ち銀の賣買と無爲替輸出の二問題がどうなるかといふことであつた然るに無爲替輸出の方は第三條の除外例によつて自由となつてゐるから、貿易關係に於ては從來通りに行ふことが出來る次第で、何等の束縛を受けないわけである、他方錢鈔取引に於ては第二條第一項に於て邦貨を對價とする外國通貨(錢票)の賣買は長官の許可を受くることになつてゐるが、第三條十項に於て「營業、事業、投資又は日常生活上の必要に基き滿洲國內に送金し、又は本令施行地內若くは滿洲國內に流通する銀系の外國通貨(錢票)又は滿洲銀系通貨を以て表示する債權を取得し若くは處分するため必要なるとき」の除外例を設けて、その間多少の緩和を爲したとも見受けられる、然るに第十一條に於いて錢鈔取引人は毎日の賣買に關する明細書を三日內に提出することになつてゐるから、その手續きが甚だ厄介だと思ふ、要するに

管理 規則をみただけでは果して錢鈔取引がどの程度に緩和されるかは容易に判然としないしむしろ豫想されたよりも嚴格であるやうに思はれる、これについては關東廳當局の細部に亘る說明を聞く必要があるわけである

右に關しこれが影響と內容の批判につき當業者の意見を徵するに大要左の如し

錢鈔業者には致命的 東裕錢莊首藤定氏談

想像以上に嚴格なもので錢鈔引人としては致命的な打擊を蒙るのみならず、大連の輸出入業者にとつても商取引を著しく阻害することにならう、取引人に對して届出でを行はしむることは當然としても、一般客筋に對して許可主義をとる事は他の商品取引と異なり非常に敏速を要する性質のものであるだけに殆んど取引は出來ないことにならう、市場として全く死活問題であるから橫山理財課長の詳しい說明を聞いた上で、當業者として對策を講じたいと考へてゐる一方證券取引の分は非常に寬大であり問題はないと思ふ

實需取引まで阻止することなきや 西正金支店支配人談

正金としては既に大藏省令によつて爲替取引に關しては届出でをやつてゐるが、今回關東州及び滿鐵附屬地の施行規則によつて關東廳にも届出でねばならぬかどうかその點當局に伺つてみようと思つてゐる、地場銀行などは從來届出でをやつてゐなかつたが、今後は爲替取引に對してはその必要が生ずる譯である、鈔票の賣買に關する規則は非常に嚴格である、業者の實需取引の外絕對に投機的な賣買は出來ないわけである、元來法令の主旨が非常時に際し圓が逃避するとか、圓價の變動が甚だしくては財政、貿易上國家的の損害を蒙る虞ありとして最初內地において施行され、當地と事情を異にするところから多少便法を設けて施行されたのであつて法の寬嚴はその運用の如何にもあるが、若し便法の裏をくゞつて賣買をやるとか、一人でも違法者が出るとかすると法の適用はます〳〵峻嚴となり、延いては純然たる實需取引まで窮屈にし商取引を阻害することになるから此際一般の戒心を要することゝ思ふ

法の修正を請願の必要あり 古澤錢鈔信託專務談

法の內容は今まで取引所長や青木管理部長の意見によつて解釋してゐたことゝ異つて、非常に嚴格であることに驚いてゐる、內地に施行されてゐる外國通貨又は外國爲替の思惑的賣買を絕對に禁止した第二條の條項は除かれてはゐるが當地方の分は第二條及第三條において明確に賣買の範圍を制限されてゐる、これによれば特產商、輸出入業者、銀行、兩替店、油房又は事業投資其他日常生活上の必要に基く者の外は賣買出來ないことになり非常に窮屈なものになつてゐる、所謂一般マバラ筋の思惑的取引は全然出來ない譯であるが、市場として事實上その取引の圓滑を期す上からみると種々なる不便が生ずることが多いから法の修正を請願する必要が多々あらうと思つてゐる 其他當局から詳しく說明を聞き、又打合せもしたいと思つてゐる、日本人側は兎も角として法律觀念の薄い滿商側の納得するやう說明することは可なり骨が折れると思ふから一日も早く關東廳當局から具體的說明があることを希望してゐる、本日の市場は非常に平靜であるが、これは賣買双方共未だ條文の解釋がハッキリしないところから氣迷つてゐるためであらう

想像外に嚴格だつた 赤塚錢鈔取引人組合長談

今條文をみて研究中で未だハッキリ判らないが、想像したより以上に嚴格であることは事實である、取引人としては届出での形式方法

大阪商船支店 幹部級總入替
吉植次席外主任級異動

大阪商船大連支店を强襲した大嵐――殆ど無風帶の狀況がつゞいた大連支店にとつては正に晴天の霹靂の觀がある、即ち二十六日附で支店吉植次席が橫濱支店次席に、その後任として天津支店次席池尾爽一氏また十年一日の如く大連人士に馴染深い船客主任山邊一郎氏が大阪本社勤務、そのあとを大阪本社庶務係主任水野遊三氏、同じく入貨主任青木正賢氏は奉天在勤員として北行、代つて奉天の大木一男氏が入貨係員として支店詰となり、入貨主任には

新に 神戸入貨係落合利致氏が來任する事になつたもので二十七日朝來この報を知つて支店內は各係員ともに仕事も手につかない有樣で、ゴツタ返ししてゐる、榮轉の三氏、吉植庄司次席は昭和六年七月十四日天津支店次席より轉じて來任、前高見支店長を助けてよく事變後の急變した支店事務を處理し對外的にも好感をもつて迎へられてゐた、次に山邊一郎船客主任は大正六年八月二日、大阪支店よりはるびん丸で來任爾來今日迄活動をつゞけ、名主任の讃辭を各方面から呈されてゐたもので同氏の

榮轉 は正に支店にとつて大打擊であるといはれてゐる、青木入貨主任は昭和四年八月二十日來任事變と共に激增した貨物、增配された定期船、目の廻る樣な日を送つてゐたものである、何れにしても三氏の轉出は社內外より惜まれてゐる

棉花買入方を我國に懇願
支那が資金化に窮して 外務當局は强硬な態度

【東京二十七日發國通】南京政府が最近米國政府との間に締結した棉麥借款の棉花資金化に窮し、中國銀行總裁張公權を通じ頻に我が在華紡績業者に買入れ方を懇願して來てゐるが、右に對し外務省は當初南京政府をして抗日及び內爭を激化せしむるものとして買入れ反對方を訓令し置いたが、その後支那側の實情が判明するに從ひ、愼重なる對策を練る外務當局並に紡績業者は愈々次の如き態度を執ることゝなつた

一、從來支那が執拗なる排日排貨を行つてたに拘はらず今回の如く自己に都合惡き場合に至り、その態度を一變し、日本に懇願的申出をなし來るのは我國の甚だ遺憾とする所である

一、殊に南京政府は排日排貨を國策遂行の合法的手段なりと豪語し來れるは我國の斷じて承認し得ざる所なるを以てこの際南京政府は明確に從來の態度の不合理誤謬なりしを認むべし

一、若し南京政府が飜然として右の態度を執るに於ては、我國紡績業者でも支那の國內建設に寄與すべき大局的見地から棉花買入れを行ふべし

日滿間の爲替取引 緩和令を公布
廿八日大藏省令にて

【東京特電廿七日發】關東州及び滿鐵附屬地爲替管理實施に伴ひ、內地との爲替取引に付て內地側取締緩和のため二十八日次の趣意の大藏省令が公布される

一、內地と關東州及び附屬地間の送金投資有價證券輸出入の從來の取締り方法を緩和し取引の圓滑を期する

一、關東廳の爲替管理實施に直接關係ないが、金の密輸出はその行爲のみならず、準備行爲に對しても嚴重處罰する

銀行集會所 會長等異動 串田、石井氏選任

【東京二十七日發國通】池田成彬氏の手形交換所理事長辭任につき手形交換所では二十五日午後一時より理事會を開き理事長を選擧の結果、既報の如く串田萬藏氏(三菱銀行)が當選した、串田氏はこれに伴つて銀行集會所會長を辭任したので、同所でも同日理事會を開き石井健吾氏(第一銀行)が會長に選任された、尙ほ池田成彬氏は手形交換所の平理事にとゞまらず、銀行集會所理事をも辭任するので同所では理事各一名の補充をなすべく來月二日各臨時總會を開くが三井の菊本直次郎氏が選任される筈である

麥粉市況 回復は未し 依然低落步調

最近の小麥粉市況は過般來好調に氣配が見られて居たに反し現在相場は依然としてジリ安を辿つて居る、これは既に仲秋節(十月四日)引當ての取引が一應終了した事により、商內が一服狀態にあることゝ上海市況の低落と不安氣味、滿洲奧地の豐作豫想に依る先安見越が買氣を抑へ賣り氣をそゝのかしてゐる關係によるもので、埠頭在庫高が二十五日現在九十八萬袋へ減少し、極めてノーマルな狀態にあるに拘らず相場が三井寶舟印で二圓六十八錢、三菱紅綠印で二圓五十五錢と各十錢方低落を示す理由と見られ、然も地場と內地相場に於て十五錢の內地高値開きさへ生じてゐる有樣である、なほこのジリ安の相場が回復して好調に向ふのは矢張り小麥粉最大の需要期たる舊正月目當の商內の始まる十一月頃からであらうと推察される

新大豆出廻る 品質乾燥共良好

【四平街】最近新大豆は引續き每日十車內外の出廻りあるが、滿鐵混保檢査員の院內檢査の結果は品質乾燥共良好で新大豆在貨の七割は混保合格の見込十分である

英印の不一致 漸次暴露 會商の進展につれ

【東京特電廿七日發】シムラ來電によれば會商の進行に伴ひ英印間の不一致が漸次露骨にならうとしてゐるが、人絹は日本品が獨占狀態にあり、英國はこの排斥につとめてゐるに關し、印度は收入主義からすでに高率關稅を課してゐる上に、國內の需要及び綿布工業との關係からこれを問題にする事を好まず、印英兩者がこの點を如何に調和するか注目されてゐる

ボア氏病氣で會商は停頓

【シムラ二十六日發國通】シムラ會商に於ける印度政廳側主席代表ボア商務長官の容體は、二十五日は體溫三十七度で些か輕快に向ひつゝあつたが、二十六日は再び惡化し當分會議出席の見込みはないその出席がなければ勿論交涉は進められないのみならず、二十五日日印條約の存續に關する所謂外交問題で突込まれ、英本國政府へ請訓してゐる模樣だから當分何等の進展はないものと觀られてゐる

印度關稅引上げ一ケ月間延期
英政府から我方へ通告

【東京特電二十七日發】英國政府は印度の關稅引上を一ケ月延期する旨を松平大使へ通告した

錢鈔市場は割合に平靜 管理法の解釋に氣迷ふ

二十七日前場大連錢鈔市場はいよ〳〵問題の關東州及び滿鐵沿線に對する爲替管理法も發令をみたが市場は割合に平靜にて市況も前日より二三十錢安の弱保合商狀であつた、尤も海外情報も銀塊睨り、米日爲替保合、上海市況も平凡であつたが管理法の條文に對する解釋區々で一般に徹底せず、殊に滿商側は一層法令に對し不案內であるところから賣買双方共氣迷ひ見送りの態であつた

北鮮經由 日滿連絡運賃 本年內に決定 當分は暫定的運賃を實施

北鮮經由日滿連絡運賃を根本的に決定する滿鐵運輸委員會の運賃査定分科幹事會はその後協議も進捗し大體草案を得たので十月、五、六日ごろ幹事會を開き具體案審議の第一回會議を開くこといなつたが同案の決定を見た後貨車配給の方法を協定、本年中には連絡運賃の決定を見る筈である、唯同委員會が最初に決定する連絡運賃は羅津港の第一期計畫完成以前即ち淸津雄基兩港のみが吞吐港として働く場合を基礎として算定されるもので從つて極めて暫定的なものであり、同運賃の決定に引きつゞき同委員會ではいよ〳〵羅津港が活動を開始し、北鮮三港が併立して働き始めた場合の連絡運賃査定について審議の筈で少くともこの根本運賃設定には明年一杯を要するものと見られてゐる

全國貿易聯合會 設立計畫擡頭 東京滿蒙輸出組合が中心

【東京特電二十七日發】對滿貿易統制のため全國的聯合會の必要が叫ばれてゐたが、年內にはその成立をみることになり東京滿蒙輸出組合中心となり次の案を作成した

一、金融及び資金計畫中必要の場合聯合會は資金計畫をなし、所屬組合に對し低資の融通をなす商品の檢查及び組合員の商品に共同商標を附す、信用、市況、商品の調査並に情報蒐集、見本展示會及び大連、奉天、新京、ハルピンに貿易館を經營

二、斡旋事業、信用市況商品の調查、資料蒐集、見本市個人見本取引の斡旋援助

三、滿洲駐在員の派遣

滿洲では百貨店は尙早 細原高島屋重役來連

高島屋取締役細原和一良氏は二十七日入港うらる丸で來連したが、船中語る

今度の來連は新興滿洲國の視察を兼ね當店の出張所廻りだ、大連に暫く滯在新京、奉天の出張員を訪れ、ハルピン方面まで行き朝鮮を經て來月二十日頃歸るつもりだがこちらの出張所では百貨店の業務はやつて居らず、唯インター・デコレイションのみで滿鐵の御用をきいてゐる、先に白木屋の山田君等も視察に來て言つてゐるが、滿洲では未だ百貨店開業は時期尙早と思ふ

北鮮鐵連絡運賃 當分は兩者現率を加算 貨客共來月十五日から實施

北鮮鐵道委管に伴ふ北鮮對滿洲の連絡輸送は旅客貨物共十月十五日から開始されるが、これが連絡運賃は目下滿鐵運輸委員會で審議中のため當分の間現在の京圖線および北鮮の運賃をそのまゝ加算して連絡運賃とすることになつた

本年の毛織物 二割高豫想

輸入原料を使用する內地の毛織工場は何れも原料仕入難で苦心してゐる關係上、自然製品の騰貴は免れ難い處であるが、差當り大連における今秋の市價は仕入れの如何にもよるが先づ平均二割高を豫想されてゐる

混保河豆 出廻り良好

本年六月十日から實施の松花江下流三姓佳木斯、富錦から洮昂線江橋經由大連向混保河豆の取扱は最初の試みであつたため非常な注目が拂はれてゐたが、九月中旬までに一、六〇〇車四萬九千噸の輸送を見最初の豫算三萬噸をはるかに突破する好成績であつた、なほ本取扱は本月中で中止の筈

安東流筏不況

【安東】安東採木公司本年の流筏豫想は四十萬尺締であるが、天候と匪賊の障害により今日迄の着筏は二十五萬尺締である、尙ほ昨今鴨綠江の水量は平水下五十に減じたため順調ならざるも約十二萬尺締は着筏する見込みである

櫻內氏離京歸連

【東京特電廿六日發】電信料問題で上京運動中の櫻內辰郎氏は二十六日拓務省を訪問し更に柳川陸軍次官と會見陳情して後橫濱商工會議所を訪問懇談し同夜東京發京都大阪に立寄り十月一日歸連するが「料金問題趣意は政府各方面に十分徹底したと信ずる唯各種の事情で急速には行くまいが結局與望は達成をするものと確信する」と語つた

お斷 二十七日發布された關東州及南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理廳令は同日朝刊掲載の本則發部を二十八日朝刊に掲載、同施行細則は紙數を見合すべきにつき全文は二十七日本紙添付の廳報につき承知ありたし

▲「滿洲國商標法の一瞥」記事輻湊で本日休載

黄塵

◇…不安の幾日をつゞけた關係當業者がよもやと思つた以上の嚴しい爲替管理令が二十七日附を以て發布された、これを一讀した當業者、取り分け錢鈔業者は今更に啞然として困惑の色を深めて居る。

◇…殊に法文の意味に不可解な點ありとして、早速旅順に出かけ當局に聞き質してる模樣だが、結局法の修正を乞はねばなるまいとのつき詰めた意見を吐いてる向さへある。何にしてもこれが實施されゝば大連の銀市場は全く上つたりとは、今更にこの法令が恨めしいと當業者がブツ〳〵。

◇…O・S・Kの支店に大嵐殺到、幹部級の轉出轉入でいはゞ總入替を見せた、これもいはゆる人心刷新の意味と取れば大連ラインの改善も當然豫期される譯か。

市況(廿七日)

特產 奧地筋賣り大豆低落

今朝の定期は大豆は買氣一服と奧

豆

けさ大豆は輸出筋の現物買一服と奧地筋の賣りに四錢乃至六錢方の低落を辿り▲豆粕も買氣なき折柄大豆安を眺めて低落商狀を示し豆油高粱は買氣薄に閑散軟調を呈した▲歐洲筋の買氣一服でけさの現物大豆は頗る閑散、豐年五、油房二五で三十車の手合に過ぎなかつた▲豐作饑饉の聲に脅かされてはやくも大豆作の行詰りを嘆ずる向がある▲はやまつてはいけない、運賃政策乃至は生產方法の改良によつての打開策がある筈▲要するに生產費を低減し安くさへすればまだ〳〵消化力はあるといふもの

銀

問題の爲替管理法もいよ〳〵發令をみたが市場は案外平靜である▲法令そのものは別項關係者の解釋通り非常に嚴格であり▲定期市場としての機能を全然喪失せしむるものであるが市場が安定してゐるのは別に安心のためでなく未だ條文の解釋が徹底してゐないためである▲尤も運用の如何で寬嚴の程度も異なる譯であるが所謂業者にあらざるマバラ筋は先づ賣買は出來なくなることは承知してならればなるまい

株

大阪諸株は區々の保合東新も三圓臺の保合を入れ當市は依然氣乘薄閑散▲當地方に對する爲替管理法もいよ〳〵發令をみたが錢鈔取引と異つて證券取引は非常に寬大である▲錢鈔取引の方は法の運用如何にもよるが條文だけみると殆んど定期市場としては致命的な取締りが課せられたものと解釋せられる▲銀市場の賣買は果して何處へ行くか株式市場關係者も考へて欲しいのだ▲高い手數料とか日歩とかで市場そのものが客筋の出足を阻止してゐては市場繁榮の良きチャンスも逃げて行くとを御承知あれ

市場電報(廿七日)

銀塊及爲替

銘柄	相場
倫敦銀塊	一八片二分一
同 先物	一八片八分五
紐育銀塊	三八仙八分七
孟買銀塊	五六留比一六分七
スチール	四八弗二分一
アナコンダ	一六弗〇分〇
英米爲替	四弗七四仙四分一
米日爲替	二六弗〇〇仙
米支爲替	三〇弗七五仙

神戸日米

回	相場
第一回	二七弗四分三
第二回	二七弗四分三
第三回	二七弗四分三

棉花 ●米棉

限	相場
現物	一〇仙〇五
十月	九仙七九
十二月	一〇仙〇九
一月	一〇仙一七
三月	一〇仙二四
五月	一〇仙三〇
七月	一〇仙三九

●印棉

銘柄	相場
ペンコール	一四九留比
ブローチ	一九九留比
オームラ	一七一留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	一〇九六〇	一〇九三〇
大新	一三三〇〇	一三四一〇
鐘新	一三三〇〇	一二一九〇
鐘紡	一三九三〇	一四〇一〇
日新	一一七〇〇	一一八〇〇
糖船	八六〇〇	八六二〇
郵船	四四三〇	—
滿鐵	六六三〇	六六〇〇
滿鐵新	—	—
東株	—	—
東新(短期)	一九九三〇	一九九六〇

	大新	東新	滿鐵	鐘新
寄値	一二〇九〇	一四三三〇		
引値	一二〇七〇	一四三三〇		
高値	一二一六〇	一四三〇〇		
安値	一二〇七〇	一三三二〇		

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
寄値	一二六二〇	六六八〇
引値	一二六二〇	六六八〇
高値	一二八四〇	六六七〇
安値	一二六二〇	六六八〇

大阪期米

限	前場寄	前場引
當限	三三四四	三三四七
中限	三三九一	三三九六
先限	三三六七	三三五四

神戸期米

限	前場寄	前場引
當限	三三二三	三三九
中限	三三二七	三三二三
先限	三三三四	三三二八

東京期米

限	前場寄	前場引
當限	三三九一	三三九七
中限	三三九六	三四〇一

東株・東新・五品・豆新

	東株	東新	五品 當	五品 中	五品 先	豆新 當	豆新 中	豆新 先
寄	一八六三〇	一九六〇〇	二三八〇	二三九〇	二二八〇	三二〇	—	三三五
引	一八六七〇	一九八六〇	二三八〇	二三九〇	二三八〇	三二〇〇	三二〇〇	三二三〇

大阪綿糸

限	前場寄	前場引
先限	一三六四	一三六四
九月	—	—
十月	二三三〇〇	二三三三〇
十一月	二三四七	二三三三〇
十二月	二〇八〇	二〇九四〇
一月	二〇三三〇	二〇三三〇
二月	二〇四一〇	二〇四三〇
三月	二〇三七〇	二〇三一〇

大阪棉花

限	寄付	大引
當限	三三九五	三三九五
先限	三五五五	三五六〇

橫濱生糸

限	前一節	前二節
九月	—	—
十月	八四〇〇	七九六〇
十一月	七九四〇	七八五〇
十二月	七九二〇	七八五〇
一月	七八九〇	七八五〇
二月	七九五〇	七八七〇

印度麻袋

銘柄	相場
鐵筋直積	—
青筋直積	—
爲替相場	—

◇定期前場(銀建)

▲大豆(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	四三〇〇	四三〇〇	四三六〇	四三六〇
十月末	四一七〇	四一七〇	四一三〇	四一三〇
十一月末	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇
十二月末	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇
一月末	四一〇〇	四一〇〇	四〇八〇	四〇八〇

出來高 二百二十車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一三三〇	一三三〇	一三三〇	一三三〇
一月限	一三三五	一三三五	一三三〇	一三三〇

出來高 一萬六千枚

▲豆油(軟調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	一一八〇	一一八〇	一一八〇	一一八〇
十二月限	一一五五	一一五五	一一五五	一一五五
一月限	一一六五	一一六五	一一六五	一一六五

出來高 二萬八千枚

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	一八一〇	一八一〇	一八一〇	一八一〇
十月末	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇
十一月末	一八九〇	一八九〇	一八九〇	一八九〇
十二月末	一九二〇	一九二〇	一九二〇	一九二〇
一月末	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇

出來高 一千五百箱

▲包米 出來不申

出來高 二十七車

◇現物前場(銀建)

品名	寄付	大引
混保大豆(袋込)	四三六〇	四二九〇
大豆(裸物)	三十車	出來不申
普通大豆	出來不申	
豆粕	一三四〇	一三〇〇
出來高	一萬六千枚	
豆油	一一九〇	一一八五
出來高	一千箱	
高粱(上物)	一八五〇	一八五〇
出來高	二車	
包米	二五七〇	二五七〇

定期喰合高(廿七日)

品名	數量	前日對比
大豆	三一八〇車	七三車
高粱	七三七車	△二五車
豆粕	四四五千枚	△二〇千枚
豆油	六五五百箱	五百箱

豆粕生產高(二十七日) 五軒 九、〇〇〇枚 出來高 三車

錢鈔 氣迷ひ濃厚で鈔票弱保合

海外情報としては倫敦銀塊現物十六分の一高、先物十六分の一高、紐育四分の一高、米英クロス一仙四分の一高、米支米日共同事、神戸日米十六分の一安、滙甲九七圓三六、滙建九五圓九五、大洋九五圓二六、上海標金睨り、滙水一〇八元臺を入れ當市は爲替管理法の發令をみたが法の解釋一般に徹底せす弱保合商狀にて氣迷ひ濃厚

◇定期前場(單位錢)

限	寄付	高値	安値	大引
近期	二二八〇	二二六〇	二二八〇	二二五五
遠期	二二七〇	二二八〇	二二三〇	二二六五

出來高(期近二百七十九萬圓 遠期四百三十六萬圓)

◇現物前場(單位錢)

時	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	二二三〇	一〇三〇〇	一〇三一〇
十時	二二三〇	一〇二九五	一〇三一〇
十一時	二二三〇	一〇二一〇	一〇三〇〇
十二時	二二二五	一〇三〇〇	一〇三一〇

出來高(銀對金 九萬圓 銀對洋 二萬四千圓)

株式 東新弱く五品保合

北濱定期の前場寄は大株四十錢安大新、鐘紡不變、鐘新三十錢安、延引は大新の十錢安以外は强含み保合狀態に終つた、東京短期の東新は七十錢安と三圓臺を唱へて寄付き三圓九十錢と引け、當市定期の五品は殆ど不變、延は二十錢高の一本にて新豆保合、錢鈔は軟調を辿り閑散、東新は一圓四十錢高の五圓丁度と寄つたが三圓五十錢と低落して引けた

前場

◇定期(單位十錢)

銘柄	當限	先限
東新 寄	一九五一	一九七〇
東新 引	—	—
五品 寄	二二七〇	二二七三
五品 中	二二六九	二二七三
五品 引	二二七〇	二二七三

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	三六九	三六九	三六九	三六九
新豆	—	三〇八	三〇七	—
錢鈔	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
東新	一九三〇	一九五〇	一九三〇	一九三五

◇羅取引 代行 二六五

◇爲替及受渡代用日歩

銘柄	爲替	受渡代用	日歩
五品	一二〇	一三〇	二五
新豆	一三〇	一一〇	二五
錢鈔	一一〇	一一〇	二五
水新	一一〇	一〇〇	二五
大新	一一四	一〇	二五
東新	一二五	〇八	二五
鐘新	一九五	一〇	二五
滿鐵新	一六五	—	二五

株式出來高(廿六日)

銘柄	出來高
定期	九九〇枚
延期	七二〇枚
羅計	一四〇枚
合計	八五〇枚
早渡	九八〇枚
金額	五七、八四〇圓

商品

麻袋不變 綿糸弱保合

●麻袋 產地休會にて氣配判明せず、米日は七仙安、地場鈔票は弱保合にて當市は賣買共に見送り勝ちにて仕掛けず、氣配も保合つて居る、現物、先物共に三十五錢八厘見當であつた

●綿糸 米棉現物同事、先限四、五ポイント安、印棉二、三留比安米日も七仙安に、大阪三品は四、五十錢安と寄付きあと小睨りにて材料待の風情である、當市は弱保合商狀であつた

銘柄	約定期	值段	梱數
福助	十二月限	二〇八〇	一〇
同	一月限	二〇四四	五〇
同	同	二〇四七	二〇
同	二月限	二〇三三	五〇

出來高 百三十梱

滿鐵 株(保合)

銘柄	値段
東短前場 滿鐵新株	六十七圓五十錢
大阪短期 滿鐵舊株	六十七圓八十錢

銘柄	約定期	值段	枚數
鐵筋	九月限	三五八	二〇

出來高 二萬枚

上海爲替情報

【上海廿七日發】銀塊期待外れたゝめ長期上買ばれ物殺到して急騰せるも高値は廣東筋及大連筋の賣りにて下押す、アメリカは弗の安定策を講じて居るとの來電ニュースありて弗は上値はベルギー賣るも支那人及アメリカ系銀行買ひ氣配、磅は一月物三片八分五銀行間賣り唱へて、圓は大連筋買に正金よく賣るもジリ弱を辿る一月限一〇八四分一唱へとなる

上海標金

	相場
寄値	七七四元五〇
高値	七八四元五〇
安値	七七三元二〇
止値	七八四元三〇

手形交換高(廿七日)

	枚數	金額
金	一、七五四枚	三、〇四二、九六〇圓
銀	二三三枚	一、〇四四、四三三圓

爲替相場

鮮銀

銘柄	相場
倫敦向電賣(一圓)	一志二片〇分〇
紐育向電賣(金百圓)	三〇弗八分五
同上海電賣(百弗)	一〇九圓〇〇
同 賣(銀百圓)	九七圓〇〇
日本向電賣(同)	一〇〇圓〇〇
同五日拂買(同)	一〇〇圓〇〇

奧地相場

錢鈔

銘柄	相場
金票對奉天票(現物)	五、六三〇
國幣對金票(奉天)(現物)	一〇五、八〇
金票對國幣(現物)	一〇五、七〇
開原國幣對金(先物)	九四、一〇
新京國幣對金(現物)	一〇五、八〇
安東鎭平銀(當限)	一一四、六〇
哈爾濱國幣對金票(現物)	一〇五、八〇

特產

銘柄	限	寄付	大引
▲大豆 哈爾濱	十月限	六三〇〇	六三〇〇
	十二月限	六二五〇	六二五〇
▲小麥 哈爾濱	十月限	一〇、六五〇	一〇、六五〇
	十二月限	一〇、九二五	一〇、九二五

大連埠頭到着高

品名	車數	品名	車數
大豆	一〇六車	高粱	六車
豆粕	五車	雜穀	一四車

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部金五錢 一ヶ月金一圓二十錢 郵税金十五錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢 特別一行金二圓六十錢 場所指定二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社 滿洲日報社 振替口座大連六〇番

選取り勝手の自由企業廿一種
滿洲投資に不干渉
陸軍眞意を表明す

【東京二十七日發國通】滿洲事變以來滿洲の經濟統制は日滿經濟を單一體に合理化融合し平戰兩時に於ける日滿兩國の安固を圖り併せて兩國の對外經濟力の擴充基礎を確立することを根本方針として進んで居るが世間往々にして之を誤解し滿洲の經濟建設はすべて軍の統制下にあらざれば出來得ざる如く思はれてゐる向も多いので陸軍では右に就き次の如く此間の事情を闡明し自由に企業し得る有望なる仕事二十一種のある事を明かにした、それに依れば

一、目下滿洲に於て統制を加へてゐる産業は大體
(イ)交通、通信
(ロ)國防上重要な工業
(ハ)採金
(ニ)電氣
(ホ)金融
(ヘ)公益産業
(ト)産業合理化の見地から特に統制を要する産業
の七種で具體的に説明すると統制下の産業は

統制下の産業

二、特殊銀行、彩票(或は割増金附債券)郵便、鐵道、電信電話航空、競馬、屠殺場、家畜市場國有林業、阿片、國有礦區の採金、鐵、石油、輕金屬原礦採取の二十三種となつて居り

特許事業

三、特許による事業は普通銀行、保險、地方鐵道、海運、狩獵、罌粟栽培、瓦斯、煙草、製鹽事業等の二十四種に分れ門戸開放、機會均等の主旨から外人の企業を許し又外國資本の流入を促し自由に企業し得る有望な事業の主なるものとしては大體左の二十一種が擧げられてゐる

自由企業し得るもの

一、自營に依る農牧業
二、一般漁業
三、農畜産物の加工
四、製材
五、水産物取引
六、畜産物取引
七、農林産物取引
八、パルプ及び製紙、製糖、製粉、釀造、食料品製造、油脂、セメント、紡績、染色、皮革業、製藥、機械工業

尚ほ右の自由企業家には滿洲國政府並に關東廳、關東軍側でも出來る限りの便宜を與へる方針である

九年度の陸軍豫算 六億二千餘萬圓

【東京二十七日發國通】昭和九年度滿洲事變費として之に關聯する諸施設費は昨日午後二時大藏省に廻附されたが、内容左の如し(單位百萬)

滿洲事件費 一六〇
諸施設費 四〇
合計 二〇〇

右の見當にて七月末大藏省に廻附された陸軍豫算四億二千一百萬圓と合計せば六億二千三百萬圓で八年度豫算の四億四千八百萬圓に比せば一億七、八千萬圓增加してゐる譯である

軍令部々長親補

【東京二十七日發國通】新軍令部令は愈々來る十月一日より施行されることゝなつたので同日附で現軍令部長伏見元帥宮殿下に對し奉り改めて軍令部總長親補の御沙汰あらせられると同時に現軍令部參謀第一班長島田繁太郎少將は軍令部第一部長に、古賀峰一少將は軍令部第二部長に、津田靜枝少將は軍令部第三部長に夫々親補されることゝなつた

劉桂堂軍呼應せず
方吉兩軍孤立に陥る

【東京二十七日發國通】二十七日陸軍省着情報に依れば停戰協定區域たる懷柔に集結して居た方振武吉鴻昌軍は廿四日夜より順義方面に移動を開始し二十七日には停戰協定區域外たる順義に入城した爲め一切の討伐準備を完了して待機中だつた關東軍は討伐の必要がなくなつた一方獨石口に於て方吉兩軍と呼應しつゝあつた湯玉麟劉桂堂軍は廿七日に至るも行動を開始せず之が爲め方振武吉鴻昌の軍は全く孤立狀態に陥つた劉桂堂軍が方、吉兩軍に呼應せざりしは何應欽、劉桂堂等の間に劉桂堂を察哈爾剿匪司令に任命する密約が結ばれた事に依るものらしいといはれて居る

北平順義不通

【北平特電二十六日發】二十六日方振武軍の順義占領、湯玉麟軍の昌平を占領せるに對し何應欽は全然否認してゐるが北平、順義間のバスは方振武軍、便衣隊の活躍により不通となつた

方振武軍の行動 大した懸念なし
わが外務當局の見解

【東京廿七日國通】討蔣抗日を標榜せる方振武軍を中心とする吉鴻昌その他の雜軍を交へて北支における日支停戰區域内に侵入せるに對し、滿洲國側のみならず英米その他の各國も漸次事態を重視せんとする模樣となつたが、外務省は各方面から二十六日までに到達せる報告を綜合するに大體次の如く今後大した懸念なかるべしと爲してゐる

一、方振武今回の擧兵は舊東北軍と中央軍との間の純粹なる内部的問題だから日本軍としては何等關係なきものである
一、即ち舊東北軍は改編後これに相當するだけの軍費の支給を受けざるため衣食に窮せる雜軍が軍費ほしさに妄動してゐるものである
一、從つて日本としては斯かる無賴の徒を相手として掛り合ふ事は甚だ迷惑とするところで、なるべく支那側の北支政權當事者が事態の紛糾せざる中に收拾される事を希望するものである
一、勿論之が收拾策のためには相當纏つた軍費を要するので北支政權の代表者たる黃郛が目下上海、南京を奔走してゐるのも此等の事態を收拾のための準備を整へてゐるものと想像し得るもので準備の出來上るまでは何應欽が實力で當面を切抜けるものと期待される
一、日本側としては日支停戰交渉の趣旨を嚴重に履行せんとしてゐるのみだから、なるべく事態の不擴大を望むが、雜軍と雖も我軍の立場を無視するが如き事あらば將來に惡例を殘さざるやう斷然たる相當手段を講ずるつもりだ

天津市場停止

【天津二十七日發國通】北平近郊に於ける方振武吉鴻昌の反蔣聯合軍の進出に同方面一帶の住民は悔々として既に避難を開始してゐるが一方秦皇島、北戴河方面からも早くも避難し來るものあり、昨日中に天津に下車した避難民は千名に及ぶと云はれてゐる、これ等に依り中秋節を控へた天津市場は上旬頃煙花線香的動きを見たゞけで再びぱつたりと停止して了つた、なほ昌黎方面の戰線擴大に伴ひ北寧線の運行も何時停止されるやも判らず方、吉軍の北平攻擊說と共に成行きは重大視されてゐる

斷乎膺懲
停戰協定破棄 方振武の僭稱

【北平特電二十七日發】方振武は今回の旗上げに抗日反滿を表示したが、我軍部の方針は國内戰と否とに論なく抗日と言ひ停戰協定に違反する行動に對し斷然將來も膺懲態度に出ることに決定した

【北平二十七日發國通】方振武は廣東西南派に對する通電中において停戰協定破棄の旨聲明し、西南政務委員會はこれに對し方振武を西北軍總司令に任命の旨發表した

支那軍不可入

【上海特電二十六日發】北支事態について黃郛は二十六日朝有吉公使を訪ひ方、吉軍討伐のため中央軍の非武裝地帶進入を默許されたしと交渉したがわが公使はこれを峻拒した

日貨排擊反對
英印協議終了

【シムラ二十七日發國通】ボンベイに於ける英印協議會は二十六日終了したが、協議内容は判明しないが双方の間に纏まつた結論までには到達出來なかつた模樣である英國側は日本綿布に七割五分、英綿布に一割の課税を提議し、印度側はこれを一蹴したとも言はれるが何れにしても印度が日本品排擊に對し英國の吹く笛に踊らないことが實證される

日蘇の間に禍機なし
北鐵問題は滿洲國當然の措置
日本苦笑・蘇聯を警醒

【東京二十七日發國通】滿洲國政府は北鐵革新のため蘇聯側に斷乎たる態度に出でつゝあるが蘇聯側もこれを以て日本政府の指示に基くものとし二十二日ユレネフ大使より廣田外相に對し抗議を提出すると共に英米側にも反日宣傳を行ひつゝあるので外務當局は二十七日列國の誤解一掃のため左の如く我が公正態度を表示した

一、北鐵の職制改革、内部肅正問題は支那政府時代からの懸案で滿洲國主權行爲である
一、帝國は滿洲國を使嗾したる事實なし
一、北鐵讓渡交渉は目下進行しつゝあり今回の滿洲國の措置とは關係なし
一、日蘇間には何等平和關係を危殆に導く事態ありと認め得ぬ北鐵改革問題の如きは蘇聯側が滿洲國側の公正なる要求を容認せば速かに解決し得べし

蘇聯軍隊を集結
國境頓に慌し
赤露の嵐北東に吹く

【奉天電話】國情報によればソ聯當局ではイルクツク以東の各縣に對し非常動員令を發令し目下國境方面に多數の軍隊を移動集結し萬一ソ聯從業員の身體に及ぶ場合は實力行使を避け得ない覺悟を定め從業員幹部に對してソ聯政府の決意を密令した模樣である、一方ウラジオ方面では極東軍事委員會の作戰により多數の潜行隊を特派したるものらしく且つ間島方面に逃竄し來る鮮人共產黨を集團しソウエート共和聯邦の地域を建設する援助を與へ國境方面の第一線警備隊としてゐる傾向あり事實鮮人共產黨の背後にはソウエート第三インターの指令が盛んに飛び交されてゐる狀態である、又ソ聯の極東軍備擴張に對する積極的施設が外部に漏洩することを防止するためゲ・ペ・ウの國境監視隊を增員し沿黑龍州から陸と海により滿洲國或は朝鮮に避難する鮮人ロシア人を監視し若し彼等が小舟により逃走した際は直に銃殺するなど最近特にその警戒ぶりは嚴重を極めてゐるが雄基、羅津方面に時々小舟の儘生命を賭して逃亡し來り小舟を賣つて旅費を作り樂土の滿洲國に避難して來るといふ狀態である

大連消印の郵便物も重課
北平郵便局の暴擧

【北平二十七日發國通】當地郵便局は南京郵政總局の訓令に基き日本切手を貼附し大連郵便局の消印ある郵便物は附屬地内外を問はず關東州外の差出地名を記載せる郵便物同樣普通郵便料の倍額を徵收することゝなつた

建艦停止提議
英軍縮會議の不成功を懸念
米は最後的に一蹴

【ワシントン廿七日發國通】ルーズヴエルト大統領が國家產業復興法の一部としてロンドン海軍條約の限度まで建艦計畫を遂行するに決した結果日英米三大海軍國間に果然建艦競爭再燃の形勢を誘致するに至つたが二十六日に至り右情勢に關聯し英國政府が軍備縮小運動の前途に暗影を投ずるとの根據から建艦計畫の遂行停止方を要請し米國政府が右要請を一蹴した事實が判明するに至つた、即ち英國政府は過般ルーズヴエルト大統領の特派使節ノーマン・デヴイス氏がロンドンを訪問した際左の如き見解を披瀝した

米國政府が二億三千八百萬弗の建艦計畫を完成する結果軍備縮小運動に對して惡影響を齎しはせぬかと考へられる

右要請に對し米國政府はその後目下進捗中の建艦計畫の如何なる部分も延期し得ない旨英國政府に宛て回答した、英國政府は右回答を以つて米國政府の最終的見解としてこれ以上建艦計畫の停止を要請せざるに決したものと見られる

出迎へませう
白衣勇士凱旋
けふ午前七時並に午後三時大連驛着

秦皇島市民の排英騷動
開灤鑛務局に決議文

【天津二十七日發國通】秦皇島來電に依ると、同地市民は開灤鑛務局が家屋賃貸借問題で不利な要求を市民に強制しつゝあるに憤慨し二十五日遂に市民大會を開催し五百數十名が出席して六ケ條に亘る猛烈な決議文を作成の上直に開灤當局に突付け氣勢をあげて居るので英公使館は排英運動に轉化するを惧れて昨日書記官一名を同地に急行せしめた、紛爭の原因は不明であるが該運動に於ける市民の鼻息は素晴らしく荒く若し英國側が折れゝば數年前のやうな排英運動に到達するであらうと重視されてゐる

外交官試驗合格の鮮人

【東京二十七日發國通】昨日發表された外交官試驗合格者十一名中張澈壽君といふ朝鮮人の秀才がある、同君は昨年東大法科卒業の二十六歳の青年である、訪問の記者に對し

これで植民地の者でも外交官試驗に合格し得る事がハッキリとなつた譯で採用されたら大いに働きます

と謙遜しながら抱負を語つた

常岡部隊凱旋
寫眞 上 歡迎の市民に對して捧げ銃 中 乘船開始 下 テープの綾

譽れの常岡部隊
きのふ第三次凱旋
萬歳の嵐に送られて

赤い夕陽の滿洲との「左樣なら部隊」第三次凱旋兵〇〇〇名は常岡大佐に指揮され二十七日午後秋風に吹かれ、夕陽を浴び乍ら萬歳の怒濤と掛けられた七彩のテープのいろどりに映えて懷しい故國へ凱旋の途に就いた、午後四時凱旋部隊は掃き清められた甲埠頭

廣場に

整列する、堂々たる編成ぶり、直に宮本少尉によつて捧げられた〇隊旗に捧げ銃の禮が行はれる、劍光が燦然と秋空に冷たく流れる終つて四つの渡橋から整然と御用船羽後丸に乘船する乘船完了と共に見送り市民の群は雪崩の如く所定の船艙迄押寄せる、サツと投げ交される赤、白、青、黃、綠、テープ、テープ、テープの綾が美しい、船上の凱旋勇士、見送る市民、見送る方も送られる方も歡喜感謝の絶頂に立つてゐる感激が嵐の樣に總帆爆發して

萬歳の

絶叫となる、軍樂隊バンドその他三つの樂隊が次々にマーチを演奏、意氣を壯んにすれば中學生が胸にしむ樣な太鼓の音で氣勢を添へる、いよいよ定刻市長の挨拶に先だつて〇隊旗と市民の最後のお別れがある、一瞬水の樣な靜けさが流れる、日本人丈が知つてゐる感慨だ、終つて小川市長の感謝をこめた送辭がありこれに對し常岡大佐はメガホンを通じて感激あふれる許りの答辭を述べ「腕を練つて再びお役に立つときを待つ」と力強い言葉を殘す、お別れだ、喊聲は間斷なく打寄せる怒濤、打ちふられる日の丸の旗は感激の嵐だ、かくて碇泊艦船の

汽笛に

おくられて一路大分に向つた、最後に目に殘つた美しいシーンは一中學生が元配屬將校の中尾少佐に凱旋を祝ふののぼりを贈つたことであつた

大藏省令改正
二十八日公布

【東京二十七日發國通】關東州並に滿鐵附屬地に於ける外國爲替管理法實施に伴ひ大藏省も省令の改正をなすこととなり二十八日左の通り改正省令の公布をなすことゝなつた

昭和八年大藏省令七號外國爲替管理法に基く命令の件中左の通り改正す
一條一項中「輸出することを得す」を「輸出し又はその豫備を爲すことを得す」に改む
四條十號を左の如く改む
本邦内又は邦貨の強制通用力を有する地域に住所本店又は主たる事務所を有するもの、該地域に於ける事業又は營業のため必要なる資金を該地域に送るため必要なる時
十一條中「本邦」を「本邦又は邦貨の強制通用力を有する地域」に改む
十二條三項に左の一號を加ふ
「邦貨を以つて表示する證券を邦貨の強制通用力を有する地域に輸出し又は該地域より輸入する時、但し公債社債の利札の輸出を除く」
附則 本令は公布の日より之を施行す

蘭領印度の輸入制限法

【東京二十七日發國通】蘭領印度に於ては輸入制限法に依り邦品進出に備へた折柄オランダ政府は日本政府に日蘭協議會開催方を提案し注目されてゐる當局より此の傳達を受けた紡績聯合會や輸出綿糸布同業會では之が對策を協議中であるが提案内容も未だ具體的でないので愼重態度を持してゐるが蘭領印度は印度に次ぐ重要市場にしてシムラ會議の前途不明の際我綿業の第二の危機として重大視されてゐる

最近の熱河
中野總務廳長談

【新京二十七日發國通】諸般の事務打合せのため來京中の中野熱河省總務廳長は最近の熱河の狀況につき左の如く語る

熱河省内の治安の回復は實に目覺しいもので官民一致の努力に依り着々實績を擧げつゝある、省内の匪賊は段々減少し極めて僅少となつた、大部隊の集團匪は殆ど姿を沒した、少數のものは地方の自衛團等に牽制されて蠢動不可能の狀態である、この治安の回復に伴ひ經濟狀態も漸く立直つて來た外部では熱河省人は相當に疲弊してゐるやうに傳へられてゐるが本年はけしの豐作で少しも憂ふべきことはない

社說

農產物對策と植民地

日本內地本年度の米作豐收見込は、米價の低落に惱む農家の經濟に甚大の影響あり、農林省なして之が調節策として臨時米穀作付段別制限、並に籾貯藏奨勵の二方法を制定し、前者に於て六百五十萬石乃至九百十萬石の減產見込み、後者に於て籾五百萬石の自治的貯藏奨勵を發表せしめるに至つた。これには各方面で賛否の批評があり、實行方法に就いても種々難點があるやうだが、農村現時の窮迫狀態に鑑み、主作物の價格維持を圖らんとすれば、時に右樣の應急手段を講ずるのも無理ないことであらう。唯だ問題はかうした應急的政策だけで、果して全國農村がどれだけの利益を得るか否かである。殊に作物の豐凶は主に天候の如何に左右せられ、今年度の成績を以て直ちに來年度のそれを律することは出來ない。それを機に應じて調節するのださいへぬこともないが、さうした目先き勘定のみの政治では農民は救はれない。今少し根本に觸れた改善策も同時に講ぜらるべきである。それは農家負擔の輕減や、米の生產費に關する改善など、多年專門家の間に論議される所であつて、若しこれ等の根本が刷新されぬに於ては、農村の疲弊は益々甚だしくなるばかりである。

尤も右は主に內地の農作物狀態であるが、植民地の在住者には更に別な問題がある。即ち產米過剰の結果として臺灣や朝鮮などへの影響は僅少でない。即ち從來の產米奨勵を變更して、前者を甘蔗、後者を棉花の耕作增大に振り向けやうとして居る。氣候、地味、地方事情から見て道理ある考へ方であるが、若しそれを單に內地事情のみから割出された政策とすれば、必ずしも當を得た善政とは思はれない。何となれば棉花にせよ、甘蔗、甜菜類にせよ、それ自體に市場の用途と密接な關係があつて、遽に彼を利とし此を不利とすることが出來ぬ。產業自給てふ當面の要望からいへば、棉花の如きは最も有利至便の作物であるが、之とて世界的生產力關係や、日本產業の輸出入品關係やを考察すれば、如何なる犧牲を拂ひ、如何なる無理を忍んでも、在來農作物を激變さす譯には行かないのである。世間動もすれば農業經營の如きは、時の便宜如何に依つて容易に作物の品種を變へ得るやうに思ふが實際は決してさうでない。殊に一時あれほど極端な奨勵法を講じた鮮米增殖の如き、今更掌を返す如き方針の變改は、田園大衆の私經濟にどれだけの苦痛を與へるであらうか、その奨勵の際に當つては肥料政策、粟、高粱等の關稅率など、總て右の產米增殖を主として臨機實施されたが、今や產米の過剰を見れば忽ち之が轉向策を急施しようとする。その間餘程考慮すべき點があるやうだ。

かくいへばとて吾人は決して棉花や、甘蔗の耕作奨勵に反對する者ではない。寧ろこの新氣運の助成に深い贊意を表する。

併し何といつても農作物は國民大衆の生活に最も重要關係がある。それを單なる商利的立場からのみ論ずるのは公平でない。況んや一時的現象に依つて、甲の產物を直に全般的に乙に變改させやうとするのは餘ほど考へ物だ。蠶業や、技巧農業のやうに、副業收入的立前にあるものは、市場關係で如何やうにも左右し得る。生產者亦自らの裁量に依つて時の趨勢に順應し得られる。併し農民生活の主力を構成する作物の如きは、その得、その失、常に永久的意義から割り出されねばならぬ。況んや內地事情を標準として、一も二もなく植民地の農政をそれに引附けやうとするなやだ。少くとも順を逐うて自然に農作物の分野を實現させ、植民地は植民地の地方に卽した行き方をさせるが善いと思ふ。若し之に反して劃一統制の空論に馳せ、縦に設けられたる法の爲に、農民の實生活に支障を來すやうな急速な變改を植民地に強要する傾向あらんか、その人心に及ぼす影響は決して少くない。

中央卸賣市場は一本立出來ぬ
市側蒐荷政策を放棄

大連中央卸賣市場獨力による蒐荷政策を潔く放棄したる小川市長は二十七日午前、市場收拾の對案を携へて關東廳に日下內務局長を訪れ、長時間に亘つて市場問題の經過と方策開陳の上、當局の諒解と支持を懇請した而して專ら重視される市長の腹案は嚴秘に附されてゐるが世話料問題の根本的解決を必須の前提條件とし邦人仲買人に對しその市場形成上の協力に對し實利的給付をなして圓滿解決せんとするのは疑ふ餘地がない、同時に滿洲國人仲買人に對しても甚だしき不均衡を失せざるやう歩戾しにおいて相當の考慮を拂ふもの、如く內、臺、鮮の荷主に對して出荷奨勵金を支出することは現在の市場財政において難色あり、漸次市營單一制の確立を待つて可及的に善處せんとする模樣である、なほ市が仲買人との間の紛爭を拂拭して協調提携が實現すれば關東廳においても場外取引禁止の廳令の勵行方を期するものと觀られる、右について御影池民政署長は語る

現在の市場狀態は極めて不健全であり、市場を繁榮させるためには篤と考慮し努力を拂はねばならぬが禍の種になり勝ちな世話料問題は先づ取除きたいものだ、そして市場の繁榮策を樹てそれと世話料を調和させることは出來ない相談ではあるまい、自分は市長の案なるものを聞知してゐないが若し解決案が右のやうな趣旨において練られてゐれば何とか纏まるやうな氣がする、また纏めなければならぬ

小川市長の談

中央卸賣市場問題について二十七日赴旅、日下內務局長、山中商工課長を訪れた小川市長は歸所して語る

實は市場問題解決の最後案を得るに至つてゐない、さう簡單にはゆかぬ、市會議員協議會にも諮り當業者からも對案に對する意見を徵するといふ風にして飽くまで愼重に取扱はねばならぬと考へてゐる

青果業代表陳情

大連地元の蔬菜果實生產者代表は最近の中央市場情勢に刺戟されて二十七日民政署に成田地方課長を訪問

生產者が立賣りを市場より阻まれるので上場、せりに出せば少數の仲買人に叩かれて立行かぬと地場取引の特殊事情を縷々陳述して、地物上場が圓滑に運ばぬのにつき當局の諒解を求めた

關東廳司法官の身分保障案提案
全國司法官會議に

大連檢察局主席檢察官池內眞清氏は十月一日から四日間司法省において開催される全國司法官會議に出席のため、二十七日出帆のあさる丸で上京した、今回會議には關東廳として州內外檢事身分保障法實施の提案をなす筈であるが、同問題は關東廳における司法權の嚴正を期する必要から同法の實施は多年の懸案とされてゐたが、今回漸く提案の運びに至つたもので、池內氏は約一ケ月滯京、司法、拓務兩省の首腦部を歷訪し目的貫徹に努力する筈である

北滿視察の印象
八田滿鐵副總裁談

【チチハル二十六日發國通】昨日飛行機で來齊した八田滿鐵副總裁は龍江飯店で語る

今回の北滿旅行は別に具體的に何をしやうといふ事ではなく、單なる視察だ、最初にお斷りするが鐵道問題並に黑河視察のことには觸れたくない、自分がこの黑龍江省の旅をなして感じたことは呼海、海克、齊克の各沿線は非常に肥沃な土地と聞いてゐたが、事實目擊してなる程と思つた、治安も確立したし北滿は非常に開拓の餘地が多い、すべてに對してさへば農業でも林業でも金鑛でもさうだ、今度各方面の資源調查隊が奧地に赴く事となつたが必ず色々よい情報を齎してくるだらう、チチハルに來て一番嬉しかつたことは復興的氣分が旺盛であることだ、チチハルは交通の要所に當つてゐるし、將來は總てのもの、集散地として繁榮すると確信する

尚副總裁は一兩日滯在の上天候良好なればハイラルへ向ふ筈である

葉煙草

今年度の滿洲の葉煙草栽培も收穫期に入つたが今年は昨年度の七萬五千斤の豐作の後を受けて氣候順調なりしため一層の豐作で十萬斤は確實でありさきの關稅引上げに伴ふ値上りと共に栽培業者はいづれも有卦に入り、多年負債に苦しんでゐた鳳凰城の栽培組合も今年度で赤字を完全に淸算するものと見られてゐる、この結果明年度より奉天以南各地に煙草栽培熱が起るものと期待され滿洲國側でも十月一日より開場する錦州農事試驗場において試驗を開始することになつてゐる、なほ鞍山の煙草栽培組合も本年は豐作であつたが同地は附屬地內にあり鞍山の都市計畫實施に伴ひ移轉を餘儀なくされたので附屬地外に目下適地約六十町歩の買入方を交涉中で買入資金は東拓が融通することになつて居る、又滿鐵も依然として鳳凰城および鞍山の兩組合に補助金支出をなすが煙草栽培が採算期に入つて居るので今後は金錢的補助は漸次減少して技術的指導に主力を注ぐ方針である

學校長會議
鐵路總局司會

【奉天電話】鐵路總局學務課では國線關係の各學校長會議は十月十二、三の兩日に開催するが總局關係の十一小學校から二十六日までに提出された協議事項の主なるものは校舍の增築教育の標準の確立教授時間教授科目の統一等教育方針の決定各學校長の日本內地教育施設及び滿鐵小學校の視察團の組織教員の服務給與その他兒童訓服の一定等の外本校を卒業せる者は鐵路員採用の際優先權を與ふることその他約四十件に達し最初の試みとしての學校統一につきよい參考資料を提供し今回の第一回會議は極めて有意義であらうと期待され學務課では目下答申案につき審理中である、なほ十二日の會議が終了すれば二日間に亘り奉天の各學校を視察せしむる方針であるが各學校長等が日本の教育に多大の憧憬をもつてゐることは注目すべきことである

獸醫講習所

【奉天電話】滿洲國實業部の直轄として奉天に獸醫講習所を開設することに決定し日本人二十名滿洲人三十名を收容し六ケ月間の講習期間で卒業の上は直に各農事試驗場に配屬し獸醫方面の事務に當らしむる方針である

電々株主不滿

【奉天電話】滿洲電信電話株式會社の創立總會は終了したるに株劵の配付は未だに決定して居らぬので株數の配付を受けた方面では何時頃株券を申込者に渡すのか見當がつかぬので迷つてゐる恐らく株券は印刷中であらうが配付期日が明示されないのと日滿株式會社の最初の會社だけに斯うした方面の期待は株應募者の多少の不滿を招いてゐるらしい

熱河氣象調查

熱河方面の氣象調查のため關東廳觀測所では錦州、承德へ技術員を派遣する事になり目下器械の運搬其他の準備中である、熱河方面に對する產業其他各種の調查研究は日滿提携して全力を傾注せる折柄、農業、牧畜、鑛業、土木等そのいづれに於てもこれが基礎資料となるべき氣象材料は從來皆無の狀態で各方面共不利不便少からず且つ軍事上よりも同方面の詳細なる氣象觀測は極めて重要であるので、今回前記兩地に觀測機關を設くることになつたわけである、但し承德は未だ交通機關の不完備の爲め精密なる氣象器械の運搬に困難を感ずるものらしく多少遲延する模樣である

國鐵時間改正
十月一日より實施

【奉天電話】十月一日から滿鐵本線旅客列車の運行時間を改正するので鐵路總局の國線各列車も亦これと聯絡關係を保つため左の時間に改正することになつた

△四〇一列車　吉林發午前八時五十分奉天着午後十時二十五分山海關着午前十時四十五分
△四〇二列車　山海關發午後五時四十五分奉天着午前五時五十五分吉林着午後七時二十五分

奉天山海關間の改正時間

△一一三列車（下り）奉天發六時五十五分錦州着零時五十四分山海關着午後六時十五分
△一一一列車　奉天發午前十時二十五分錦州着午後三時五十六分山海關着午後七時三十五分
△一一四列車（上り）山海關發午前六時五十分錦州着十一時三十三分奉天着午後五時四十五分
△一一二列車　山海關發午前十一時五分錦州着午後三時五十五分奉天着午前六時五十五分

奉天朝陽鎭間（瀋海線）

△四四列車　奉天發午前十一時四十分朝陽鎭着午後七時三十五分
△四三列車　朝陽鎭發午前八時三十五分奉天着午後五時

電報料引下陳情

大連商工會議所は電報料値下げ問題に關し二十七日大連高田商工會頭、瓜生副會頭、長永書記長は關東廳に長官を訪問種々陳情する所あり長官もよく考慮する旨の回答を與へ三氏は辭去したが、これと前後して滿洲電信電話株式會社總裁山內靜夫中將も亦長官訪問晝食を共にして午後一時半辭去した

八田副總裁一行

【チチハル二十七日發國通】八田滿鐵副總裁一行は本日午前七時發飛行機で海拉爾、アルシヤン方面に向つた午後四時頃歸齊の筈

村上滿鐵理事

北鮮鐵道管理局開廳式參列のため滿鐵村上理事は二十八日朝大連發急行にて淸津に赴くが歸途京城に立寄つて引繼挨拶を述べ十月五日ごろ歸連の豫定である

爲替管理規則の解說を聽く會
あす午後四時大連商議にて

二十七日附を以て發布になつた關東州及南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理規則は關係當業者に取り成文の解說を要する箇所少からず勞大連商工會議所主催、大連、滿日兩社後援にて二十九日午後四時より大連商議樓上に於て橫山關東廳理財課長から右に關する解說を求めることゝなつた、關係業者の來聽を希望する

本日廳報を添ふ

爲替管理 關東廳令（二）
二十七日附公布

爲替管理規則（つゞき）

第七條　關東長官の許可を受くるに非ざれば證券（公債、社債、株式又は公債社債の利札を謂ふ以下同じ）を本令施行地外（內地、朝鮮、臺灣及樺太を除く）より輸移入し又は本令施行地外（內地、朝鮮、臺灣及樺太を除く）に輸移出することを得ず但し左に掲ぐる場合は此の限に在らず

一、本令施行地內に支拂地を有する證券の支拂を受くる爲支拂期日前三月內又は支拂期日以後に輸移入するとき

二、外貨證券の支拂を受くる爲支拂期日前三月內又は支拂期日以後に輸移出するとき

三、株主、取締役又は社債權者が法令又は定款の規定に基き義務として又は權利の行使若は保全の爲會社に提出すべき株式又は社債を當該會社に送付する爲必要なるとき

四、前號に掲ぐる株式又は社債の提出に伴ひ當該會社より株式又は社債を返付又は交付する爲必要なるとき

五、株式引受人又は公債若は社債の應募者に對し之に交付すべき株式又は公債若は社債を送付する爲必要なるとき

六、本令施行地若は滿洲國の公債若は其の利札又は本令施行地內若は滿洲國內に本店を有する會社の株式、社債若は其の利札にして邦貨又は滿洲銀系通貨を以て表示するものを滿洲國より輸移入し又は滿洲國へ輸移出するとき

前項の規定に依り許可を受けて證券を輸移入し又は輸移出したる者は別に定むる所に依り二週間內に關東長官に報告すべし

第八條　業として外國通貨、外國爲替又は外國通貨を以て表示する債權の賣買を爲す者は本令施行後一月內にその營業をなす店舖を關東長官に届出づべし

本令施行後業者として外國通貨、外國爲替又は外國通貨を以て表示する債權の賣買を爲さんとする者又は其の營業を爲す店舖を變更せんとする者は豫め其の店舖を關東長官に届出づべし

前二項の規定に依り届出を爲したる者其の營業を廢止したるときは二週間內に關東長官に届出づべし

第九條　業として外國通貨、外國爲替又は外國通貨を以て表示する債權の賣買を爲す者前條第一項又は第二項の規定に依り届出を爲したるときは第二條及第四條の規定に拘らず左に掲ぐる取引又は行爲を爲すに付關東長官の許可を受くることを要せず

一、顧客の依賴に應じ又は其の委託に依り外國通貨、外國爲替（業務上外國爲替に準ずるものを含む）若は外國通貨を以て表示する債權又は本令施行地と內地、朝鮮、臺灣及樺太との間の圓爲替の賣買を爲すこと

二、前號の規定に依る外國通貨、外國爲替、外國通貨を以て表示する債權又は圓爲替の賣買に伴ひ必要に應じ外國通貨、外國爲替（業務上外國爲替に準ずるものを含む）若は外國通貨を以て表示する債權又は本令施行地と內地、朝鮮、臺灣及樺太との間の圓爲替の賣買を爲し又は本令施行地外に對する送金を爲すこと

三、本令施行地外より本令施行地に仕向けたる送金爲替の支拂（送金爲替に準ずる支拂指圖に基く支拂を含む）を爲すこと

前條第一項の規定に依り届出を爲したる者に付ては本令施行の日に遡り前項の規定を適用す

關東長官必要と認むるときは第一項の取引又は行爲に付許可を受けしむることあるべし

第十條　業として外國爲替（本令施行地と滿洲國との間のものを除く）の賣買を爲す者は別に定むる所に依り各月に於ける外國通貨、外國爲替、本令施行地と內地、朝鮮、臺灣及樺太との間の圓爲替及外國通貨を以て表示する債權の賣買、取立爲替の取扱、信用狀の發行等に關する明細書を翌月十五日迄に關東長官に提出すべし

第十一條　取引所の錢鈔取引人は別に定むる所に依り毎日の外國通貨賣買に關する明細書を三日內に關東長官に提出すべし

第十二條　業として外國爲替（本令施行地と滿洲國との間のものを除く）賣買を爲す者は別に定むる所に依り毎日の外國通貨、外國爲替及外國通貨を以て表示する債權の賣買高及賣持又は買持の高を三日內に關東長官に報告すべし

第十三條　本令施行の際本令施行地の內外に於て外國通貨（滿洲銀系通貨を除く）を以て表示する證券又は債權を所有する者は別に定むる所に依り本令施行後一月內に關東長官に報告すべし

本令施行後前項の證券又は債權を所有する者本令施行地內に住所を有するに至りたるときは別に定むる所に依り翌月十五日迄に關東長官に報告すべし

本令施行後本令施行地の內外に於て第一項の證券又は債權を取得し又は失ひたる者は別に定むるところにより翌月十五日迄に關東長官に報告すべし

前三項の規定は其の金額千圓相當額未滿なる場合及び外國人が本令施行地外（內地、朝鮮、臺灣及び樺太を除く）に於て所有するものに付ては之を適用せず

第十四條　本令により一定の期間內に明細書又は報告書を提出すべき義務を負ふ者變災其の他已むを得ざる事故に因り其の期間內に提出することを能はざるときは其の事故止みたるとき其の事由を具して遲滯なく提出すべし

第十五條　關東長官必要と認むるときは本令に定むるものの外事項及人を指定して報告を徵することあるべし

第十六條　關東長官必要と認むる時は官吏をして何人に對しても關東州及南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理令に於て依ることを定めたる外國爲替管理法第一條の禁止又は制限に關係ある事項に付其の帳簿其の他の檢査を爲さしむることあるべし

第十七條　關東長官は金地金、外國通貨、外國爲替又は外國通貨を以て表示する證券若は債權を有する者に對して業務上其の他正當なる理由に基き其の保有を必要なりと認むるものを除くの外自ら之を處分すべきこと又は關東長官の指定する者に賣却すべきことを命ずることあるべし

第十八條　本令施行地內に本店又は主たる事務所を有する法人又は本令施行地內に住所を有する人の內地、朝鮮、臺灣及樺太に於て爲す取引又は行爲に付ては第二條及第四條の規定を適用せず

第十九條　外國爲替管理法に基く命令の規定に依り大藏大臣、朝鮮總督、臺灣總督又は樺太廳長官の許可を受けたる取引又は行爲に付ては本令の規定に依り關東長官の許可を受くることを要せず

第二十條　關東長官必要と認むるときは取引所における錢鈔取引の相場を限定し、取引人の取引を制限し、その立會時間を短縮し又は立會の全部若くは一部を停止することあるべし

第二十一條　關東長官必要と認むるときは取引所の錢鈔取引人に對し轉賣若は買戾を命じ又は取引擔保會社若は取引所に對し錢鈔取引に關する證據金の增徵を命ずることあるべし

第二十二條　前條の規定に基きて發する命令に違反したる者は一年以下の懲役又は禁錮、二百圓以下の罰金又は拘留若は科料に處す

法人の代表者又は法人若は人の代理人、使用人其の他の從業者が其の法人又は人の業務に關して前項の違反行爲を爲したるときは行爲者を罰するの外其の法人又は人に對し亦前項の罰金刑を科す

第二十三條　關東州及南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理令に於て依ることを定めたる外國爲替管理法の罰則の適用を受けざる者同法に依り處罰せらるべき行爲に該當する行爲を爲したるときは拘留又は科料に處す

第二十四條　本令の規定に依り關東長官の許可を受くる場合及關東長官に報告すべき場合の手續に付ては別に之を定む

附則

本令は昭和八年十月五日より之を施行す

施行細則

（略）

八相　投書歡迎　五十行以內　中傷はさらず

州內銀行と國幣
遼東ホテル宿泊　中田生

◇州內各銀行は滿洲中央銀行紙幣を何故拒絕するか、私はメリヤス販賣の爲め渡滿せし者なるが奉天に於て滿人と商取引を爲し受入れた代金を大阪本店に送金せんとせしも、銀行營業時間締切後で送金出來ず、大連に急用起りたる故、回收せる滿洲中央銀行紙幣を大連迄持參、大連の某銀行にて圓價に換算し、大阪に送金方依賴せるに關東州內各銀行にては滿洲中央銀行紙幣は絕對に取扱せぬ故に爲替も送金もお斷りするとの事で實に意外の念に打たれた。

◇滿洲國建設は我日本帝國の絕大なる後援の下に誕生せるものにて、政治外交及び經濟上全般の指導と援助をなし、殊に滿洲中央銀行の如きは日本の借款に依り、且又營業の衝に從事せるは日本人で、遂に今日の堅實なる發展を爲したるもので、過去張作霖、學良時代の濫發奉天票と心得、最も緊密なる關東州內各銀行がこれが受拂をなさゞるは日滿經濟提携の實現何處にありやと批難するも過言であるまい

◇大連稅關では右紙幣を以て稅金を徵收して居ると聞くが、今日この際關東廳當局者も大連各銀行、商工會議所、滿鐵等斯の如き問題を等閑に附し居るは經濟提携に矛盾して居るではないかこれには何にか他に理由の存するものと思はるゝが、州內に滿洲中央銀行券が流通して何の差支あるか、滿洲特產物取扱ひにも日本製品販賣にも奧地と共通性を生じ、貿易上彼我蒙る處の利益は甚大なるものである、大連銀行團は進んで一刻も早く取扱ひを開始すべきが經濟上連鎖の先驅である、希くは大連實業家諸彥の輿論喚起を促し實現の速かならんことを切望する。

お答へ　關東州內に於て銀行が國幣の取扱をなさゞる根本的理由は現在國幣の州內流通認められ居らざるためなり、大連稅關に於ては徵稅單位は國幣建なるも實際には國幣の受入を行はず毎日稅關の發表する公定相場により金圓又は鈔票により徵收し居らるゝ現狀なり（朝鮮銀行）

大觀

支那のいつものひが目、方振武軍にも日本の尻押あるかと疑つてゐたことは、殷同委員の談によつても明白▲日本は左樣なことは決してなく、公明正大、一意非武裝區域の平安を思ふ外に他意なきことを知つて安心したと、これも殷同委員の談▲支那に於ては、兎角疑心暗鬼をサラリと片づけて、公明正大な氣持を以て日本と協力し、北支治安に專心するを要す▲廣田外相、蔣作賓公使に早く歸任されたき旨申入れたさいふので、外相の對支外交積極乘出しが噂に上る▲靜觀必要であるが、靜觀は無爲ではない、廣田外相が靜觀と無爲の區別をハツキリさせるか▲南京政府は噂の通り、米棉の始末に困つて日本に賣りつけんとす▲勝手な云ひ分だが、まこと困つたのならば日本の援助がなくては支那の政治が出來ないと覺つたことになる▲本當にそれを覺つて、それに相當する對日政策を執らうといふなら日本でも一應考へて見てよからう▲ソウエート共產黨、武器其他の金品を給して反滿分子を扶け、滿洲攪亂を企圖せる形跡がある▲北滿は油斷ならず▲富田サーカス事件首謀者の死刑、其他の有期徒刑、被害者への賠償金慰藉料交附で圓滿解決▲これは滿人側の無理解に基く事件、此の解決が、日滿親善理解增進の因となれば結構である

人事

▲浦島榮吉氏（營口國際運輸支店長）二十七日夜七時五十分着列車にて來連ヤマトホテルに投宿

山之井囑託　滿鐵囑託山之井格太郎氏は曩に熱河省を踏査し有力な資料蒐集に成功したが今回その結論に資すべき視察の必要を感じ二十七日出帆の天津丸にて天津に出張した、旅程は約三週間奉天線を經て十月中旬歸連の由

野口民會長【奉天電話】奉天省城大東門外造兵廠附近には最近日本人の居住者增加し居留民會として小學校を增設する必要あり野口民會長ははさて滿鐵に右諒解を求めるため大連に向つた

神尾茂氏　大阪朝日新聞社東亞部長神尾茂氏は熱河聖戰及び長城線確保後の滿洲國視察のため二十七日入港うらる丸にて來連したが滿洲を視察後北支を經て歸阪する

近藤經理課長　近藤遞信局經理課長は明年度豫算說明のため十月早々上京の筈

市況（廿七日）

株式　業績悲觀で　錢鈔暴落

東新は三圓臺の保合なるも五品は二十錢安錢鈔は二圓方の暴落を演じた

◇後場

銘柄	當限	先限
五品	二六九	二七二

◇延取引　（寄値　高値　安値　大引）　五品　新豆　錢鈔　東新　滿鐵新　[illegible]

特產　銀安を眺め　大豆强保合

後場の定期は大豆は仕手薄乍ら銀安を眺め强保合を示し、豆粕は閑散保合を辿り、高粱は買氣薄と弱保合であつた

◇定期後場（銀建）　▲大豆（强保合）　▲豆粕（軟調）　▲高粱（弱保合）　[illegible]

◇現物後場（銀建）　▲包米　出來不申　[illegible]

錢鈔　嫌氣投げで　鈔票低落

海外材料安見越しと管理法悲觀から投げ物弗々あり前場より一圓方安と下押した

◇定期後場（單位錢）　寄付　高値　安値　大引　[illegible]
出來高　期近　三百八十七萬圓

◇現物後場（單位錢）　銀對金　銀對洋　金對洋　[illegible]
出來高（銀對金　廿四萬二千圓　銀對洋　一萬圓）

商品
▲商品　出來不申

奧地市況

限月	銘柄	寄付	大引
先物	▲奉天奉票對金票	五六三〇	
現物	▲奉天國幣對金票	一〇五、九〇	一〇五、六〇
先限	▲開原國幣對金票	九四二〇	九四七〇
現物	▲新京國幣對金票	一〇六、〇〇	一〇五、五〇
現物	▲ハルピン國幣對金票	一〇五、五〇	一〇五、五〇
現物	▲安東鎭平銀	一〇六、〇二	一〇五、六〇
當限	▲ハルピン大豆	一四五六	—
十月		六三五〇	六三五〇
十一月		六一五〇	六一五〇
十二月	▲同小麥	六一七五	六一五〇

市場電報
神戸特產　東京株式　大阪株式　大阪期米　神戸期米　東京期米　大阪綿糸　橫濱生糸　[illegible]

家庭

みのりの秋を迎へ賑やかな市場風景

果物・お野菜類の値段調べ

「空高く馬肥ゆ」爽かな秋は食慾の増進に正比例して人の子たちも思ひ切りぐん〳〵伸び上ります、自然の恩恵を多分にうけて實を結んだ果物、お野菜類もこの秋のみのりの時季を迎へて、秋の市場をより賑やかにして呉れます、地物のお野菜、果物類を美味しく、又お安く戴けるのも滿洲だけに大して長い期間ではなく、せい〴〵十月一ぱいでせう、で今出盛りの滿洲のお野菜其他渡來物の珍しい果物類の狀態、お値段を大連中央卸賣市場の川俣氏に伺ひませう

地物 お野菜で出盛つてゐるものは白菜、大根、ホウレン草、甘藷、カブ、インゲン、長豆位でせう、内地ものでは白芋、ギンナン、白ゐび芋、橙、くわゐ、蓮芋、青唐辛子、木ノ芽、根芋、ワサビ、百合根、新生姜、柚子、みようがといつた新しいものが、そろ〳〵入荷して居ます、松茸は朝鮮ものが大連市場を現在のところ獨占して居る狀態です、お値段は白菜一貫目六、七錢、大根一本五、六厘、ホウレン草一貫目廿五、六錢（一把六厘位）甘藷一貫目八錢、カブ一把六厘、インゲン一貫目五錢、長豆一貫目十五錢―十八錢

内地 もの、ギンナン一貫目一圓から一圓四十錢、白ゐび芋は未だ初荷着の狀態ですが、これも入船毎に多くなつて來ますからずつとお安く手に入りませう、橙一錢―二錢、くわゐ一貫目二圓五十錢、蓮芋一錢―二錢、百合根一箱（石油箱）數日前五圓五十錢したのが現在では二圓―三圓、新生姜一貫目九十錢、柚子一ケ一錢―一錢五厘、四五日前まで二圓内外してゐた朝鮮松茸も今では百匁七、八十錢、粒選で一圓―一圓二十錢位に値下りして來ました、さすがに

果物 の王國だけに、臺灣からは人氣物の柿と珍しい蜜柑、ザボンが既に渡來しました、栗は朝鮮栗を先頭に丹波栗も出ましたが未だ天津栗は入荷してゐません、お値段は柿四斗樽で四圓から六圓、一ケ三錢から四錢位、内地の木ねり、富裕柿、甘柿などもそろ〳〵入荷される筈で、入荷すればお値段も安くなり三錢位になりませう、蜜柑は未だ味が眞物でなく大量入つてゐませんが來月中旬頃にもなりますと味も相當よくなるでせう、ザボンはバナ、籠一籠三圓―四圓、栗は未だ朝鮮ものが主で一貫目五十錢、丹波栗七、八錢、天津栗はまあ出初め五六十錢位でせう

以上 は大連の卸賣値で、小賣値は品物の種類によつて野菜十割、松茸、果物五割といつた具合に高くなるわけです

土用干しによい時期です

土用中の土用干が無意味だといふ事は最早誰方も御存知の事です、空中に飛び散つてゐる小虫等がまつたく影をひそめるこれからが所謂土用干しの最もよい時期です

簞笥の虫を防ぐ法

桐の簞笥は決して蟲がつかないものとされてゐますが時節柄

總桐ばかり が使用されてゐるわけでもありませんから桐の簞笥にも蟲が出るといふ事もあり得ます、又桐材は他に濕氣を吸收して保存品をいためぬ性質をも持つてゐますが時々完全な乾燥が出來なかつた爲め生の時に植ゑつけられてゐた蟲卵が殘つてゐたり又生の材料を使用すれば後から蟲が侵入するといふ場合もよくあります、土用干で、衣類はよく乾燥させながら簞笥の抽斗はもとのまゝの上に又衣服をしまひこんだりすることは、凡そ意味ない事です

簞笥の抽斗 も衣類と同樣に日に乾して、よく風をあてゝ下さい、そして底に樟腦とか、ナフタリンとかを入れます、又菖蒲の葉を乾燥させて二寸位の長さに切り五、六本を一束としてくゝり、二、三束づつ簞笥の底へ入れておくのも防蟲の効果があります、若しすでに蟲がついてしまつたならば、その穴に第二カクロール水銀を水に溶して注入し、又その近所にハケで塗れば退治が出來ます、これは無色の溶液ですから、たとひ簞笥の表面に塗つても分らないから便利です、そのほか

蟲害を蒙つ た簞笥類は一時の蟲は治まつても、またそのうちに發生する事が屢々ありますから、改めてよく〳〵乾燥をさせなければなりません

家庭のメモ

無双の滋養劑

これから出來る葡萄の新鮮な實を選びまして器の中へ汁を押し出し、これを更に目の細かい布で他の器へしぼり出します、このしぼり汁一合に對して鷄卵の黄味一個、牛乳約七勺、はちみつ茶匙三杯を加へてよくかきまぜます、この液は長年の實驗上實に無双の滋養強壯劑です、主として神經衰弱、肋膜患者、消化器病者及び姙産婦によろしく又高熱の重病者に用ひて特効があります、なほ健康者が日々持藥に致しますと層一層の精力がつきます。

心淋しき人を歌ふ

前島いづみ

語らふに足らむ人ぞと希ひてし君はひたすらもだす君かも

何ものも信ぜずけりと其の淋し君が心を宣す君かも

自らを厚き岩戸に閉しつゝ我れ友無しともらす君かも

誇を嘉す君にしありと吾はもひしさは想ひてし君は君かも

君一つ何樂しむよ他事乍ら書を歡をも厭ふ君かも

わたしの結婚觀（八）

大連にはゐないわ

社交的で洗練された男の方

遼東ホテル 宮森光子さん

八

旅愁と疲勞を感じ乍らはいつて來る旅人に優しい微笑みを投かけ乍ら朗かに遼東ホテル玄關御案内係の宮森光子さん（二三）にお話しを聞くべく出掛けると見晴らしのいゝ三階の一室に導かれる。

……◇……

現れた光子さん、さすがに人の出入りのはげしい玄關で働いてゐらつしやるだけ社交的に洗練されてゐる。しつくり體にあつた洋裝、化粧氣のない麗貌、近代的な感覺を受ける、神明高女卒。

「ホテルの玄關に働いてゐらつしやると流行なんか特に氣をつけてないといけないでせう」

「エ、勿論知つておかないと困るから研究してゐます」

「はいつて來た客で人柄がわかりますか」

「えゝたいていわかります」

「隨分あやしいのも來ることもあるでせう」

「でもそんな方に限つて決して二人揃つて來ませんわ」

……◇……

「このホテルなんかに泊る人だつたらダンスなんかにさそふ人もあるでせうね」

「私、父がやかましいからダンスはしませんがお客さんは玄關では仲々いんぎんですよ」

「ホテルの人なんか社交的だと思ふが」

「性質にもよりませうが併し話しなんか相當洗練されて上手になります」

「公休日には、そうね、私、運動がとても好きなの、此頃テニスやつてゐるわ、映畫もよくゆくのよ」

「父の仕事の關係で新京、奉天にも住んだわ、大連よりは新京の方がずつといゝわ」

……◇……

「新京でのローマンス聞かしてくれませんか」

「アラ……」

「一體光子さん、どんな男の人好き」

「社交的で洗練された人」

「どうです大連には」

「大連にはゐない」

「大連には、といふ以上さては新京にゐるのですな」

「アラ……ゐないわ、ゐないわ」

「男の人つて實際蟲がいゝわ、本當よ」

「貴下の彼氏はどうです」

「いやだわア……そんなこと發表しない方がいゝでせう……ホホ」

なか〳〵話しの愉快に出來る人です。近代的明朗性を持つた人としてかうしたはつきりした人は望ましいと思ひました。

……◇……

「私達同窓生が五人よつて時々色々と話し合ふのですよ」

「それやあ面白いでせうね、女の人が集まると一體どんな話しをするのです」

「相當男性に就いてなど突つ込んだ話をしますわ、それに結婚した人もありますから」

「そうして話し合ひながら研究すると却々男性の操縱が上手になるでせう」

「あらあ……そんなことないわ」

「どうです、男女の交際については」

「そうね。どし〳〵すればいゝと思ふわ、女の人も男の人ももつとお互を認識し合ふ必要あるわ」

全く光子さんの仰しやる通り兎角自分をかくしたがる人達の多い時記者は光子さんのはつきりした言葉に大いに共鳴しました。うれしくなりました。

……◇……

「ところでどうです、光子さん一つ結婚に就いて」

「それはこの次までおあづけ」

「さては新京の……」

「あら、あら、そんなこといふものぢやなくつてよ」

成程、これは記者も野暮でした、すつかり光子さんにたしなめられて了ひました。（寫眞は朗らかな宮森光子さん）

目新しい古風な南蠻風

新しいコートとお部屋羽織

三越の衣裳展覽會

大連三越で開かれた秋の尖端を行く衣裳展覽會を覗いて見ませう、流行に引ずられてゐた時代も早や過ぎて今では各自の趣味に從つて好みの色調、模樣などが選擇され充分個性を發揮する時代になりました、殊に高級品になりますとその傾向が強く見えます、從つて柄合、色調に一派の流れが割合になく、思ひ切つた大柄がある一方に又地味な柄物があるといつた具合な調子を辿つてゐます然しさうした思ひ切つた大柄も古典的な落つきのある澁色の色調によつて十二分に秋に相應しい氣分を發揮してゐます、特に目を引く目新らしいものとしては古風な南蠻風が帶其他高級な訪問着などに巾を利かせてゐる點でせう、大衆向きの色調の流れとしては今年は白茶系でせう、冬物向も總體に明るい薄系統になつて鼠系統は影薄くなつて來ました、地風としては紋應用のものが全然勢力を握つて來た感があります、寫眞は御部屋羽織と變りコートです、コートによつて隱された御婦人の美しい半衿、帶の生命を生かすために考案された變りコートで下着を生かすために脇を縫ひ明けてある點もこのコートの持つ特徴です、地色は茶で縁は臙脂の總しぼりになつてゐます（四十六圓）御部屋羽織無雙になつてゐて御衣裳によつて裏表が自由に羽織られ陣羽織式になつたものです、四十七圓五十錢

家庭顧問

臍から粘液が出て困る

【問】本年十七歳の男ですが幼少の頃から臍をいぢくる惡い癖があつた爲今では大きく縱んで擴がり人のヘソの樣にしまつてゐません、時に臭いメヤニの樣な粘液が出ます、このまゝ風呂などへ入つても構はないものでせうか、危險な事などはありませんでせうか、大へん見苦しくて困つてゐます、元通りにする方法はありませんでせうか（失名氏）

その儘放任して置いて關はぬ

【答】其儘放任しておいて差支へありません、惡臭を放つ分泌物が出る時は「オキシフル」を綿につけて拭き、乾燥した後「デルマトール」を撒布したら直ぐに治ります、元通りに治すには整形手術をなせればなりません。（辻慶太郎）

盲腸を手術した跡が痛む

【問】今年十七歳の男子です、去年の八月に盲腸を手術いたしたのでございますが、最近運動をいたしますと手術した腹部が痛み出すのです、大して苦痛はないのですがどんな原因で痛むので御座いませうか？治療法を御教示願ひます（R・M生）

心配御無用、だが一度診て貰ふ事

【答】手術後の瘢痕は通常幾分引きつるものですから餘り心配する程の物でもありませんが、まゝ瘢痕部に脱腸を起す場合があり放つておいたら危險な事もありますから診斷を受ける必要があると思ひます（三浦孚）

赤坊が俯伏せに寢て困る

【問】本年正月生れの乳兒ですが一週間前頃から俯伏せに寢て夜中幾度直して寢せても矢張り俯伏せになります、何か病氣でもあるのぢやないでせうか、その他はどこにも異狀ありませんが、何んとか直す工夫はないものでせうかお教示下さいませ（惱める母）

一度醫師に檢便して貰ひなさい

【答】小兒に關はらず大人でも一般に弱い者は俯伏せに寢るものです、消化器や腸が惡く又寄生蟲が居る場合は俯伏して寢勝ちになります、腸に異常なく其他も普通でしたら心配ありません、俯伏してゐる場合は直して寢せてやります、相當生長してゐる幼兒でしたら醫師に檢便して貰ひ蟲卵の有無によつて二月に一回位蟲下しをやる必要もありますが未だ乳兒でありますから身體に別に異狀がなければ心配ないと思ひます（金子甚藏）

本社特選 新棋戰（其五）

平手　先四段△市川一郎　四段▲加藤富久

【圖は三四同飛迄の局面】△市川氏持駒銀桂歩四ツ　▼加藤氏持駒銀桂歩

▲四三銀　△三六飛
▲四四桂　△二六飛
▲三六歩　△四五桂
▲三七歩成　△三三桂成
▲同飛　△三四歩
▲同飛　△三五歩
累計八十一手

土居八段講評 加藤君の三七歩成は一見輕手の如く見ゆるも、之れでは攻めが續かない、四五桂、同銀、三七歩成と指し此の成歩を利用する方が優る、續いて敵の三四歩打に對し同銀と指しては以下飛車換へを挑んでも成歩の働き薄く、之れでは攻勢を採ることが出來ない、故同銀、三五歩、同銀、同銀、三六と、三四歩、三一飛、二九飛なら三五と、と指す方が面白い。

萩原七段解說 加藤氏の四三銀は敵の四三銀打を防ぐもので次の四四桂も矢張り敵の三四歩打を防ぐ先手である、次に三七歩成は敵が同銀なら四五桂でよい、市川氏の三三桂成は當然の應手で次に三四歩と打つて先手に三五歩と敵の飛車先を留め敵の三七歩成を無効に終らさんとするものである。

滿日各地版

秋風吹く橘山にて 壯烈な白兵戰
州外學校青訓生徒聯合の下に 展開された野外演習

【鞍山】今秋の州外學校青訓生徒聯合野外演習は二十六日から遼陽鞍山間地區に於て開始された、參加者は中學生四、五學年約八百名、醫大豫科生約二百名、青訓三、四年生約三百名、合計約一千三百名及奉天、鞍山兩守備隊、在鄕軍人若干名にして南北兩軍に分れ、この朝兩軍は次の如き想定に基き北軍大隊長池田大佐の率ゆる安中、新商、醫大豫科、青訓の四個中隊及奉天守備隊の機關銃隊、野砲兵隊若干は午前九時遼陽を出發して首山に向ひ南軍大隊長、鮫島中佐の率ゆる奉中、鞍中、撫中、青訓生の四ケ中隊及鞍山守備隊の機關銃隊、野砲兵隊若干は同時刻鞍山の北方立山を出發北進し同十一時頃兩軍は日露戰役の橘中佐で有名なる首山橘山に於て會戰約一時間に亘り壯烈なる擊火演習や白兵戰を演じ正午休戰ラッパを合圖に休戰となり一同々山に於て中食、これより先き鞍山にあつた演習統監中西地方部長以下審判官石川少佐、有賀學務課長、秋山、村上視學、池田、吉田青訓係主任等統監部一行は會戰前に橘山に先行觀戰後鞍山守備隊長羽山少佐より橘山附近に關する戰史講話あり小憩の後午後三時南軍鞍山に向けて退却を開始すれば北軍は之を追擊し同夜南軍は鞍山附近北軍は立山驛附近村落に露營の一夜を明した、かくて同夜も互に徹宵斥候戰を交へ翌二十七日午前四時となりて兩軍再び本格的行動を開始鞍山北端の八卦溝附近に於て又も壯烈なる攻防戰を行ひ無事演習を終り同十時迄に全軍鞍山守備隊練兵場に集合戰鬪講評、統監の訓示あり分列式を以て演習の幕を閉ちた

兩軍の想定

南軍想定

一、奉天占領の任務を有する南軍混成旅團は九月二十六日朝大石橋出發大石橋——遼陽道を北進中なり

二、遼陽附近に前進し敵の鐵道輸送を妨害し已むを得ざるも首山堡附近を占領し旅團の進出を容易ならしむべき任務を有する先遣隊(歩兵第一聯隊第一大隊長の指揮する歩兵一大隊、野砲兵一中隊)は九月二十六日午前十時其先頭を以て沙河南端三叉路に達す

三、同時迄に先遣隊長の知り得たる情況左の如し

1、飛行機の通報によれば敵の歩兵一縱隊(約四百)本朝遼陽に下車し午前九時その先頭を以て遼陽西南端出發南進せり

2、又兵力未詳の敵の歩砲兵は本日午前九時奉天驛に集合しあり

制令 一、南滿洲鐵道遼陽以南は破壞せられあるものとして使用するを得ず且つその線路に沿うて通過すべからざる障碍物あるものと假想し斥候と雖絶對に鐵道線路を通過すべからず

二、斥候は午前九時三十分より出發せしむることを得

北軍想定

一、大石橋方面より前進する敵を擊攘する任務を有す在奉天混成旅團は九月二十六日鞍山站に向ひ前進する爲奉天遼陽間鐵道輸送中なり

二、首山堡附近を占領し旅團の遼陽附近に於ける集結を掩護し且爾後の進出を容易ならしむべき任務を有する先遣隊(歩兵第一大隊長の指揮する歩兵一大隊(第四中隊及機關銃一小隊缺))は九月二十六日朝遼陽下車午前九時其先頭を以て遼陽西南端を出發す

三、同時迄に先遣隊長の知り得たる情況左の如し

1、飛行機の通報に依れば歩兵約一大隊砲四門の敵は本日午前七時鞍山站出發遼陽——海城道を北進中なり

2、又砲兵を有する兵力未詳の敵の一縱隊は本日午前八時大石橋出發北進中なり

3、我混成旅團の主力は本二十六日午前九時以後逐次奉天驛出發鐵道輸送にて遼陽に下車南進する豫定なり

制令 一、南滿洲鐵道遼陽以南は破壞せられあるものとして使用するを得ず且其線路に沿うて通過すべからざる障碍物あるものとして斥候と雖も絶對に鐵道線路を通過すべからず

二、斥候は午前八時四十分より出發せしむることを得

秋晴れに轟く銃聲

橘山附近の學生青訓聯合演習(上)橘山上の統監部(下)同附近南軍の機關銃隊

二年前を顧みて 實戰參加勇士の手記 (九)

筒井主計正

一、略

二、事變前の狀況

排日侮日の氣分が漸次尖銳化す[illegible]何とか[illegible]夜間演習をするとき「日本軍は夜間演習をなすべからず」散兵壕を掘れば「豫め支那側の承認を受けよ」又附屬地以外の地に演習行軍をすれば「十日前に報告すべし」等と何かと文句が起る、其都度支那膺懲すべしと慨歎するも由來常に隱忍に隱忍を爲し來つた當時支那人は豪語して曰く「日本軍は日露戰役後實戰の經驗なく、之れに比し我支那軍は常に彈雨の間を馳驅し居れば兩者戈を交へんか我に十二分の勝算あり」と

我在留同胞の間にも彼等侮日の態度を憤慨する者白熱化し來り、[illegible]

三、集合命令

九月十八日夜は或宴會歸りにて微醉し居りたり妻は病氣のため入院、子供は他に預け全く獨身生活の氣輕さに自分で床をのべ寢に就かんとしたるに玄關のベルはけたゝましく鳴り響いたトン〳〵

當番「主計殿々々非常呼集であります、大隊長も本部に來て居られます」

主計「何だ、何事だつ」と寢呆け面を緊張させた

當番「第三中隊は支那兵と交戰して北大營を包擊して居ります」

主計「よし、來た」

と直ちに用意の軍刀、拳銃を手に神佛に一禮して飛び出し、本部に馳せ參じた

思へば妻は折惡く病臥すと雖も[illegible]

た、十八日午後十一時、主計は特務機關に前後三回傳令に行つた、その時入口には「出入禁止」の赤紙が貼つてあつた

入口に新聞記者が居て自分が行くと[illegible]

四、新國、增子兩勇士の最後

滿洲事變のトップを切つた北大營の戰鬪も旣に二年前の昔となつた、新國、增子の兩勇士が九月十[八]日午後十一時頃、意氣天を衝く[氣]概を以て營門を出た有樣が今尚目前に髣髴として居る、銃聲砲[聲]の殷々たるを他所に聞き一意北大營に向ひ、いざや今より度々重なる侮日の怨みを晴らさんと、死を鴻毛の輕きに比し猛烈果敢、敵彈に突入した二勇士の心情こそ實に神か人かと謳はれた。

雨や霰と飛來する彈丸に可惜此の二勇士は敵彈を受けた、而もその彈は國際法上嚴禁する所謂ダムダム彈なり、何條以てたまるべき、百方手を盡したが効無く、雄々しくも死の直前

陛下の萬歲を三唱し奉り遂に安らかに護國の鬼と化した、嗚呼、思へば悲壯の極なるかな、一言の私事を語らず、一意君國の爲に殉す、昨日迄は共に語らひ共に笑つた勇士は、今日は既に問へども答へず靜かに〳〵眠つてしまつた[illegible]

各地の地方委員選擧戰
俄然混戰狀態現出
雲行き一變した鞍山

【鞍山】鞍山の地委員逐鹿戰は屢報の如く決戰の日を目睫に控へながら頗る氣乘薄で氣合拔けの觀があつたが、二十五日に至り豫れて滿を持してゐた渡邊直八氏(奉天每日支局長)が突如第三區公認候補として名乘をあげ又第二區現委員石川義助氏(開業醫師)も同區公認として再出馬することに決定又滿鐵の五星會から鞍山驛長上田竹樋氏が衆望もだし難く立候補を宣するに及び、こゝもと無風帶の形にあつた當地逐鹿戰も既立候補の製鋼所側六氏並に滿人側、土建界側各一名計八名に右三名を加へて忽ち定員一名の超過となり俄に混戰狀態に陷つた、而して十一名の各候補者何れも轡を並べて陣頭に進め陰に陽に猛烈なる地盤の爭奪を演じつゝあり、更に呼び聲高き井ノ下大連新聞支局長、會社團推薦の某氏等の出馬を見るときは全局面に重大なる變化を來すべくかくてはこれまで堅城鐵壁を誇つてゐた製鋼所側も油斷ならず戰ひは期日の切迫につれいよ〳〵白熱化するであらう

石川氏立候補を斷念

【鞍山】鞍山の地議戰は既報の如く十名の定員に對して遂に二名の超過を見るに及び俄然全局面轉回して俄に混戰狀態に陷り今や戶別訪問の叩頭戰が隨所に演ぜられ白熱化するに至つたが、折柄二十六日朝に至り既に第二區公認候補として立候補してゐた現委員石川義助氏は如何なる心境の變化か俄に立候補斷念を聲明するに至つたので、こゝもと超過一名といふ形となつたが、この反面かれて拔打ちの功に出でんと暗躍中であつた池尻牛太郎氏(現)の立候補いよ〳〵確實性を加へ來つたので局面は依然樂觀を許されぬ狀勢にあるが他面又會社團からは立候補せぬ模樣であるので目下の處右十二名の決戰ではないかと目されてゐる

撫順の立候補 大體二十名位

【撫順】第七區からの立候補は坂本氏か島末氏かと注目されてゐたが二十五日に至り、坂本吉三郎氏旗色を鮮明にし第七區町內會推薦で決然立候補を宣した、池島周藏氏も一兩日中に立候補を聲明する模樣で、撫順の地委選の立候補者もやつと定員の十七名に達した、なほ市中側に機を窺つてゐる二三氏があり、今期の立候補者は大體二十名位と見られてゐる

奉天强盜團一味 滿人二名を逮捕
近く根こそぎ逮捕か

【奉天】奉天附近に出沒する兇惡なる强盜團に關しては奉天署に於て不眠不休で搜査中であるが二十五日夜南市場に潛伏してゐた二名の滿人を檢擧し目下嚴重取調中であるが

彼等は去る十七日午後十時奉天鐵西細菌研究所西側道路上に於て洋車で歸宅中の毛織會社員古矢弘一(三六)を襲ひ現金十五圓その他クロム時計を强奪逃走せる三名組辻强盜、又同夜十一時半頃瀋陽縣[illegible]分屯奉天窯業會社宿舍に侵入し目貝外五名の邦人から多額の金品を强奪逃走せる七名組强盜の有力な犯人らしく奉天署ではこれに力を得て更に各方面に刑事隊を派し犯人檢擧に努めてゐるので近くこれ等の强盜團も根こそぎに逮捕されるであらう

復讐に押掛けて 苦力の亂鬪
製鋼所敷地の騷ぎ

【鞍山】二十四日午後四時頃昭和製鋼所ノロ捨場で苦力百餘名が大亂鬪を演じてゐるとの急報に同所小坂清水巡査は時を移さず現場に急行立騷ぐ苦力等を取鎭めて取調べたところ亂鬪の原因は目下製鋼所敷地々均し及堤防工事に從事中の岡組第五組苦力二名がノロを構外に搬出して空車で歸るところに同第四組及第五組の土砂を滿載せるノロ箱二輛が下り勾配を利用して構內より疾走し來つて續け樣に前記第五組の空車に衝突苦力姜繼芝(二〇)はこれがため右膝關節骨折の重傷を負ふに至つたゝめ被害者側の第五組苦力約五十名は激昂の上一同仕事を放置して第三、第四組の仕事場に押かけ關係者各二名を拉去して麻繩を以つて右四名を附近の立木に縛りつけ毆る蹴る等亂暴を働き復讐しゐたものと判明したが別に日頃から感情の衝突があつたわけでなく單なる誤解の喧嘩であつたと尙姜は全治六ケ月の重傷、復讐と成敗をうけてゐた苦力四名は輕傷ではあるが何れも全治數日を要すると

遊覽客で 金州の賑ひ

【金州】愈々文字通りの天高肥馬の好季節となつたので二十三日の秋季皇靈祭も郊外行樂には絶好の小春日和に惠まれた更に日曜を次に控へて居るので大小團體その他遊覽客に大公學連を合し汽車とバスで約七百名に上つた、團體の主なるものはツーリストビユーローの約百名三井物產の五十名で近きは南山戰蹟三崎山より大和尚山響水寺等思ひ〳〵に一日を金州郊外に遊び名物のリンゴ籠をさげて歸つた

大谷紝子裏方

【營口】前夜來の風雨も止んで一天晴渡る秋空に豫定の如く大谷紝子裏方一行は二十六日午前九時海湯警察隊の小蒸汽にて河北に上陸過ぎし古へ姉君籌子裏方が光瑞師と同道この河北を經て營口に上陸したゆかりの地とて暫しの間昔を偲びて再び海邊隊に入り同隊の自動車にて十一時過ぎ清林館に入り晝食を取り訪問者世話方有志に別れの言葉あり十二時十分發列車にて奉天に向け出發、驛には官民多數の見送りがあつた

ゴミ中から 百圓札
苦力の驚ろき

【撫順】ゴミの中から百圓札——二十四日夕刻、滿人掃除人夫が撫順永安臺塵芥捨場で掃除中搔き出されたゴミの中に紙幣らしいものを見つけ拾つて見るとまさに百圓札!ビックリしてすぐさま人夫頭の趙萬有を通じ警察署へ屆け出でた、この正直な滿人々夫に係官は非常に感心してゐた

ハンマー飛び 職人死亡す

【奉天】市內紅梅町三十三番地奉天鐵工所職人滿人魏某が二十五日作業中ハンマーの柄が折れて一貫目の重いハンマーが前に飛び側にゐた職人周建章(三一)の右橫腹に當り人事不省に陷つたので最寄醫師により加療中內出血のため二十六日朝八時頃遂に死亡した

鞍山 愛善會支部

【鞍山】皇道大本教人類愛善會鞍山支部の發會式は二十四日八卦溝在裡公所積善堂に於て舉行されたが、奉天より同會司領井上留五郎氏大連より宣傳使諸井義勝氏、遼陽支部長諫綿山氏等參會、在鞍在裡五十餘名の出席あり趙農商聯合會副會長の開會挨拶に次いで井上司領より支部設置の主旨等につき講演[illegible]日約五十名の入會者があつた、尙大本教は最近在裡と提攜し各地に支部を開設する等運動頗る活潑なるものあり日滿人の宗教的融和の見地から注目されてゐる

送炭打合會議

【撫順】需要期を控へ撫順炭礦では二十五日午後一時より會議室に於て十月の送炭その他に對し打合せ會議を開いた、炭礦側より兒玉運輸事務所長、平瀨運輸主任、大部受渡事務所長、鈴木受渡事務主任、並に本社側より河村送炭主任が出席したが、大體十月中の送炭高は七十萬噸の模樣である

店先から盜む

【奉天】二十五日午後五時頃市內春日町三番地中谷時計店に學生風の一滿人が來り金時計を購入する樣子を見せて間もなく立去つたが暫くしてプラチナ側五型十五寶石入腕時計一個價格四十三圓、十八金リスト時計バンド一本三十九圓が紛失してゐるのに氣付き直に店員が追跡の上千代田公園前で逮捕し本署につき出した、こ奴は撫順生れ新京大同學院師範部學生吳沿邦(二〇)と自稱し前記時計、バンドを所持してゐた外十八金ホワイトゴールド指輪一個價格十二圓八十錢、十八金指輪二個價格十二圓八十錢を所持してゐたので嚴重取調べの結果中谷時計店で竊取したことを自白したが竊盜の常習犯であると

三菱奉天出張所

【奉天】三菱商事奉天出張所では奉天に於ける綿糸布市場の發展に鑑み綿糸布の取扱方につき調査中であつたが取敢ず曩頃から綿布のみの取扱を開始した

旅順放送

▲豫て建築中の淨土宗明照寺境內乃木堂は這次全く竣工したので來る三十日午後一時から京都總本山知恩院特派布教師五島法住僧正を迎へ盛大なる落成慶讃法要を舉行する事となり當日は午後二時半同七時から說教、接待(御供物、記念福引)五島僧正の講演會が行はれなほ一時から乃木町二丁目丸山茶舖宅から寺迄天童稚兒四十餘名の練供養が舉行される、因に今回竣工された乃木堂內に乃木文庫を設置し各方面篤志家よりの寄贈品は大に待望する由

▲曩に旅順署から熱河へ派遣を命ぜられた德田警部補から二十六日當支局宛の第一信が到着したがそれに依ると氏は赤峰、承德平泉、凌源、朝陽、北票の熱河六警察署警務部主務として未開地の警察開拓、邦人保護、滿洲國指導に任じ居る由にてその一節に曰く「目下當地は平泉、凌源等の所謂南熱河線より平穩にて辻强盜の如きものさへ全く無く市民も樂々と活動し居り自ら一種●親しみを覺え申候赤峰は所謂赤峰山(一名紅山)の麓に位し滿人約三萬人邦人は僅か二百五十名(軍隊〇〇名)居留し料理店九、食堂、カフエー五、旅館一、醫師一其他の營業を爲しつゝあるが朝陽より一旬一回(十數臺のトラック縱列)の奉山バスが運行を開始し又本月末〇軍の集結を了れば〇〇〇〇の〇〇〇となり從つて〇數も增加し益々邦人進展の機運に導くものと思考され候、貴紙を通じ市民各位へ宜敷

無智な民衆相手に防疫員必死の活躍
ペスト流行地から歸り
村川鐵路總局衞生係主任語る

【奉天】村川鐵路總局衞生係主任は約二週間前眞性ペスト發生の報あるや直に現地視察に出張中だつたが二十六日午後一時三十四分着視察を終へて歸奉し次の如く語る　新京から洮南の方へ行つて來たが現地の住民はペストを非常に恐れて居ながら無智の爲めそれに對する策を知らず患者が出ればいたづらに恐れ避け逃げるより外すべを知らない狀態だ、斯樣な處で係員の努力は全く想像外の苦心をして居る只大綱は蔓延を防ぐ事に集中される、今後共方策に腐心せねばならない

熔鑛爐火入式
本溪湖煤鐵で

【本溪湖】修繕のため永らく休止中であつた本溪湖煤鐵公司第一熔鑛爐は修理愈々なり二十五日午前十時よりその火入れ式を擧行したが日滿兩國官民多數列席して神式により式は進行し終つて祝宴に移り十二時盛會裡に終了した

匪賊七名處刑

【安東】去る十八日の事變記念日に安東六道溝のわが警官見張所を襲ひ鈴木繁松巡査の拳銃を奪はんとして却て豪勇鈴木巡査に取押へられた李子榮匪部下の王平及び同日安東市內に潜入して菅野安東署刑事等に逮捕された同じく李子榮系の匪賊八名のうちの五名並びに八月下旬滿洲側警察第五分所を襲撃した李某の合計七名は安東警察廳で取調べの結果重大罪狀明白となり極刑を申渡されいづれも二十五日元寶山麓刑場の露と消えた

蓋平地區宣撫隊
堂々遠征の途につく

【大石橋】大石橋地區警備司令官の指示に基き奉天省治安維持會の計畫によりて編成せられたる蓋平地區宣撫隊は愈々その編成を終り威風堂々二十五日午前七時蓋平縣城を出發宣撫遠征の途についた　その主班とする協和會大石橋辦事處においては美座主事を班長とする宣撫隊一、二、三班一行○○名各種宣傳物部民への土産物發電機附映畫機を携行し午前六時三十五分發列車に依り官市民多數の見送りを受けつゝ堂々と蓋平に向つた、高警務局長の統帥する○○○警察一箇中隊及鶴木警部補の指揮する○○自警軍を併せ縣各科宣撫隊と共に總數○○○蓋平空前の壯擧である、第一日第一區龍王廟、第二日第八區東趙家峪、第三日第七區土門子、第四日第八區偏嶺、第五日第七區萬福庄、第六日第三區八道河、第七日第三區熊岳の順で同隊は來る十月三日熊岳城に於て解散するものである

塚本部隊出動

【鞍山】山城鎭にある第○○隊西安駐屯植中○隊は二十五日夜傳ていた對峙中であつた毛團宗團の大匪賊團の襲撃を受け危期に瀕せりとの情報により春見本部隊長は直に二十六日朝より總攻撃を開始する旨當地○隊に出動を命じて來たので塚本中尉以下○○名の當地○隊は同夜十時三十分臨時列車を仕立て現地に急行した

鳳城縣宣撫班

【鳳凰城】鳳城縣海老澤顧問官は前田警務局指導官等一行警察隊○○○名と共に掃匪宣撫工作のため約十日間の豫定で二十五日○○方面に向つた

錦州飛行第○隊愛國女學生號と大日本國防婦人會關西本部代表婦人

八八式偵察機愛國第三十號女學生號は昨昭和七年夏以來遼西方面東邊道方面、吉京線地區三角地帶各兵匪討伐に參加するの外熱河作戰友河北作戰に飛躍して偉勳を奏す、此間數十發の敵彈を受けしも今尙頑丈にして最近二回に亘り全滿一周飛行に成功し將來戰に向つて猛訓練をなしつゝあり

撫順鑛山祭
各坑秘密裡の計畫に
早くも前景氣盛ん

【撫順】撫順名物の鑛山祭が近づいた、早くも炭礦側は各礦所競つて準備に着手したが、庶務課ではおける踊、老虎臺では芝居、大山坑では電氣仕掛等を極秘裡にもくろんでゐる、なほ市中側でも負けじと青年團は御神輿をかつぎ出し各町內會では美妓連を總動員する計畫をたてた、恒例の煙花も今年はことに華々しく祭の夜を飾ることになつたが仕掛煙花の「皇軍の威力」は守備隊練兵場から陸上競技場にかけて延長三百メートルに達し皇軍の錦州城攻擊を表現したもので華麗な煙花オンパレードが展開される

大石橋軍優勝
南部野球大會

【大石橋】秋季皇靈祭の佳日秋空一碧の好天氣に惠まれ大石橋グラウンドは朝より各中間驛よりのファンを交へて觀衆空前の盛觀を呈した、定刻九時州外南部野球大會は倉橋所長の開會の辭に次ぎ始球式あり九時半試合を開始した　第一回戰熊岳城對蓋平軍は九對零にて熊岳城勝ち、大石橋對瓦房店戰は彌が上にファンを熱狂せしめ五對一にて瓦房店優勢裡に進行したが最終回裏に於いて大石橋軍奮起して四安打一敵失に四點を入れ同點となり十回兩軍零、觀衆に汗を握らせた、十一回瓦房店零大石橋決勝の一點を入れて遂に勝利を得た、優勝戰にて九對二で大石橋優勢を示し熊岳城投手を交替して奮戰せしも及ばず茲に大石橋軍優勝した　所長代理愛中直剛氏より優勝カップを西澤主將に授與して午後五時終了した

金起賢選手

【安東】十月八日奉天運動場で開かれる全滿都市對抗陸上競技大會及び同十五日大連に於る全滿陸上競技選手權大會には安東中距離の至寶金起賢君が出場する筈である

全日本氷上競技の會場は必ず安東だ
一月に控へて　安東側意氣込む

【安東】わが國氷上スポーツの最高峰である全日本氷上競技選手權大會は來年一月下旬滿洲で開催されることには決定してゐるが滿洲の孰の地で開催するか等の萬般の計畫は滿洲體育協會に一任されてゐる、安東は滿洲開催の報を受くると共に開催地は安東鴨綠江氷上のほかには無いと深く自信してゐるが一方奉天が滿洲の中心であり國際運動場を有してゐる等の理由を楯に開催地を奉天に奪取しやうといふ野心を抱いてゐるやうである、しかし安東側は第一に日滿の國境でありしかも無限大にリンクを設定し得る鴨綠江を持つ安東を無視して他地で開催することは恐らく許されまい、鴨綠江は滿洲スケートの發祥地でもあり日本スケートのオリムピヤで市民のスケートに對する理解、興味、熱意など奉天の比でない、滿洲體協も安東の優點を十分考慮してゐることゝ飽迄安東開催を期待してゐるだらう

各地片々

◇奉天　奉天商工會議所において二十五日午後三時より議員會を開催し新設計畫課の事務取扱ひに關し協議決定した

◇營口　營口縣公署治安維持委員會にては縣下功績ある自警團を表彰すべく二十七日午前十時より牛家屯警察大隊にて擧式參列者縣長楊晉源外維持會委員及宮部海港警察隊長谷遂河水上警察警務科長日本側より大畑憲兵分隊長守田警察署長等にて擧式終つて李地方警察隊長の閲兵式を擧行した

◇本溪湖　安東、鳳城、寬甸、本溪の四縣より成る恒例の參事官會議は二十三日本溪湖に於て擧行

◇鞍山　第十七回全滿商工會議所聯合會は十月一日より四日間哈爾濱において開催主として關稅問題、運賃問題其他につき協議することゝなつてゐるが鞍山實業協會よりは淵沼書記長出席のため二十九日夜行にて北上の豫定

◇金州　工業俱樂部員一行約七十名は當地關東廳塩業試驗場を視察し終りて二十四日大房身に行はるゝ關東廳鹽業試驗場の開場式へ列席した

◇金州　當地青年團では團員の化學的智識の向上を計る目的にて例年各種の工場を見學せしめて來たが本年は大連の南滿瓦斯會社工場を見學する事となり十月一日に南日團長の引率にて實施する筈

◇鞍山　這般創立された公稱資本金百萬圓の滿洲亞鉛鍍金株式會社工場は二十五日昭和製鋼所構內豫定敷地に於て地鎭祭を執行直に建築に着手されたが、代表取締役原田猪八郎氏は同夕六時より柳町橘家に在鞍關係有志を招待披露するところがあつた

◇チチハル　在齊日本宗教團にては秋季彼岸を期して佛陀の大精神を宣揚し精神立國を叫ばんがため廿一日より二十四日まで市內托鉢を行ひ、最終日に野戰病院に入院中の傷病兵を慰問する所あつた

◇チチハル　滿洲國協和會チチハル事務局事務長川中勝氏は新京中央事務局社會處へ榮轉を命ぜられ二十日午後十時チチハル驛發列車で赴任の途についた

◇チチハル　當地滿鐵事務所庶務係長山本一市氏にては廿一日早朝女兒を分娩、母子ともに至つて健全であると

◇鐵嶺　鐵嶺附近の鮮農は去る二十日頃から秋の收穫に着手し黃金色に稔つた稻を刈入れつゝあるが、亂石山郊外の水田は作付反別最も廣く多數の人夫を要するので無職鮮人達は勸業公司に赴むき、臨時人夫採用方を嘆願し相當の失職者が救はれてゐる

貨車に乘込んで綿糸布を盜出す
文官屯に大膽な犯罪

【奉天】去る二十五日午前一時奉天驛を發車した新京行貨物列車九七が文官屯驛到着と同時に同列車の一車輛の戸が開け放しになつて居るので驛員が怪しみ內部を見ると貨物が盜難に罹つてゐるのを發見し直に文官屯、奉天間を捜査中線路側に綿糸、綿布が散亂して居るのを發見し之を取戻す事を得たが、犯人は數名共謀の上一名は奉天驛で車輛と車輛との間に乘り込み同列車が柳條溝附近に差かゝつた際乘り込んで居た滿人は大膽にも進行中の車輛の戸をあけ綿布、綿糸等を投げ棄て他の共犯者が之を拾ひ竊取せんとしたもので大膽なやり方には何れも呆れてゐる

本溪湖射擊會

【本溪湖】例年の如く本溪湖在鄉軍人分會の主催にかゝる實彈射擊大會は九月二十三、四日の兩日に亘り神社山裏守備隊射擊場に於て擧行されたが爽かな初秋の空の下に勇ましい銃聲は山に木魂して終日賑はつた、出場射手は多數の婦人射手も交へて總數約二百五十名に上り、團體競技は採點の結果公司軍に凱歌上り名譽の優勝旗を獲得した、成績左の如し

一班（既教育者）森澤四四點、青木、吉村、植村、一橋

二班（未教育者、青訓生、一般市民）清水四〇點、肥塚、持田、永淵、內田

三班（來賓）後藤、大內、增田

四班（婦人）淵田、山根、植田

五班（現役）西山、阿部、大澤

優勝旗爭覇戰

公司（六一名）一八點五

市中（七五名）一六點四

滿鐵（三〇名）一三點九

奉天武道試合

【奉天】武道會奉天支所では來る十月一日京都武道專門學校生滿洲遠征軍三段二十一名、四段十四名を迎へ同日午後一時から加茂小學校講堂に於て柔劍道對抗試合を開催することになつたが柔劍道とも花形揃ひの猛者連で妙技を演ずることゝ期待されてゐる

駐哈米領事來齊
海拉爾で蘇領事との會見を否定して語る

【チチハル】駐哈米領事シ・リ・ケンバリー氏は二十二日午前三時海拉爾より飄然と來齊、龍江飯店に投宿し、早朝より省公署教育廳、カトリツク教會、日本領事館等を訪問したが往訪の記者に

休暇を利用して英國領事と海拉爾方面の視察に出かけた歸り途に立寄つたので、英領事は一足先に哈爾濱に歸つた、海拉爾で蘇聯領事と會見した樣な噂があるが

それは全く事實無根だ、明朝の飛行機で黑河に向ひ船で哈爾濱に歸るが、單なる視察で深い意味はない

とアツキラ棒に語つたが、最近米國の蘇聯正式承認說も傳へられ兩國の接近が緊密化しつゝある反面、日、滿、蘇の關係尖鋭化しつゝある矢先であり、同領事の黑河行きとその行動は各方面注視の的となつてゐる

日滿スポーツ提携
各方面選手の猛練習
先づ庭球から近く競技開始

【チチハル】スポーツを通じて日滿提携、親和の聲が全滿に漲つて居る折柄、黑龍江省にてもこれが實現をはかるべく道綏來省公署、駐屯日本軍その他各方面より提唱されつゝあつたところ愈々具體化しその第一歩として先づ大衆向スポーツたる庭球を通じて親善提携を完すべく、庭球聯盟を組織に決定、來る十月一日を卜して龍沙公園コートにて發會式を兼ね日滿交驩庭球リーグ戰を華々しく開催する事となつたが、北滿の秋空澄みわたる今日此のごろ、晴れの榮冠を目指して白球踴る前奏曲は高らかに奏せられ日滿ファン數萬の翹望の的となつてゐる、因に同リーグ戰は滿洲國側を學生、軍人、市民、官公署、日本側を居留民、官公吏、軍人、省公署、滿鐵の諸チームに區分し各チームより五組の選手を出しダブルス七回ゲームを行ふものである

鮮人の紙幣僞造
最初の成功に力を得て
株式組織を試みて逮捕

【吉林】朝鮮生れ李、趙の二鮮人は去る七月中旬新京方面より來吉し省城西關附近の滿人白華俊宅に居住、兩名共謀の上滿洲國紙幣の密造計畫を立て十圓、五圓、一圓五角等の紙幣を巧に密造　第一回の試みとして滿人に使用せし處難なく通用したるに勢を得、滿人多數と共謀して株式組織の密造を企圖なし資本金調達のため本日迄に發行したる僞造紙幣は莫大なる額で、豫て僞造紙幣横行に注意中の領事館警察署に檢擧されたが何れも精巧なる密造振で、如何なる專門家も見破る事の出來得ざる程で目下多數の證據品を押收の上取調べを續行して居るが、かゝる大仕掛な紙幣密造は今回初めてで連類者の檢擧と共に大々的活動を開始した

鷄冠山勝つ

【鷄冠山】二十五日午後三時半より當地野球部は安東野球界の雄旅友俱樂部と戰ひ左のスコアで鷄冠山大勝した閉戰四時五十分

鷄　０００５０２Ａ　７Ａ

旅友　１０２００００　３

鐵嶺の火事

【鐵嶺】二十五日午後三時頃當地緑町滿鐵社宅一〇七號列車區員坂井千一方より出火し、警報によつて滿鐵消防隊逸早く駈つけ防火に努めた結果同家一戸を全燒したのみで類燒を免れ四時鎭火した、坂井氏は非番勤務の爲め家族擧つて龍首山に遊び不在中出火騷ぎとなつたもので、急を聞いて歸宅した坂井氏は只呆然として言葉も出ず近隣の人達も同情してゐる、不在中の出火とて家具類は何一つ取出す暇もなく全部烏有に歸したが出火原因損害程度は取調べ中

滿鐵代用社宅

【奉天】南滿洲興業會社に於て建設中であつた五百戸の代用社宅は九月一杯と云ふ豫定通り竣建具等も出來兩三日中には完成する見込となつたので來月一日頃から移轉を開始し得るものと見られて居るが總局でも滿鐵でも未だ割當が行はれて居らぬらしい

鹿子木博士

【安東】今夏大連における夏季大學に講演した九大教授鹿子木員信博士はその後滿洲國各地を視察し熱河省まで踏破して二十五日來安滿洲における最後の講演として同夜安東俱樂部において「超非常時の襲來」の題下に熱辯を振ひ聽衆に多大の感銘を與へた

向坊社長視察

【奉天】向坊勸業社長、同錦織支配人、林漢龍、吳副領事、朴民會副理事の諸氏は農作物及鮮農の生活狀態視察のため二十六日公太堡に向つて出發したが一行は五日間の豫定で吳家溝公太堡選中の各地を視察調査の上歸來の筈である

八木理事長

【安東】採木公司理事長八木元八氏は明年度豫算を外務省と打合せのため二十五日午後一時發列車で東上した十月下旬歸任の豫定

中原巡査部長

【奉天】過日通化より奉天へ犯人護送中赤痢に罹り奉天赤十字病院に入院療養中であつた奉天總領事館警察署中原巡査部長はその甲斐なく二十六日午前八時頃遂に死亡した

鐵嶺蔬菜品評會

【鐵嶺】滿鐵社會係主催の第十八回蔬菜品評會は今年も奉天開原間の園藝家作物出品の下に來る十三四の兩日開原公會堂を會場として開催される由、出品は大根、白菜、葱、山芋等は五個以上、人參、牛蒡、里芋、馬鈴薯等は十個以上にて其他作物は何品によらず出品を歡迎するさ、鐵嶺における出品希望者は來る十一日までに社會係宛申込まれたしと

中部日本 產業大觀

產業縣「大愛知」の 養鶏業・園藝・畜產加工品・副業に就いて

愛知縣は本州中部地方の主要大縣であつて、尾張、三河の二國より成り、木曾、矢作、豐川の三大川に依つて形成さるゝ大平野で產業縣大愛知の盛名を擅まゝにして居る

由來本縣の農業は多種多樣を極め農產の豐富なる點に於て、又農業技術、農業經營の進歩せる點に於て全國に冠絕する處であるが茲に於ては特に本縣の誇りとする養鶏業、園藝、畜產加工業、農家副業等に就いて概說を試みやうと思ふ

養鶏

養鶏王國と云はるゝ丈に斷然一頭地を拔き、飼養羽數五百萬羽、年產額二千萬圓にして全國の數字に比すれば飼養羽數二千九百萬羽の六分の一、產額一億圓の五分の一を占め羽數に於て本邦第一位である

愛知縣卵の聲價は近時著るしく向上を示し、國內は勿論、遠く海外に販路を開拓しその額七萬圓に昇り、多大の好評を博しつゝあるが、特に滿洲國への輸出卵は昨年中九十萬個、價格二萬圓で逐年漸增の趨勢にあり

現在養鶏飼料を滿洲國に求め生產卵を彼國に送る事となり、共に堅く握手されて居る事は日滿經濟ブロツクの一面を伺はれて愉快に堪へない次第である

本縣養鶏業の濫觴は明治維新食祿を離れた武士が生活の道を求めて養鶏を志したのに始まり、明治十年頃には獨立した養鶏業が續々出現し種卵、種鶏、食鶏は近隣都市へ移出の形勢を辿りこの間、業者の異常なる研究に依り改良が加へられ明治二十年に至り、農家の實行養鶏に好適の國產名古屋種、三河種が造成せられたものである

爾來、白色レグホン種の輸入に依り三者相俟ち本縣の獎勵品種となり、改良蕃殖の實を擧げ、能力增進されつゝある

明治三十六年縣當局は農事試驗場に養鶏部を設置、各種の養鶏試驗を行ふ傍ら、優良種鶏卵の拂下げを行ひ、縣下養鶏の改善に努力し爾來多額の獎勵費を投じ、斯業獎勵助長に遺憾なきを期し、次表の如き發達を遂げたのである

年次	飼養戸數
大正七年	一二八、〇四三戸
昭和二年	一三三、一三六
昭和七年	一〇五、〇〇八

年次	同羽數
大正七年	一、七五三、九六六
昭和二年	四、一一八、九五五
昭和七年	五、三三七、六二六

年次	產卵數
大正七年	二三五、四三三、八四一
昭和二年	二七四、七八五、八七七
昭和七年	四九五、九〇一、七三三

而して養鶏組合、同聯合會が設立され、その發展に伴ひ一面雛の供給千孵化業者の增加發展を招きその數百有餘を數へ、孵化雛實に年三千萬羽の多きに及び縣外移出に成績を收めて居る

一面孵化用卵の不足を來し種禽業或は育雛專問家、雌雄鑑別を業とするもの現るゝ等、分業的養鶏事業行はるゝに至り、養鶏生產者、販賣業者、飼料供給者の三者一團となり、養鶏の堅實なる基礎を形成するに至つたものである

特筆すべきは從來は養鶏に關する技術は輸入傳習であつた我國が今日に於ては、初生雛、雌雄鑑別百%を世界に向つて公開指導するの立場となり、鶏卵の逆輸出を計り、堂々たる成績を收めつゝある

畜產加工業

本縣に於ける畜產加工業は豚肉加工品、煉乳及バターの製造品であつて(一)豚肉加工業は全國的に著明であり、本縣の養豚は近來農家の副業として盛んであり、生肉及加工品の需要多く今や其飼育數十萬頭に達し、東京橫濱市場への出荷數も年々二三萬頭に及び加工業も次第に盛んとなり最近朝鮮滿洲方面への出荷量頓に增大將來を嘱望さるゝに至つたその主なる加工業者は齋藤商會、山田廣吉商店、愛禽ハム株式會社等である

(二)乳加工業 乳牛飼養數は約五千頭、飼地は名古屋市及知多郡を中心とする、加工の工場は數ケ所、最大なるは東海製菓株式會社大府工場であり、製品は煉乳(五十萬斤)クリーム(一萬貫)バター(一萬斤)である

園藝

豐澤なる十六萬五千町歩の田畑を擁し、農業經營組織は先進縣として既に名あり、特に園藝農產物は生產額一千五百萬圓に達し就中尾張平野に於ける蔬菜の栽培は其起原古く、品質收穫共に全國に冠たり

縣には、專門技術官及農事試驗場滿洲園藝分場を設け、合理的發達の誘導に努めつゝあるが、販路擴張に對しては、本縣農產物出荷組合聯合會に於て之れを統制し、全縣一糸紊れざる統制に依つて輸移出を計り全國各取引市場に斷然優越なる地位を占めてゐる

對滿貿易

對滿取引は昭和五年以來大連を中心として出荷を續け、蔬菜果實、觀賞植物等の輸出に努め、漸次好評を博するに至り、北滿に對しては吉會線全通の曉を考へ結氷期の蔬菜出荷に關して、多大の期待を以て計畫を研究中である

園藝品の滿洲國輸出の可能性あるもの、種類を擧げれば左の如きものである

大根、白菜、午蒡、人參、茄子、胡瓜、西瓜、南瓜、里芋、馬鈴薯、甘藷、蓮根、獨活、葱、菠薐草、莢豌豆、玉葱、溫室及促成蔬菜、蕗、蔬菜種子、果樹苗木、梨、蜜柑、夏橙、觀賞植物、花卉種子等

農家副業

農業經營の多角化を圖り、農山漁村の經濟更生の爲め、副業の獎勵に全力を擧げて居る、從つて近年副業は長足の進歩を來たし現在生產額五千萬圓を示すに至つた、製品販賣に對しては、愛知縣副業組合聯合會に於て所謂團體を統轄して輸移出に當り、技術的方面の指導にも當つて居る

本縣の副業品は現在では、東西兩都市へ主として出荷されてゐるが將來は滿鮮地方に向つて雄飛の計畫を進めつゝある

滿鮮方面への主なる副業品は大根切干、茶、干大根、干柿、グリンピース、筍罐詰、澤庵、福神漬、トマトソース、ケチヤツプ、椎茸、兎毛皮、蜂蜜、食用蛙、疊表、眞綿、麻繩等である

織物王國 福井縣

全國に冠絕する輸出額 八千七百十餘萬圓

福井縣は日本中央部に位し、越前、若狹の二國を併せ面積二百六十萬里、人口六十一萬八千餘人、中央部を九頭龍、足羽、日野の三川西北に走つて、日本海に注ぎ、其の流域は越前平野をなし地味肥沃、農耕に適し米麥、大豆、馬鈴薯、蔬菜、果實の產多く、夙に織物業發達して我國絹織物の大宗をなし海外諸國に輸出し、本邦輸出貿易の重要なる地位を占め、又西北一帶は日本海に面し灣岬長汀九十二里に亘り魚族頗る豐富にして且つ河川沼湖の魚利尠からず、其他蠶糸、繭、清酒、漆器、打刃物等本縣產業に付き一般に紹介すべきもの少くない

特に敦賀港は古來より日本海第一の良港と稱せられ、日露滿鮮の交通要衝に當り、政府に於ても之を重要視し連年巨費を投じて港灣の修築を完成せる折柄、滿洲國の獨立並に吉會線の全通に依り北滿地方との距離著るしく短縮された結果、滋賀縣、京都府愛知縣石川縣等の所謂中部日本の物資は敦賀港を利用せんとする傾向頓に顯著今後愈々日滿交通運輸の關係密接の度を加ふるに從ひ同港は將來重大なる役割を演ずる事とならう

本縣總產業の總產額は昭和六年の統計に依れば一億二千三百九十五萬八千百三十三圓であつて人口一人當り約二百圓強、內工產額九千四百八十七萬五千餘圓本縣總額の約七割強に相當し、最も重要な地位にある、今其の主要物產について概況を述べる事にする

織物王國福井縣の名は內地は勿論遠く海外に其の盛名を馳せてゐるのである、從つて之が消長は直接本縣の經濟界に重大なる影響を及ぼすものである、沿革は古く一千年の昔に遡り、爾來天興の氣候風土に惠まれ連綿として其の生產を續けて來たが、明治初期に至り奉書紬を以て世に知られ明治二十年現在の羽二重を創製し遠く海外に輸出して聲價を得、縮緬、絹紬、富士絹等相續いて興り大正八年には此等の生產額實に一億七千萬圓を突破するに及び其の名天下に喧傳せらるゝに至つた、然るに其の後生糸の暴落と世界的大不況とに禍され絹織物の需要も亦漸減したが此間一面人絹織物勃興し異常なる進歩發達を遂げ昭和七年の織物總產額は金額に於て八千七百十三萬圓に減じたが數量に於て千百九十四萬五千點に及び年々激增しつゝあり實に本縣は我國絹織物輸出額の約六割を占め斷然全國に冠たるものがある、之が產地は越前一帶に散在し福井、松岡、森田、丸岡、春江、武生、鯖江、神明、勝山、大野等が其の中心地帶をなしてゐる、昭和七年末の調査に依れば左の如し

項目	數
機業戸數	千七百九十一戸
機臺數	四萬三千八百十五臺
職工數	二萬八千六百五十一人
使用動力	七千百六十三馬力
撚糸錘數	二十二萬一千四百錘
輸出羽二重	四、九二九、八八一圓
輸出縮緬	八、〇〇六、七四七圓
輸出絹紬	八、一七〇、六七三圓
輸出富士絹	一、五一五、五一〇圓
輸出人絹織物	四五、〇二一、三九四圓

之等の輸出先は英領印度、蘭領印度、埃及、南阿、フイリッピン、海峽殖民地、南米、北米、英濠洲、アルゼンチン等に販路を有し佛、最近滿洲國への輸出額益々增加の趨勢にある、用途は主として婦人服地、ワイシャツ地、レンコート地、ショール、カーテン、テーブル掛地其の他裝飾として愛用されてゐる、其の外漆器、紙、瑪瑙、打刃物等の產額見るべきものあり本縣の產業的將來たるや實に洋々たるものあるを知る事が出來る

伊勢木綿と萬古燒の本場 三重縣の工業界

本縣は本州中樞に位し、交通は海陸共至便なるのみならず、晁くも伊勢神宮鎭座の地として古へより參拜者の往來頻繁なるに伴ひ文化夙に開け百貨の集散多く、加ふるに西に京都、大阪、北に名古屋の大都市、消費地を控へ、海運は東海第一を誇る天然の良港たる四日市港ありて一萬噸級の巨船が自由に出入し、商港としてその聲價を世界的に知られてその實績を擧げて居る

四圍の狀況は自然各種工業の發達を促し、殊に近年長足の進歩を示し其の產額は一億五千五百萬圓に達するに至つた

其の種類は多種多樣、就中重要なものは、紡績、綿糸、織物、蠶糸、陶磁器、タオル製品、菜種油、清酒、漁網、醬油、鑄物、漆器、人造絹糸、メリヤス、電線、傘、琺瑯鐵器等であつて之等の生產組織は近年從來の手工業より機械工業、工業組織に進み會社經營に移るの傾向逐年增加其面目を一新するに至つた

代表的のもの一、二に就いて概略を記し其他の物產年產額を示せば

織物

織物は本縣工業品中主要物產で昭和三年の產額三千三百五十萬圓で織物產額の大部分である、主なるものは

津市を中心とする伊勢木綿
松坂を中心とする松阪木綿

が尤もたるもので、夙に品質の堅牢を誇つて居る

最近時勢の進運に伴ひ小幅物から廣幅織物に改められ、之れが織機を增設し產額の增加を圖り最近年度二千百萬圓以上を製產し滿洲及南洋方面への輸出が多い

陶磁器

萬古燒、大正燒の二種が代表的なもので產額は約五百萬圓、その內八割まではアメリカ、南洋、濠洲、西歐各國へ輸出され最近滿洲との貿易旺盛なるに至つた、萬古燒の起源は元文年間に始まり、天保年間に至つて再興を見るに至り之れが今日の四日市萬古燒の鼻祖となつた

大正燒は大正年間に於て多年の苦心研究の結果が酬いられて、大改良を加へられ、大量生產に適した陶器を出し大正燒と命名され產額販路の擴張を圖る事となつた、現在、陶磁器工場數は百五軒、職工數三千五百名、此外家庭副業としての生產業者も多數あり、價格の低廉なる事等と比類なき特徴と赤外觀優美特有の光澤あり多樣な色彩を出し大衆的であつて品種も甚だ多い

同業の統制機關としては萬古陶磁器工業組合、卸賣商業組合、等設置されて、各機能に應じて活躍しつゝある

其他の產額

菜種油(二百六十七萬圓)琺瑯鐵器及漆器(九十六萬圓)和紙(二十三萬圓)、紙製品(百七十萬圓)賣藥石鹼(七十五萬圓)電線(百二十萬圓)メリヤス(五十六萬圓)伊勢表(三十萬圓)食鹽、眞珠、酒類(七百萬圓)醬油、溜(三百六十萬圓)、鑄物製品(百六十萬圓)人造絹糸(百萬圓)竹製品(三十三萬圓)等である、本縣工業は輸送便宜なる發達を遂げ、縣下總物產生產額の五割五分を占むるの重要性を帶びて居る豐富なる原料と有利なる天惠とを享有せるを以て將來一層の進歩發展を期待せらるゝもので今や、縣民協力諸般の研究と獎勵機關の活動に遺憾なきを期して居る

愛知縣命令航路と大連汽船株式會社

昭和八年に入つて名古屋港の輸出貨物頓に增加す

對滿貿易の伸張に伴ひて愛知縣の命令航路たる大連汽船の取扱貨物は順調に、しかも異常の增加を來たし、日滿貿易殊に中部日本との取引において大連汽船の任務は重要性を增して居る

大連直通航路

大連汽船株式會社の名古屋=大連航路は愛知縣の命令定期補助航路であつて名古屋港出帆後は阪神、門司各港何れも寄港せず直行し正味四晝夜半にて大連港に到着するなは大型船にて其上途中不寄港の爲め他港荷を積重ね荷傷みの心配は少しもない、然も愛知縣の補助航路として特に運賃も低廉であるから滿洲國方面の取引に對し最大の好果を收め得らるゝことが特長である、右の意味に於いて本航路利用出荷の手續は左記代理店で懇切に取扱つてゐる

名古屋市南區港本町六丁目
合名會社 淺野信治商店
電話南(三〇〇六)(四三〇五)

キヤッと女の悲鳴 激しい男の怒號

博士邸筋向ひの家人二名 當夜の慘劇を目撃

社員坂口忠君（二〇）が事件の當夜たる五日午後十一時頃獨り窓際の机にもたれてしきりに筆を走らせてゐた、といふのは恰もその翌日同君の友人某君の葬儀が營まれるのでその弔辭を書いてゐたものであるが突然窓を隔てゝ激しい男の叱咤するが如き聲が聞え、續いてけたゝましい女の悲鳴がそれに混じつて聞えて來た、同君も初めは

單に「夫婦喧嘩か何か始まつたんだな」位に考へてゐたが聲高な男女の叫び聲はますく激しくなつて來たので「夫婦喧嘩にしては少しひど過ぎるな」といふ疑問を起し窓からそつと首を突き出して戸外を覗いて見ると街路の向ふ――卽ち兒玉博士邸は二階も階下もアカくと電燈がついて居り、二階の窓邊の障子には男女二、三人が激しく入り亂れて右往左往する姿が

鮮かに映り出されて居るではツイ吊り込まれて眼を瞠つて約半時間ばかり眺めてゐたが、またも突然きやツ！とたゝましい女の悲鳴が聞えたと思ふ次の瞬間、ドカくと階下へ轉がり落ちるやうな音がしてその後急にヒツソリしなくなつた「女の悲鳴が聞えた時は多分博士が夫人を…

殴つたのだな、と思ひましたが、その後俄に物靜かになつて何んの物音も聞えなくなりましたので後で考へると妙に不氣味な思ひがしたのでした」とは坂口君の當時を想ひ出しての述懷、ところがこの女の悲鳴や續いて轉がり落ちるやうな物音を聞き、またその前の障子に映る

影の姿を目擊したのは單にこの坂口君ばかりではなく、これより先き勝手元の後始末を終つて二階に上つて來た同家の娘さんで大連醫院に勤めてゐる村山しづえさんもまた偶然その光景を目擊し且つ悲鳴や物音を聞いたのであつた「それにしてもマサカこんな重大な事件があつたとは當時夢にも思はず、全くフトした機みの夫婦喧嘩だとのみ思つてゐましたが二十五日の十時頃になつて滿日の號外が來たのでそれを見てハツと思ひ當り、直ぐ日記を調べて見ますと恰度同夜の出來ごとで、矢つ張りあの時の事だつたのかと喫驚した次第です」と往訪の記者に向つて交々語つた上、しづえさんは

新聞「あの事が新聞に出てから弟や妹は怖いくと此の頃は夜分になると一人では外出も出來ぬやうな有樣ですわ」と嘆歎した――同家を辭して街路一ツを隔てた向ひ側の兒玉邸を見ると、今は主なき慘劇の家は軒燈も灯つて居ず只森閑として只覽の家を想像させ、記者も思はずゾツと襟を立てた【寫眞はテーブルを圍んで當夜の目擊談を語る坂口君（中央左）としづえさん（右の端）其他はしづえさんの弟妹】

青柳の葬儀 きのふ執行

兒玉博士邸で不慮の死を遂げた市内對馬町六二滿鐵用度課勤務青柳貢（二七）の葬儀は廿七日午後三時半から市内春日町大蓮寺でしめやかな讀經裡に執行された、會葬者は用度課關係の知人が大部分を占め問題のピアノ教師御幡三輪子（二九）も人混みに紛れて會葬したが、はかなくも一片の白木と化した青柳君の佛前に立ち上る香煙をぢつとみつめながら時々眼にハンカチーフを當てゝ忍び泣く樣が人目を惹いた

痴蝶・黑幕の女性

中心に觸れると巧に逃げる 紅唇尖る〝御幡三輪子〟

事件發生後世間との交渉を一切絶つて陰鬱な生活を送つてゐた疑問の女性、ピアノ教師佐藤こと御幡三輪子さん（二九）は流石に人目を恥ぢらひつゝ二十七日青柳貢の葬儀に參列した

記者は燒香後午後四時十分ごろ彼女によつて怪殺人事件の何ものかを得んが爲め、また多角的な戀愛關係、結婚解消事件等の眞相を究めようと

彼女を大蓮寺の庭園で捉へて面談を申込んだところ「一寸急用がありますから」と逃げを打ち大タク「二一〇五號」自動車に飛び乘り對馬町六二青柳貢方へ姿を消してしまつた、記者の再度面會要求に對し「只今沙河口署に召喚を受けてゐますから」と取次の者をして斷り、人混みに紛れて待たせてあつた大タク「二一二九號」にヒラリと飛び乘り、超スピードで中央公園を拔けて沙河口方面へ逸走した、追跡する記者の自動車をまく爲め自動車のカーテンを

深く垂らし右往左往と迂廻して沙河口署に到着、こゝでも人目を避けて小走りに司法係室に飛び込んで終つた同署では最も怪殺人事件の眞相に近きものを知る唯一の證人として彼女の取調に對して嚴重を極め、司法係室の前には立番警官を置いて何人たりとも近寄せず、二方の硝子窓には新聞紙を貼りめぐらせて内部の見透しを防ぐなど驚くばかりの物々しい警戒裡に谷川司法主任の手で約一時間半に亘る嚴重取調べが行はれた、その結果重要なヒントを得たらしく直に内地方面へ

長文の電報を發し、さらに安部刑事部長以下サイドカーで出動するなどあわたゞしい空氣の裡に彼女の取調べは終つた、その時ドツと記者團の包圍を受け、流石彼女も寫眞班の向けるレンズには面を下げた、以下彼女と記者の問答――

記者● 貴女が被害者青柳君を知つたのは？

彼女● 五年程前から知つてゐます青柳さんは生徒、私はピアノ教師といふ關係で……

記者● 兒玉博士夫人と青柳君とを紹介したのは何時頃か

彼女● 矢張りピアノの關係で昨年クリスマス前後の頃だと思ひます

記者● 博士夫人と青柳君とは戀愛關係があつたか、そして貴方との

關係は私は少しも知りません、第一私は長らく入院してゐましたので皆さんとの奧さんと

彼女● 何んですツて？私と戀愛關係なぞは絶對ありません、兒玉も……

記者● それでも二十五日附滿日紙に掲載した三人揃つての寫眞は最近のものといふではないか

彼女● あれは偶然喫茶店でお會ひした時私が連れてゐた子供が可愛いから一緒に寫つて吳れと奧さんに誘はれて撮つたもので前から相談づくで撮つたものではありません

記者● 中園とは何時ごろどうして知つたか

彼女● 昨年二月頃です、私が薩摩町の北野さいふ家に下宿してゐる時、下宿の小父さんと中園さんが船の關係で

懇意だといつてチヨイく遊びに來られたので初めて知つたのです、私は二、三度より會つたことはありません

記者● 貴女と博士夫人と中園の三人揃つた寫眞を最近撮つてゐるではないか、二、三度あつたのみでそれほど懇意となれるものか

彼女● 何とおつしやつても事實を申上げるより外はありませんが私達三人は前もつて約束してから會つたことは一回とてありません、あの寫眞も「天國に結ぶ戀」といふ映畫を見に行つた時館内で偶然にお二人にお會ひしそれから撮つたものです

記者● でも貴女は中園と薩摩町で愛の巢を作つてゐる噂博士夫人と三角關係でトラブルを起し貴女の夫が博士に

忠告したこともまた沙河口で同棲中貴女の夫が貴女の宅を訪れて持ち出した世帶道具を取戻したといふではないか

彼女● 御幡（彼女の夫）は何んと云ふかも知れませんがそんなことは絶對ありません、今度新聞を見て初めて奧さんと中園さんの關係を知つた位で、私に關する限り斷じて事實無根です

記者● 事件後兒玉夫妻及び中園に會つたか

彼女● 前に申上げた通り私は事件前皆さんとメソヂスト敎會か映畫館または喫茶店で偶然にお會ひしたのみで親しく會つたことはなく勿論事件後は一度も會つたことも話した事もありません

記者● 現在のお住ひは？

彼女● それをお聞きになつてどうなさいます、申上げる限りではありません

記者● 只今の心境は？

彼女● こんな事件にならうとは思はず青柳さんと奧さんとを紹介したのですが……今では皆さんに對しほんとうにお氣の毒だと思つてゐます

記者● 兒玉博士に對する感想は？

彼女● ………

この時流石の彼女も何かの激情に胸を突かれたものか、蒼白い面を伏せ、固く食ひ縛つて一言も發せず、流れ落ちる涙をハンカチーフでぬぐつた

捕繩打たれ 憔悴の色濃し

兒玉博士の取調續く

沙河口署の第二雜房に留置され、親友金井章次博士が差し入れた溫かい毛布にくるまり急轉直下の不遇の身を喞ちつゝある兒玉醫學博士は二十七日午後一時三十分留置場から引き出され司法係室で約廿分間谷川司法主任の取調べを受けた、博士はセルの着物に鐵紗の兵子帶を締め、あの鬱な頰は四日間の留置場生活に削り取られて痛々しく、走馬燈のやうに駈けめぐる妄想と悔恨の爲め縁なし眼鏡を通じてうつろに光る瞳には憔悴の色が濃い、捕繩を打たれて看守巡査に引かれ行く樣は世界的病理學の泰斗として餘りにも變り果てた姿である――博士の取調べに次いで直に御幡三輪子を召喚取調べたことは博士の陳述によつて何ものかのヒントを得たものと見られ二人の取調べ內容は注目を惹いてゐる司法係では博士の取調終了と同時にドアーの外に待ち受ける多數新聞記者の眼を避けますため、博士を裏口窓から抱き下ろして秘に留置した

草間茂博士 邸の驚き

【東京特電二十七日發】殺人事件は全國的に注目と關心を集め兒玉博士夫妻の媒妁人であつた北里研究所の草間茂博士に對して山田獸夫辯護士が報告のため長野縣から入京したといふので東京各新聞通信社は朝から芝白金三光町の草間邸に張番をしてゐる、山田氏は昨夜入京した儘行方不明で各社とも持て餘してゐるがこのため草間邸では迷惑を感じてゐる、山田氏の用件は媒妁人の草間氏に顚末報告にあるとみられてゐる

某高官追出し策動が主因

某書記を繞る醜聞

大連檢察局が突如地方法院刑事部某書記に絡まる瀆職事件の摘發に着手したことは俄然法曹界の注目を惹き、しかも內部的の醜事件が表面化し司法權の發動を餘儀なくされるに至つた原因に就いては

種々なる說が流布されてゐるが法曹界一部では同法院某高官の追出し策として內部暗鬪の現れとの觀測を下し成行き如何によつては意外な紛糾を醸すべき形勢にあり、人事の鬪爭が展開されてゐる

身邊嚴密に包まれてゐる地方法院刑事部某書記は法政學院の學生時代、同學院の講師たりし某高官にその秀才を認められて採用されたがその後も重用されてトンく拍子に昇進し現在では刑事部書記の主席を占めるに至つたものである、從つて同書記に關する限り某高官も

寬大なる態度を以つて臨んでゐたので漸次放縱な性行と化し法院內でも兎角の噂を立てられてゐた矢先、昨年末以來胸悄の果て女給に危害を加へんとして一夜大連署に留置された事實及び某女給を三日間某旅館に監禁同樣の手段で宿泊したといふ官吏にあるまじき醜行爲が繰り返されたがその都度これが不問に附されて來た、ところが洋行中の某高官は來る十月歸朝するのでその歸朝を前にして同氏のアンチ派と目される內部

幹部によつて子飼ひ書記たる某氏の非行を曝き、延いてはかゝる人物を長年に亘つて庇護し來つた某高官の責任を問ひ同氏をして詰腹を餘儀なくせしめんとする策動なりと解する向が多くこの結果檢察局として內部的にせよ事件が具體的に現はれた以上嚴正なる司法權の發動は止むなきものであるとの方針の下に取調べ開始に至つたものと傳へられてゐる

思ひがけぬ葬儀

狂戀事件の犧牲者青柳貢の葬儀（きのふ大蓮寺で）圓中寫眞は葬儀に參列した狂戀事件の助演者御幡三輪子

日支兩軍衝突し 射擊戰を展開

廿七日夜塘沽停車場附近て 支那側謝罪で鎭靜

【天津二十七日發國通】一昨夜塘沽に於て日本船員一名が支那兵のために毆打されたことから危く日本守備隊と衝突せんとして收まつた事件あり、直に日本側から支那側に對し抗議を提出交渉中のところ昨夜七時頃又も停車場附近において日本軍と支那軍の間に衝突が生じ、一時ならぬ射擊戰を展開した、双方撤退後かで約一時間半にして鎭靜に歸した、衝突の原因は眞相の調査を俟つて嚴重支那側に抗議する筈であるが該地支那側では既に今將我方に對し謝罪して來つたので事態は一先づ平靜に復してゐる

吉武惟揚氏 醫學博士に

大連醫院耳鼻咽喉科副醫長吉武惟揚氏は論文を提出中のところ二十五日京大教授會を通過し醫學博士の學位を授與されることとなつた、吉武氏は大正十三年京城醫專卒業後翌年大連醫院に奉職し、昭和五年より二年間京都に留學を命ぜられ歸任後副醫長として今日に至つたもので當年三十四歲、なほ學位論文は代償性眼球震盪に及ぼす植物性神經の影響に關する實驗的研究を主論文とするものでほか三篇及び參考論文七篇を附してゐる（寫眞は吉武新博士）

第七回 全滿洲射擊大會

伏見宮博義王殿下御下賜盃爭覇

十月一日午前八時半　春日池射場

第四回實滿 ヴエタラン硬球庭球戰

本社優勝盃爭覇

十月一日午前九時　彌生町三井物產コート

第一回實滿對抗 軟式野球戰

本社優勝盃爭覇

第一回戰

十月一日午後二時より　滿俱球場で

實滿對抗軟式野球戰 兩軍メンバー

本社主催滿鐵運動會軟式野球部大日本軟式野球協會滿洲支部の後援になる第一回大連滿鐵對大連市中の實滿對抗軟式野球戰は十月一日八日、十五日の三日間滿俱球場で擧行するが二十五日正午より本社樓上で滿鐵側より田村、神部、小名三委員、實業側より安藤、圓城寺、遠山三委員その他高橋本社事業部長運動部員等集合の上種々協議の結果審判は二神武、兒玉政雄、吉田要三氏に依賴することになりメンバー交換の結果兩軍選手左の如く決定した

△實業軍 代表遠山源造、監督安藤忍、主將圓城寺滿、選手投手小西秀雄（正隆銀行）久甫倪（大連病院）松島一雄（市中）井上龍太郞（棣棠俱）捕手津村貢一（大連病院）杉本米造（淡路俱）一壘手圓城寺滿（棣棠俱）小倉八郞（SPO俱）三壘手増田義人（淡路俱）遊擊手齋藤寬（市中）鷲龍仙一（大連病院）秋山彥（SPO俱）外野手平田次見博（SPO俱）德永一雄（國際運輸）外村玖幸（大連病院）岩井鑿（淡路俱）

△滿鐵軍 代表伊藤武雄、監督田村道堅、マネイヂヤー小名吉雄主將神部壽郞、投手川井田一久（商事用度）飯田正（埠頭事務）野田秀（總務人事）和泉武男（鐵道工場）入江信雄（鐵道經理）蜂尾滿久（鐵道經理）捕手田村道堅（鐵道經理）重松七郞（大連機車）一壘手駒井好（地方、地方）二壘手高下正雄（埠頭事務）三壘手鹹原四郞（鐵道工場）遊擊手神部壽郞（總務文書）外野手宗正要（消費組合）中野善榮（鐵道工場）左右田秋男（地方庶務）高橋勳（消費組合）

滿蒙 總支社 並支社長（募集）

實業展望（本社東京） 政治・經濟・月刊雜誌

一、日本男子三十歲より四十歲迄の者
一、中學卒業以上の文筆に達者なる者
一、大連に一ケ年以上居住せる妻帶者
一、政治、經濟に相當趣味を有する者
一、相當保證金を納め得る者

○應募者は履歷書携帶大山通遼東ホテル三階三〇四號室にて三十日まで每午後五時過より面接す 但し左記充當する者に限る（ホテルにて）實業展望社社長 戸波浩

遠藤中佐挨拶

關東軍參謀陸軍砲兵中佐遠藤三郞氏は二十七日午後本社を訪問し松山本社長と會見し「六師團凱旋については市民各位が熱誠を以つて歡迎せられ感謝に堪へない、貴紙を通じて宜しく、また貴社並に滿日婦人團が凱旋軍人の慰問歡迎に努力されたことはこれまた感謝に堪へない」と鄭重な挨拶をなして辭去した

蓄音機取締 規則を制定

關東廳でも蓄音機取締規則を制定し徹底的に惡宣傳等を取締る事になつた、なほ同規則は內地に於ても施行されて居らず、只朝鮮に於てのみ去る五月より實施されてゐるので、同規則制定に當つてゐる高等課藤警部は去る十九日より京城に出張し各方面に就て詳細調査を終へて二十四日歸廳したから近く關東廳の蓄音機取締規則も公布される事になる

賣藥寄贈謝辭

曩に滿洲社會事業協會より滿洲國に約三千圓に相當する賣藥を寄贈したところ民政部より新京、吉林、哈爾濱、齊々哈爾、奉天の各社會事業聯合會に配分、貧困疾病者に施與すると鄭重な謝辭を寄せて來た

有志婦人の 彈よけお守

阿部三井物產支店長夫人正子、林滿鐵總務部庶務課長夫人喜美子、三浦左江の各夫人はその他有志婦人と共に半年前より彈よけお守を謹製中のところ今回二十萬枚出來上つたので二十七日午後岡野助役を訪れて陸軍、海軍および警務への傳達方を依賴した

伏見臺兒童 圖書館休館

大連伏見臺兒童圖書館では目下運動會シーズンで、利用する兒童も割合少いので、この閑散時に當り曝書すべく二十八日から十月四日まで向ふ一週間休館すると

●訂正 二十八日附本紙夕刊二面記事中「光榮に浴す滿鐵社員の遺品」の「滿鐵社員の遺骨および事變記念品」とあるは「滿鐵社員の遺品および事變記念品」の誤につき訂正す

安樂 椅子

裕泰洋行の極澤幸男君、先日三十里堡附近に鳥打ちに出て郊外の草叢で立派な大理石の記念碑を發見した、よく調べてみると元關東長官山縣伊三郞氏の頌德碑だ。
◇
附近住民に問ひ合せてみると山縣長官在任當時鹽田問題の解決に深く長官の盡力を德として建設したものであるが適當な建立場所がなかつたのでそのまゝになつてゐると語つたさうだ。
◇
ところが適當な場所がないといふのは口實で實は其の後金建築問題が起り銀建派の滿人の反感からそのまゝに打ち捨てられたらしい。
◇
極澤君は近く有志と圖り頌德碑の除幕式を行ふさうであるが、敵山縣氏も滿人の現金さな地下で微苦笑してゐるであらう。

三井茶園製 日東紅茶 三井紅茶改稱

颱風圏内 （106）

畑耕一作　山田喜作畫

反逆者（九）

「なに、理由？——目的？」

「さうだ」と、斯波は傲然と腕組した。「君は今、僕を裏切者と言つたね。ふむ、裏切者——それもよからう。その裏切者としての理由と目的で立聞きしてゐた——と、言つたらどうするね？」

「な、なにつ！」

「まあ落つけ。驚くのはまだ早い」

「手前なんかの仕ぐさに、なにを驚くことがあるもんか。その理由と目的——こゝじやあ聲が大きくなる。家外へ出やう。出て聞かう」

「いや、僕はこの部屋に用がある」

「話の相手はおれだ」

「はゝゝ。自惚れてゐるな。君なんかになんの話がある？僕が立聞きしてゐた理由は、この部屋の中に、僕の目的通りの事實が起つてゐるかゐないか、それを探知するためだつたのだ。そして、その事實はあつた」

「なに、事實？」

「はゝゝ。小宮織江といふ若い美しい女性が果して來てゐられるかどうかの事實だ」

「な……なにつ！」

銀次は眼を光らせた。

「や、あなたは小宮織江さんですね！僕はあなたにお話があるのです。お話——こゝではどうかと思ひますから、出來る事なら——いや、出來ないことでも——是非僕と一緒においで願ひたいのです」

斯波は構はず進んで織江の手を取らうとした。

「あ！なにをなさるんです。わたくし……」

織江は乙彦のうしろに逃れた。

「はゝゝ。なにも御存じないからさう仰有るんでせう。だが、僕は決して心配な人間じやありません。信頼して頂きたい。僕は或る人の命令によつてあなたをお迎ひに來たのです。僕と一緒においでなされば、わかることです。さあ、どうぞ」

「なにをするつ！」

進んで手を伸ばさうとする斯波を、銀次はドンと突き飛ばした。

わざとらしく大きくよろめいて斯波はドアに背をあてた。

「妙な眞似をしやがると、たゞあ置かれえぞッ！」

「はつはゝゝ。あゝ恐ろしいさ。でも言はなきやあ、君の引つ込みがつかないかな。——だが、僕あそんなおつきあひの芝居をしてゐる暇あないんだ。理由と目的——この織江さんを受取りに來たのが裏切者としての理由と目的さ。下手に惡あがきするさ、ためにならないぜ」

「織江さんを受取る——とは、なんだ？」

「鏡子さんの場合でも、君は「誘惑」つていつたらう？この織江さんに對しても、そんな言葉を使はれちやあ心外だ。だから、「受取る」つていふのだ」

「手前にそんな……」

「はゝゝ。僕は理由と目的があつてやつて來たんだよ。立派な——當然の理由と目的と——だ」

「な、なにつ！」

「説明するよりも、さあ、このお方に會ふがいゝだらう」

斯波はサツとドアを開けた。

「あつ！あれつ！」

恐怖に滿ちた織江の叫び——

そこにピストルをつき出しながら、ニタリと凄く笑つて立つ男—

滿日俳壇

殘暑　島田青峰選

秋暑し提げし荷物の持ち重り　大連　高木　春蔭
小地震におびやかされし殘暑かな
喘ぎ行く荷馬車の列や秋暑し
箱庭の池濁り居る殘暑かな
避暑の人去りたる濱の殘暑かな
秋暑し潮浴びて居る異人達
秋暑し一風呂浴びて欄に寄る　大連　川上若枝女
穴を出て泡ふく蟹や秋暑し
鐘樓に遊ぶ子守や秋暑し
秋暑し露路をふさぎて花車
アトリエに殘暑の西日當りけり
糸さりの繭おごりゐる殘暑かな
葡萄棚の下に寢る子や秋暑し
秋暑の柘榴の花の二番咲
白粉の花に殘暑の埃かな

ビクター十月 洋樂新譜を聽く

ビクターは遂にレコード界待望の豪華版ベートーヴエンの「協奏曲—第四番」（シユナーベル演奏）とバツハの「ブランデンブルグ協奏曲—第五番」とを發表した、此の二つは演奏、吹込、其他凡ての點に於て名盤の名に背かず、長い間のフアンの期待を充分滿足させよう、其他名曲、名歌、等々、秋の夜永に一家團欒の十數種あり

家庭衛生の大家今津佛理博士は 幾多の苦惱と闘ひ 愈々藥界に驀進

家庭衛生に非常なる貢獻をなし坊間より鼈さり博士と稱せられた佛國理學博士今津明氏は、數年來人知れず研究室にて研鑽をこらし、植物の精髓花粉から化學的純粹のエキスを抽出する事に成功し加ふるに齋藤醫博の臨床實驗今津農學士の化學實驗とが根幹となり苦心の結果、肺系統の新良藥イマヅミンの完成を見た事は先に報道した通りであるが、之は果然異常なる反響を讀者に與へ、同博士は各地より殺到した照會の回答に忙殺されてゐる。

同博士夫人のかくれた美談

この成功の蔭には、實に涙ぐましい挿話がかくされてゐる、卽ち同博士夫人は爾來ひどい喘息の持病があつた、從來良藥がなかつた處、同博士は喘息は氣管支の痙攣性發作との見地から、敢然決心して齋藤醫博と協力し、夫人を試驗臺として遂に喘息を驅逐し全快するに到り、多年の宿望を達成したのである。

尚序ながら同博士の近況を報道するに博士はイマヅミンの完成のみに飽きたらず、再び藥界に革新時代の要望する體力を旺盛にする藥劑の研究中で未だ發表するに到らぬが、殆んど完成に近く愈々成功の曉には、再び藥界を革制せしむるであらう、吾人はこの偉大なる學者の健闘を祈るものである。因に病患の問合せは大阪大仁本町今津化學研究所へすれば懇切に養生其他注意事項を回答する由。

人物と團體を解剖する

現代日本を動かす人物と團體、それは政界、學界、教育界、宗教界、陸海軍關係、藝術方面其他あらゆる方面に亘つて分布されてゐるが「現代日本に活躍する人物と團體」をつけてこの方面からその動きを見んとする人に多大の便宜を與へてゐる。筆者は何れも第一流の知名の士雜誌週間記念附錄としてはまことにふさはしいものである。

一冊の雜誌に附錄が三冊

婦人倶樂部十月號の附錄は三種で二冊、第一が「流行新型毛糸編み物全集」六倍判二〇四頁の大部冊で原色刷の口繪が四十四頁、次が「新考案の毛糸模様編二百種」四六判一九二頁、毛糸編物愛好の長い間の懸案となつてゐた模様編の集成、その次はお馴染の「凸凹黑兵衛」この漫畫本が、家庭での大受け、大歡迎、第一の編物本は素晴らしい重寶さでヤンヤ云はれ第二第三も夫々これが要らぬとは云へぬ金的のもの、本誌五百餘頁特大號に二重の驚きだ

珍趣向の廣告船

全世界にその覇を唱へて居るシボレーが、今回大きな船の船腹に大文字を書き「水上移動廣告」の嶄新な方法を案出して、さすがの米國人にもアッといはせてゐる。それはシボレー工場の貨物船を利用したるもので船腹にアルミニュームで高さ七呎餘の大きな文字で「世界一の賣行は世界一の價値を示す」のスローガンとシボレーのマークを入れた大廣告である。

雄辯（十月號）

雜誌週間記念特大號として別冊附錄杉村陽太郎氏著「祖國に歸りて」全一冊、四六判二四八頁をつけてゐる、著者は聯盟事務次長として我國の聯盟脫退に際して松岡洋右氏と共に大活動をなしたる人、最近歸朝して祖國の現狀につき大に考ふるところあり、卽ち氏がわが國民殊に青年諸君に愬ふる切々愛國の至情である、讀者は歐米の實狀を詳にし、著者獨得の堅實透明なる批判によりて世界列强の間に介在する日本の運命を正確に認識することが出來よう、他はすべておして知るべしである

齒ブラシを永持させる秘訣 家庭の常識

齒ブラシは使用後日光の當る通風のよい個所にかけて、よく乾燥させておくと衛生的でもあり、永持ちもいたします。又時々消毒をすることは衛生上大變よい事です。熱氣消毒と云つてもホーローのコツプに刷子を入れて熱湯をかければ、それでよろしい。此の點ではセルロイド製のものは、しばんだり曲つたりして感心しません。齒ブラシはやはり骨柄のもので毛がかたく齒並みに合せて切つた信用のある品がよい。然も云へば、齒ブラシは二本備へて朝晩交互に使ふのが理想的です

滿洲日報
九月二十七日發行
發行人 鈴木昇　編輯人 橘本喜代治　印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

方振武、中央兩軍遂に高麗營附近にて衝突

形勢は急角度で重大化

【新京特電】懷柔に集結した方振武軍はわが關東軍の嚴重なる撤退通告により牛山を通過し順義に移動し、一方劉桂堂及び吉鴻昌は北平北方高麗營に集結既に何應欽軍と激戰を交へつゝあり、斯くして協定線外に撤退した方振武軍の順義集結と劉桂堂、吉鴻昌兩軍の高麗營進出により北平は指呼の間に迫り、何應欽も北平を中心として嚴重なる陣地の構築をなしつゝあり、事態は或は急角度に重大化せん形勢を示してゐる

【北平特電二十七日發】方振武軍の大部分は三河縣に逃竄し夜陰に乘じて全部東へ逃走すると見られてゐる

【北平二十七日發國通】支那紙によれば牛欄山に移動した方振武軍は今曉零時二隊に分れ牛欄山を出動一隊は東進し三河方面へ、一隊は南下し高麗營に向ひ依然移動を續けてゐるが、今曉四時高麗營附近で中央軍との間に小規模の前哨戰あり、更に今曉北平より順義に向つた長途列車は運行の危險を感じ北苑より北平に引返した

【北平二十七日發國通】牛欄山一帶の方振武軍は二十五日夜東南兩路に向つて前進を開始し、東路は三河縣境に向ひ玉田にある老耗子と連絡せんとしつゝあり、南路は高麗營の東方四里の小營村及び中村一帶に前進し昨朝四時先鋒部隊は保安隊と衝突を見た、戰線十餘里に亘り戰ひは午後一時に至るも止まず、住民は昨朝來北平に續々避難しつゝある

【北平二十七日發國通】今朝の大公報によれば昨日午後五時頃高麗營以北の中村一帶において支那側軍隊と方振武軍と交戰の火蓋を切つた、吉鴻昌部隊は現在懷柔以西に在り漸次西南に退走するものと觀られる

灤東土匪軍 撫寧占領

【天津特電二十六日發】方振武軍と連絡ある灤東の土匪軍約五千は保安隊を擊破し撫寧を占領し更に昌黎に迫りつゝあり

皇軍態度公明

わが軍飛行機北平上空を飛翔 軍司令官の傳單撒布

【北平二十六日發國通】本日午後零時三十分頃我軍〇〇機〇〇機南方より飛來、北平上空を通過傳單を撒布して北方に飛び去つた、なほ本日は北風強く該傳單は大部分城外に散つた、傳單の內容は左の如し

中國軍當局官憲民衆に告ぐ最近方振武及び中國人間に停戰協定を無視し大軍を非戰區內に侵入せしめ地方民衆をして敢て塗炭の苦しみを與へんとするものあり、しかしながら大日本軍司令官は中國相互の係爭に對しては絶對干涉せず、飽くまで公明正大なる態度を持して停戰協定の精神を遵奉し、茲に武裝中國軍の線區撤退を要求せるものである、而して彼等が飽くまで反省するところなき時は斷乎討伐の決意を有する、固より方軍の反則は事實明瞭にして中國軍亦方軍討伐の意あることを確信する更に該地は停戰協定により武裝中國軍の侵入を許さざる地なるに鑑み茲に彼等の線區外撤退を要求するもので其他毫末の他意なきを重ねて聲明す、然れども不幸已むなく方軍と干戈を交へ爲に受くる民衆の損害を思ふとき本司令官は斷腸の思ひあり、希くは地方官憲民衆一致團結し方軍を線區以南の地へ撤退せしむれば幸甚なり

大日本軍司令官

方振武軍撤退

【東京二十七日發國通】方振武の率ゐる討伐軍は日支停戰協定線內懷柔に進入したるため、我が關東軍は二十二日方振武に對し撤退を警告したに對し二十四日これを容れて撤退を開始するに至つたので二十六日陸軍省より左の如く發表された

懷柔にある方振武軍は二十一日我關東軍より撤退勸告をなしたる處容れ二十四日順義方面へ（協定線內）撤退行動を開始したり

方軍撤退を嚴重監視

【東京特電二十七日發】北平來電によれば、偵察にあたつたわが部隊の一部は方振武軍撤退の跡を追ひて二十六日〇〇に入城、又〇〇に待機中のわが〇〇機〇〇機は方、吉兩軍の協定線外撤退を嚴に監視中

【新京電話】二十六日正午支那軍は南方から順義及びその南方の孫家鎭方面に到着し方振武軍に對し陣地を構築中である、なほ飛行機の偵察によれば、同日正午頃方振武軍は板橋村（高麗營子北方）を通過して西方へ協定線外に前進中である、吉鴻昌軍は二十五日九渡河（昌平北方五里）を經て西南方に前進した模樣であるが、劉桂堂軍は南下の形跡なく方振武及び吉鴻昌の部隊は早くも孤立無援に陷つてゐるが、わが軍では依然これらの狀況を嚴重監視中である

廣田外交の對支方針 愈よ積極的に乘出すか

蔣公使に早急歸任を申入る

【東京二十七日發國通】廣田外相は就任の際の聲明によつて明らかなるが如く對支外交調整を重大政策の一として抗日休止、一時的還却を爲した支那に對し、有吉公使を通じて機會ある每に南京政府と折衝せしめ日支關係常道關係確立に努力しつゝあつたが、外相は更に蔣公使の歸國により折角打合せに不便を感じ今後益々多岐多端の一交涉にも支障を來すを憂慮し二十六日駐日支那公使代理江華本氏を通じて南京に在る蔣公使に宛て速かに歸任されたき旨申入れた、右に對し蔣公使も同意し愈々來月上旬歸任する事となつたが、果して蔣公使が如何なる訓令を携行するか、右は廣田外相が從來の靜觀主義を擲棄し積極的に乘出すにあらずやと注目されてゐる

その後の熱河（5）

山口特派員撮影 島田特派員記

承德離宮 老虎塔

◇…熱河は北に沙漠を控へ、西は山岳連なり、僅かに東南部に平野を有するのみで、冬近づけば朔風吹き荒ぶ。

◇…然し夏季における承德地方は滿洲有數の樂天地、熱河の流れにうるほうて南薰涼風に綴へり、山岳には草花の錦を織る。

◇…承德離宮は絶好の地を占めて內に山あり、清流あり、その間に壯麗なる殿堂點在して世界の秘園と稱せらる、今は我〇〇司令部が入り熱河の治安に當る。

將來の滿洲には安い資本が必要

大淵滿鐵理事來連談

滿鐵東京支社長大淵理事は林田經理課長と共に二十七日入港うらる丸で來連した、主なる用件は近く行はれる豫算會議に出席の爲で、併せてこの機會に奧地を視察北鮮方面を一巡する豫定であるが、船中語る

四月に來て以來だ、主要な目的は豫算會議に出席の爲である、同時に社務の打合せをする、當分居るがそれ迄に**北鮮方面**を視察して十月十日前後に今一度來連する、今のところ東京支社の方には支社の建築位で大した變りはない、林總裁も二日に東京を立つて豫算會議迄に歸任の豫定だ ×

滿鐵の株は大變評判がよく政府當局は勿論關係者方面、內地新聞界等の絶大な後援好意によつて未曾有の好績を收めた、今のところ株主に割當てた二百二十萬株もパタパタ片づいて自分の來る迄に殘株七千といはれてゐたが恐らく今時分は三千位になつてゐるだらう、大正九年の增資の時十二萬株も殘つたのと比較すると大變な相違だ、今度**成功した**原因は公募を先にやつて、プレミアムの値が出たのと未募集株がなく百廿萬株全部市場に出た事なぞがかうした好成績を得させたのだと思ふ ×

經濟界の狀況から見て將來滿洲には巨額の安い資本が必要だ、さうした巨額の安い資金を得る事が滿家工作の大問題だと思ふ、それには信用が大切だ、內地金融界方面から信用を得る事が急務だと信ずる、そこで滿鐵では日本における銀行團の代表者を招き生きた滿洲を如實に見て貰ふといふ目的でかねて交涉のところ、金融界の第一線に立つ興銀寶來理事、第一銀明石副頭取、安田森副頭取、川崎第百銀星野頭取、住友大平常務、正金最上取締、朝鮮松田理事、三菱瀬下常務の八氏が七日神戸をはるびん丸で出發、約十八日間の豫定で北はハルビン迄滿洲における**實情を見**る事になつた、これは滿鐵が招くが滿鐵のみならず一般民間の人も廣く接觸して欲しいものである、いづれも多忙の中を割きはじめて來滿するもので經濟工作をやる時期には好いチャンスである、社債の借替も御承知の樣に好い機會をつかんで成功した、六分乃至六分五厘の利子を四分五厘にしたのでその金額にして二百萬圓の利益があるわけで、これは純益だから馬鹿に出來ぬ、增資に關する報告總會は十二月中旬頃行ふつもりだが、これで今年總會は三回やる事になる ×

日滿マグネシウム會社は斯波博士が創立委員長だつたが病氣なので私が代つてゐる、株式の割當は大體決つた供給者と需要者で引き受ける事になつてゐる**創立總會**を十月二十日頃やるつもりだ、資本金七百萬圓、株の半數七萬株を滿鐵が、三萬株を理研が、その他を住友、三菱等が引受けるはずだ

最後に政界の模樣をと水を向けると「落ちついた樣な、つかない樣な」と巧にポイントを外してしまふ、例の兒玉博士事件に就いては「全く初耳だ、博士は面識あるがそれは大變な事件だね」

關東廳に新機關設置

滿鐵其他の業務監督 明九年度より實施決定

滿鐵業務監督機關に關しその後拓務省と關東廳との間においてこれが打合せを進められてゐたが、最近滿鐵の業務が著るしく發展しつゝあり、これに伴ひ傍系會社も相當成績を示して居り、又去る九月一日より關東廳の一部であつた電信電話が獨立して會社となつて現れるなど直接監督の位置にある關東廳地方課の業務は多忙を極め現在の人員及び制度では十分な監督が行屆かずこれが措置として種々考究されてゐたが、今度關東廳に滿鐵及び同傍系會社、電信電話會社を統制する卽ち監督課なるものを設置することになり、關係各課において打合せを濟まし來年度より實施することに決定、二十七日日下局長より長官に詳細說明する所あつたが、監督課の內容は

一、勅任事務官一人（滿鐵並びに通信會社監督業務の總轄）
一、勅任技師一人（滿鐵並びに通信會社の技術方面總轄）
一、理事官一人（事務主任）技師一人（鐵道並びに化學方面擔任）その外に屬四人雇三人を置き
一、滿鐵會社自體の事務擔任
二、滿鐵傍系會社の業務監督擔任
三、鐵路總局關係及び滿鐵會社の組織重役その他の關係擔任
四、通信會社の事務擔任

對日本軍の疑惑一掃

殷同線區委員談

【北平二十七日發國通】柴山武官は關東軍の訓電に接し二十六日午後二時何應欽を訪問し、日本側の方振武に對する態度につき通告したが、右會見後線區接收委員の一人として日本側との折衝に重きを成した殷同は語る

日本軍の態度は公明正大なもので我方の要求も容れて貰つたから日本軍は方振武、吉鴻昌兩軍を西南方に驅逐して呉れるものと思ふ、之で我方の一部で心配した方、吉兩軍の背後に日本軍ありとの疑惑も全く一掃された

中傷宣傳に嚴重警告

【北平特電二十七日發】支那軍憲は方、吉兩軍の行動が日本の煽動に依るとの中傷宣傳してゐるので、柴山武官から二十七日何應欽に對し嚴重警告を發した

鹿子木博士の講演と座談會

あす滿鐵地方部地方課主催で

滿鐵地方部地方課では目下滯連中の九州帝大教授鹿子木員信博士を聘し二十八日午後四時半社員俱樂部階上第二食堂に於て講演會を開催し一般の來聽を歡迎する由

鹿子木博士は日本精神を基調とする大亞細亞主義者で今年既に渡支二回、特に今回は北滿、蒙古、熱河、北支方面の視察を終つての歸途であり、現代右翼の最大團體たる國本社內唯一の理論闘士たる同博士の所說に傾聽することは時節柄頗る有益であらう

尙右講演終了後引續き同俱樂部第一集會室に於て鹿子木博士を中心とする滿鐵人及び日滿關係者の座談會が開かれる筈

滿洲國へ特派の我"法曹使節"

けふ、うらる丸で來連

日滿法曹の提携親善を圖り以て司法制度の改善並びに民權の伸張に寄與せんがため去る七月十日の總會において代表を派することを決した日本辯護士協會滿洲國特派代表一行の駒澤辰明、溝口喜方、平野卯三郎、松井繁太郎、古森幹枝、江崎健三の五氏は二十三日東京驛を出發し二十七日入港のうらる丸にて來連、ヤマトホテルに投宿したが、船中一行を代表して駒澤氏は語る

今まで實業界、政界の代表は度々來滿してゐるが、法曹使節は今回が初めてゞす、かつて一地方から來たことはありますが、それは今回の如き正式の使節ではなかつたのです、今度は日本辯護士協會といふ全國に亘る勿論關東州も含んでゐますが、その中から私と溝口、平野君は東京、松井、古森の兩君は廣島、江崎君は名古屋からといつた工合になつてゐます、昨年代表派遣の話が出たのですが、未だ充分に治安も恢復してなかつたので取止め、今秋になつて漸く實現したわけです、漸く滿洲國の治安が維持され司法部が漸次完成されつゝある際に我々代表が來滿法曹路者と意見の交換を行ひ法曹界の親善、延いて日滿朝野の親善を圖りたいのが念願です新京に行き執政に賀表を捧呈した上、十月の十日頃歸りますが滿洲國の辯護士は許可方針のため、我々が來ると自分等の生活圈內に割込まれはしないかといふ懸念を持つて却々我々と會はうとしないのです、決して我々はそんなケチな考へを持つてゐるのではないから大いに滿洲國人の辯護士と會つて意見を交換します、この點は鄭孝胥氏にもよく諒解を求めておきました、問題になつてゐる治外法權撤廢は今何んとも意見は申上げられません、觀察してからのことで、青柳辯護士の問題は一寸新聞で知つてゐます、これも辯護士協會の協議によつて近く目鼻がつくでせう（寫眞は一行）

大連醫學會例會

大連醫學會では二十九日（金曜日）午後正四時より大連醫院に於て例會を開催左の講演ある由

（一）姙婦尿注射の家兎哺乳仔の發育並各臟器殊に內分泌腺の發育に及ぼす影響に就て（第二回報告）松浦豐（二）尿注射に依る家兎チレオテストの小實驗 今井寛（三）腦液水素「イオン」濃度及び腦液內鹽類排泄に及ぼす膽汁酸の影響 藏本常雄（四）トロンメル氏反應の膠質化學 田中貫一 ▲特別講演 題未定 日本齒科醫專教授 加藤清治

はるびん丸船客

【門司特電二十七日發】二十九日大連入港豫定のはるびん丸の主なる船客諸氏

大阪朝日新聞專務取締役上野精一、同營業局長辰井梅吉、同販賣部長忠田平造、同通信部長內田眞吉、滿洲醫大學長稻葉逸好、陶器會社員高山雄次、貿易商野崎末男、機械製作業日高晴生、會社員大森豐二郎、同小原和吉、西原一秀、步兵少佐豆左近、平山謙三郎、高良淳

下

▲林滿鐵總裁夫人並令孃 二十七日入港うらる丸にて歸連
▲大淵三樹氏（滿鐵理事）同上
▲一宮鎭生氏（大日本[illegible]業重役）同來連
▲荒井陸男氏（洋畫家）同上
▲細原和一良氏（高島屋取締役）同上
▲神尾茂氏（大朝記者）同上
▲園田勉次郎氏（滿洲電々會社庶務課長）同上
▲駒澤辰明氏、江崎健三氏、溝口喜方氏、平野卯三郎氏、松井繁太郎氏、古森幹枝氏（以上辯護士）同上
▲林田精一氏（滿鐵東京支社經理課長）同上
▲藤好南海生氏（日本醱素株式會社）同上
▲宮部美子氏（滿洲國警備司令夫人）同上
▲池內眞清氏（關東廳檢察官）二十七日出帆しあさる丸にて上京
▲迫喜平次氏（國務院人事處長）同午前八時着列車にて來連遼東ホテル投宿
▲鈴木熊太郎氏（一等主計正關東軍經理部長）同上
▲山領貞二氏（鐵路總局工務處長）同上
▲國防婦人團一行十七名 同上
▲金井章次氏（奉天省總務廳長）同午前九時發はとにて歸奉

蛇角

◇ いよ〳〵出でいよ〳〵怪奇な兒玉博士殺人事件。
◇ 謎は謎を生み、疑惑はさらに疑惑を增す。
◇ 際限なく繰り擴げられ行く戀愛葛藤の大繪卷物。
◇ 血腥き殺人事件を背景に、咲き亂れる眞紅の花の毒々しさ。
◇ これを一篇の探偵小說と見、或は一幅の異色繪畫と見んか。
◇ 亂歩も、龍子も、筆を投じて嗟歎せんのみ。
◇ 亂れ生ふる茨の中に鬼薊。

全滿司法會議

全滿司法官會議は來る十月十日から四日間關東廳において開催されることゝなつたが、滿洲司法制度問題、辯護士法改正問題等の重要事項及び司法事務改善に關する打合せが行はれる筈

駒澤氏歡迎會

明治大學校友會では校友、商議員、辯護士駒澤辰明氏二十七日うらる丸にて日本辯護士協會の要務を帶び來連につき二十七日午後六時より菊水にて歡迎會開催につき多數校友の出席を希望すと

東天紅（211）

田中純　林一三 書

モンナ・ヴンナ（七）

「だけど、ねえ、文子さん」

文子の目が、晶子の指輪に落ちてゐるのを見ると、晶子は、ここぞと思つたやうに、言ひ續けた。

「あなたがもし、松波から、無事にそのお金をお借りにならうと思つたら、あなたの方でも、多少の辛抱はなさらないと駄目なことよ」

「辛抱と言ふと」と、文子は訊き返した「たび〳〵松波さんにお願ひに上らなきやならないの？」

「ううん、そんな意味ぢやないけども、ただ、松波と言ふ人に就ての多少の豫備知識が必要なのよ。つまりね、あの人、老人の癖に、ちよつと變態なところがあるのよ」

「………」

文子は、何を言ひ出すのだらうと思つて、晶子の顏を見つめた。

「だからね、あなたにお目にかゝつてる間にも、多少失禮なことをするかも知れないのよ」

「まア」

「尤も、失禮なことゝいつたつて、たゞ、ちよつと、いやらしいことをいふとか、手を觸りに來るとか、そんな程度のことなんだけど……」

「まア。そんなことをなさるの？」

「だけど、ただ、それだけのことよ。それ以上のことは、決してしやしないから、安心してらして好いの」

「まア。だけど、何故、そんなにお年を召してらして、そんなことをなさるのでせう？」

「そこが、つまり、變態の變態たるところなのよ。だから、自分でも、半分は無意識にやつてるらしいの。ただ、自分の目の前に美しい白い手があると、どうしても觸らないでゐられないのですつて」

「まア……」

「つまり、子供が美しい花を見ると、どうしてもそれに手を出さないでゐられなくなる、あの氣持と同じなのよ。だから、本人は非常に無邪氣な氣持でやつてるんだけど、他人から見ると怪しからんと言ふことにもなるのよ」

「だけど、私なぞにも、そんなことをなさるか知ら？」と、文子は不安げに訊いた。

「それは、多分、するだらうと思ふの。だつて、あなたのやうな美しい人を目の前に置いて、あの人のその病氣が起らない筈はないのですもの」

「まア。そんなんだつたら、わたし厭だわ」

文子は、さう言はないで居られなかつた。

「だけど、それがお厭だとすると、この話しはちよつとむつかしいかも知れなくてよ。だつて、松波さんと言ふ人は、手を握るくらゐに好きにならなければ、決して、金なんぞ出さない人なのだから」

晶子は押しつけるやうに言つてじつと、文子の顏を見た。

「まア。それではわたし、どうしたら好いのよ。手を握られても、じつとしてゐなきやならないの？」

言つた時、文子の顏は、かすかな蒼白を帶びてゐた。

「ううん、それは、臨機應變で、どうなすつても好いのよ。たゞ、その際、あなたが聲を立てたり、邪慳に振り拂つたりなさると、結果が惡いかも知れないの。松波さ言ふ人は、根は非常に善良なのだけど、對手が自分に好意を持つてゐないと見ると、すぐに、自分でも好意を棄ててしまうやうな人だから」

「まア……」

文子はさう言つて、考へこん

全國の捜査網を潜り 逃げ廻る夫人と中薗

血の惨劇に戦慄を續ける魂を抱き、愛人中薗と共に内地へ逃避した兒玉博士夫人勝美は何處の空にさまよひつゝあるか……十三日出帆のうすりい丸三等船室に傷ついた心をひそめ、人目を避けて母國に逃れて以來、全國警察の嚴重な捜査網を潜つて、轉々として逃れて行く二人に秋冷一しほ深きものがあらう、殊に勝美夫人は早や夫博士が鐵窓の内につながれてゐることも知つて居やう、或は夫人は中薗の手より逃れ得ず、止むなく罪の男と行を共にしてゐるとも傳へられてゐるが、何れにせよ繊弱き女性の魂が、この打撃、この恐怖に何時まで堪へ得るのであらうか、沙河口署は大連市内各署と協力、物凄き電報の手配陣を布いて飽く迄二人の逮捕に努めてゐるが、目下の見込みは既に大阪を離れて、秋色深き湘南鎌倉に集中されてゐる………

中薗の兄を訪問して 二人で大阪に現はる

新聞記事に驚き韜晦

【大阪特電廿七日發】兒玉勝美、中薗秀雄の行方に付て中薗の兄が大阪港區八條通り一に住居して居るのを探知した兵庫縣警察部はその兄に付て調査した所二十五日夜二人が來訪しその夜は同區三條通り三の福井旅館に中薗秀雄(三一)同光子(二七)と稱して投宿し二十六日午前立去りその日の夕刻使ひの女が兩人の荷物を受取つて行つたことまで判明し東京に行くと稱したとのことで同方面に手配中である

【大阪二十七日發國通】兒玉博士邸の怪奇殺人事件の關係者中薗秀雄と兒玉夫人の行方に就き神戸湊川署は二十五日大阪入港の船で大阪に潜伏せることを探知し嚴重捜査の結果、二十五日午後九時頃港區三條通り四の四一福井館事滿田功方へ投宿したことを突止め同旅館を取調べたる結果、宿帳には大連汽船社員中薗秀雄(三三)妻光子(二七)と認めて居り二十六日午前十時頃新聞朝刊を見て狼狽てゝ外出姿を消したことが判つた、その後東京方面に潜行した模樣である

中薗の魔手が迫り 夫人の身邊危險

推測する山田辯護士

【東京特電二十七日發】大連に於ける殺人事件の犯人が東京地方に潜入せる形跡ありとの報に警視廳は二十六日來捜査網を張るとともに上京せる山田辯護士について詳細を聽取するところあつた、尚山田氏の推測では勝美は秘に内地に去らうとしたのを中薗に發見され附纏はれ威嚇されてゐるもの丶如く殺害或は無理心中のおそれがあるとて同氏は躍起となつて警察の活動を依賴してゐる

神戸には立寄らぬ 實母が出迎

【神戸二十七日發國通】兒玉夫人の內地歸還のたり唯一の立寄先と考へられる湊區下山町三丁目還沼時男夫人は語る

勝美さんは何時も女中にかしづかれ深窓に育つた純な一人娘であつた、ダンスホールに通ふうちチヤーミングな美しさと有閑夫人と云ふので不良青年に接するやうになつたのだらうと思ひます、十三日大連から歸るさいふ便りがあつたので實母靜子さんが十九日出迎へのため私の家に來られましたが神戸には遂に姿を見せず目下心當りを捜してゐる次第です

御幡三輪子 所在判明 當局でかくす

事件の陰に躍る疑問の女、ピアノ教師御幡三輪子(二九)は怪事件の渦中にある重要人物として所轄沙河口署で捜査の結果、二十五日夕刻その住居を突き止め谷川司法主任は極秘裡に同女と會見、取調べを行つたが、中薗及び博士夫人に關する重要なるヒントを得たもの丶如く、同署では適當の時期まで絶對に同女が世間に現れぬやう意を含め密かに某所に身を潜ませてゐる

大阪に潜伏か

【長野二十七日發國通】兒玉博士夫人の行方については實弟南安曇郡豐島町藤森方では非常に心配し取敢ず博士の實弟大阪帝大教授兒玉元一氏に對して照會したところ勝美夫人は大阪に來て落着いてゐるから安心せよとの返電あり藤森方より家人が至急下阪した

勝美夫人離婚手續を 山田辯護士に依賴す

博士は下手人でない

事件發生後の兒玉博士は懊惱に懊惱を重ね、うつろな氣持ちで徒らに日を過してゐたが事件後一週間目の去る十七日早朝市內榮町二番地辯護士山田喜久雄氏を私宅に訪れ事件の一切を打明けたうへ自首後の一身上の後事を同辯護士に託したが、博士一身上に關する重要な點として特に山田辯護士に依賴したのは勝美夫人との離婚問題であつた、博士の悲愴な決意を知つた山田氏は「よろしい引き受けました」と應諾し直に飛行機で內地へ急行したのであつた、博士は最初山田辯護士を訪れた際先づ口を切つたのは「僕の友人のことですが」と他人の出來事になぞらへて相談を持ちかけたほど身を處決するまでの博士の煩悶、苦惱は想像に餘りあるものがある、博士が訪れた當時の情況に就き山田法律事務所中里事務員は次の如く語つてゐるがこれによつても博士は直接の下手人でないことが明にされてゐる

博士が來訪されたのは十七日朝で三日間續いて毎日來られて先生(山田氏)と相談された結果いよ/\自首する決心をなされたものです、博士が先生に後事を託された重要なもの丶中に夫人との離婚問題があり先生は夫人と直接面會し正式離婚の手續を執るべく內地に行つたものです當時博士の樣子は見るからに氣の毒な程苦悶の樣が現れてをり先生に語られたところによると「自分は決して青柳殺の下手人ではない、全く兇行後中薗から手傳はぬと共犯にするぞと脅迫され死體の處置を手傳つたのみで、これも自分の意志薄弱の結果で殘念である」と男泣きに泣かんばかりの態度でした、これら前後の樣子から推して眞の下手人は博士でないことが充分窺はれます

埠頭で凱旋兵接待

松田〇團の殿を承はつた第三次凱旋部隊として常岡部隊が凱旋の日、埠頭待合所內に設けた滿日婦人團の「凱旋將士接待所」では最後の馬力をかけて午前十時小川市長夫人を始め各婦人團員、各女學校同窓會有志會員は集合し十一時から接待を開始したが、十一時四十分嚠喨たる喇叭の音を響かせて凱旋兵は埠頭に到着し甲埠頭で武装を解いて命令一下婦人團の接待所に殺到し大喜びであつた【寫眞は滿日婦人團の接待をうける兵隊さん】

光榮に浴す 滿鐵社員の遺品

宮城內御府に御保存

滿洲事變のため殉職した滿鐵社員の遺骨および事變記念品は滿洲上海兩事變の軍屬戰死者の遺品と共に宮城內の御府に御保存されることゝなつたので滿鐵では關係各箇所に通達し遺品寫眞その他を集めたうへ十月五日までに總務部人事課で取揃へ囑託將校の手から獻納の手續をとることゝなつた

中薗を繞る戀愛遊戲 三角關係の記念撮影

子供連れでカムフラージして 市內各所を遊び廻る

兒玉夫人と御幡三輪子と中薗秀雄の三人がたゞれ切つた三角關係をダンスホールに喫茶店に映畫にと相携へて大連市內に戀愛遊歩したことは彼等三人が不倫の戀のページを公然と寫眞館に歩んだ行爲によつても窺はれる、即ち昨年八月二十五日中薗、勝美夫人、御幡三輪子の三人が市內吉野町內田寫眞館に赴いて寫眞を撮つた事實があり今當時の彼等の行動について主人內田實氏を訪ふと「何分澤山のお客さんの事ですからハツキリした記憶とてもありませんが」と前提しながら

兒玉さんはたしか四回ばかりお見えになつたと思ひます、第一回に御出でになつたのが八月十三日の夜でその時は兒玉さんと御幡さんだけで活動歸りだとか云つて映畫の話などされて居た樣でした、そして其後二回ばかりお寫しになつたのですが、いつもお子供さん達をお連れになつてこの寫眞をお寫しになつたのが一番最後の八月二十五日の夕方、先づ兒玉さんと御幡さんの二人が店に來られて中薗さんと云ふ方を電話でお呼びになつて三人御一緒にお撮りに成つたのです、何でも中薗さんが旅行されるから記念の意味でとかおつしやつてゐましたが、その際も聖德街の兒玉だからと云つて後で中薗さん自身で取りにいらつしやいましたが、兒玉さんは何時もおとなしい方でごつちかと云ふと御幡さんが絶えず兒玉夫人をリードして寫眞に寫る時も中薗さんと兒玉さんを二人並ばせたりして居られました【寫眞はその時の記念撮影で向つて左から御幡三輪子、兒玉夫人、中薗秀雄で御幡と夫人の間に子供一人がゐるが特に抹殺】

洮南城內ペスト發生 四平街も危險に瀕す

【二十七日滿鐵衛生課入電によれば】二十五日洮南城內東門街に二十一歳の滿人女ペスト樣症狀となり發病後間もなく死亡したが二十六日洮南在勤秋山公醫が塗抹標本を檢鏡せるところペスト疑似菌を發見した、なほ死體の肺切片を四平街細菌研究所に送り目下檢査中であるが發病の經過より見てこれは眞性ペストと見て間違ひなくペスト患者は愈々洮南市中に發生、在住邦人六百に大恐慌を來してゐる、なほペストが人口稠密な洮南市中に發生したので蔓延區域が愈々擴大の虞あり滿鐵線四平街も危險に瀕したので四洮線の防疫は益々嚴重に行ふことゝなつた

防疫方法を改正嚴戒

鐵路總局ではペスト防疫の爲め二十七日より左の如く防疫方法を改め各線の防疫を益々嚴重にしてペスト絶滅の策を講ずる事となつた

一、四洮線、鄭家屯、三林間は乘込檢疫を廢止せる代りに大平川驛にて停車中檢疫を行ふ
二、四平街、八面城間の乘込檢疫を四平街、鄭家屯間に延長す
三、洮南、四平街及び通遼、鄭家屯間の三等客は別箱とす
四、打通線通遼、彰武間の旅客の取扱を中止す

故鈴木伍長の葬儀

赤峰攻撃に茂木部隊に屬し激戰不幸敵彈に斃れた大連出身騎兵伍長鈴木芳弘氏の葬儀は在鄕軍人大連第二分會、北部町區の合同葬に依り二十九日午後三時より市內常安寺に於て執行される

天氣予報 二十八日

西の風 晴一時曇
滿潮(午前四時十五分 午後四時十五分)
干潮(午前十一時〇五分 午後十時四十五分)
各地溫度(廿七日午前十一時)

大連	一九	奉天	一四
旅順	二〇	新京	一一
營口	一六	新義州	一六

今日の小洋相場(十時半) 金百圓につき 一二三圓一〇錢

夫人を嫌つて避けてゐた

被害者の同僚語る

廣い用度事務所のオフイス、その眞中にポツンと主のない被害者青柳君の机が薄らほこりぽく同僚等の机にはさまれてそのまゝ殘されてゐる、青柳貫と彫刻された吸取器が在りし日の故人を偲ぶ唯一の遺品、故青柳君の最後の手記に出てくる隣席の小〇君を訪ふと

この机が青柳君のです、こんな工合に机を並べてゐるので自然話をする樣になつたもので、一年位一緒の勤めをしてゐます、非常に快活な人で冗談をよく云ふ交際して氣のおけない人でした、この間も警察の人が來て色々聞いて行きましたが、餘り書き立てないで下さい、たゞあの兒玉夫人を非常に嫌つて避け樣避け樣としてゐるのは事實でした、たしか私も紹介して貰つた記憶があります、滅多に休んだ事のない男だつたので實は心配して居たところ、あゝした最期をとげた事を知つたのです、最後に非常に親孝行でよく母親をつれて奉天や熊岳城等に行くのを見掛けました

神兵隊事件で 株の思惑賣

資金關係に新しく登場した 松屋の前常務內藤氏

【東京特電二十六日發】神兵隊事件の取調べ進行につれて隊員の三名が目下背任事件で收容中の松屋常務內藤彦一氏の岩村秘書から多額の金をとつたこと判明、これは神兵隊事件を賣込んで內藤が株の思惑賣りをなしたものらしいと推定され更に連累者を探査中である

【東京二十七日發國通】神兵隊陰謀事件の資金關係に就ては警視廳に於て極力捜査中であつたがその眞相に觸れる事が出來なかつた、然るに過日來東京銀座松屋に拘る一疑獄事件として取調べを受けて居た同店前常務內藤彦一氏に關する背任に就き取調べ追及して居る中に同氏が神兵隊と連絡して居る事を發見したのみならず同事件に意外な人物が參加して居る事も判明した、その意外な人物とは故福田雅太郎大將の女婿陸軍豫備中佐安田鐵之助氏で先年豫備役に編入されたものであるが、同氏は神兵隊事件の背後で陰謀決行のため資金の提供その他凡ゆる黒幕として策動して居たのみならず內藤彦一氏と通じ何事かを策して居たものである、安田氏は目下何處へか逃走して居るので警視廳では極力調査中であるから今明日中に逮捕されるであらうが同氏の取調べに依つて更に事件が擴大して行くものと見られて居る

海軍機墜落

【大村二十七日發國通】午前九時頃大村海軍航空隊の攻撃機二機飛行訓練中內一機はガソリンに引火し西大村第二飛行場に眞逆に墜落し飛行機は燒失し搭乘の一等航空兵宮崎康一、佐藤保、桑原繁三名は即死した

善鬼惡鬼（211）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

二つの髑（一）

二つの眞黒な死骸を、舟に積み込んだ長吉は、一旦千住へ向けた舳先を、途中で向けかへて、綾瀬川を逆上つた。

尾久の渡し場へ舟を漕ぎよせると、すぐに藤助の小屋を訪れる。

丁度寢入り端だつたらしい。やゝ暫く、雨戸を叩いた長吉の前に、目をこすり〳〵現れたのは藤助爺ではなく、伜の金太郎であつた。

「ぢいさん、ゐるかい」

「居るにはゐるが、病氣だ」

「そいつは困つたなあ。餘程重いのかい」

「うん」

金太郎は返事をしぶつてゐる。病氣がかりそめの病氣でない事を知つて、長吉はいよ〳〵困つた。そんなところへ持込むのには、あまり縁起の好い代物ではないのだ。

「まア、入んなせえ、何を考へてゐるんだえ」

金太郎は、雨戸を一杯に引開けて、手狹な家を片付けなどした。

家の中は、藤助と金太郎と二人の床を展べたら、もう足も踏込めないほど狹い。

「どうしたんだ、長さん。つれでもあるのかい」

「うむ」

「おいらの床だけ片よせたら、二人や三人が坐ることは出來るだらう。むさくるしいのは云はずと知れた話だ。さあ入んなせえ」

金太郎はやさしい心掛の若者だつた。

「一人ぢやねえんだ」

「だからよ、おつれさんも一緒に――」

「そのつれがれ、一人ぢやねえといふことさ」

「何人でもかまはねえ。お入んなせえよ」

藤助が目をさましたらしい、中から嗄がれ聲で呼びかけた。わづかの間にめつきり衰へが見えてゐる。

「父さん、どうなすつたえ。お前さんが寢込むなんて、よく〳〵の事だ」

長吉はそつと入つて、藤助の枕もとをのぞき込んだ。

金太郎はその間に外へ出たが、誰もゐない。只、薄曇りの夜風がひやひやと川面を渡つて、岸の柳や蘆の葉が淋しくそよいでゐるばかりだつた。

「長さん、おつれさんはどこにゐなさるえ」

中を覗きこんで呼びかけると

「舟の上にゐるんだよ」と答へた。

「うむ、判つた、お前の連れといふのは、おいらに見當がついてゐらあ。どれ、舟まで行つておいらがお連れ申すとしよう」

金太郎は早合點をして渡し場の方へ飛び出した。

「待て〳〵金太、おいらも一緒に行くよ。父さん、しづかに寢て、おくんな。今戻つて來て、委細の話を聞いてもらうからな」

長吉も雨戸をしめて、金太郎を追かけた。丁度、渡場への下り口蘆の葉ごしにつないだ舟の舳だけが見えるあたりで、金太郎に追ついた長吉が

「金太、一寸待てよ」と云つた。

「うむ」

「まアこゝで一通りの話だけ聞いてくれ」

さういつて、草むらへどつしり腰をすゑた。

「何だな、そんなところに腰を下さなくても話なら舟の上だつて出來る事だ」

「まア聞けよ。おつれ申した人さいふのはな」

「おぎん樣だらう」

「さうぢやねえ」

「そんなら誰れだ。おら、お前がこつそりお連れしたんだから、てつきりさうだとばつかり思つてゐたのに、一體誰を連れて來たんだ」

「お前の親分さ」

「なに、鐵五郎親分か」

「さうよ、それからもう一人。これもやつぱりお前にや、親分すぢに當るかも知れねえ」

「何だか樣子がをかしいなア。早くわけをいひなせえよ」

「わけといふのはな。――お前の父さん、よつぽど惡いのかえ」

「うん、今度は死病になるかも知れねえよ」

「チヨツ、こいつあ一番困つた」

長吉はすつかり目ろみがはづれたらしい。手を拱いて考へ込んだ。その間に、金太郎が、舟の方へ下りて行つた。

醫師を招待し ナガナ試寫會

映樂館では十月三日からユニヴァーサル映畫「ナガナ」を上映するが、同映畫は邦人俳優森田幹が出演し故野口英世博士の殉職をとり入れた作品なので同映畫上映記念として大連醫師會員全部及び各醫院看護婦長約四百名を招待して封切に先立ち一日午後四時から同館で試寫會を開催する

觀世倶樂部月次會

觀世倶樂部では第八十五回月次會を來る二十九日午後七時から市内神明町の同倶樂部で開催、番組は三輪、通小町、野宮、柏崎、猩々奏上

うわさ話

男裝の麗人川島芳子さんがアジア社會教化團が製作する滿洲國建設秘史「男裝の革命姫」に金壁輝將軍として出演するらしく▲愈よ實現すれば松竹でオールトーキーとして撮影する豫定で計畫が進められてゐる▲秋のシーズンを賑はす洋畫陣が次から次へ傳へられるが映樂館の「ナガナ」に次いで▲日活館が十月に「男子戰はざるべからず」十一月に「ベル・ピロウ」上映と確定▲洋畫専門の常盤座はパ社超特作品「戰場よさらば」を擁して上映の好チャンスを狙つてゐる▲中央映畫館の柳さく子の實演「奴道成寺」の地方は快樂藝妓連と決まり今週のプロでメンバーを發表してゐる

柳さく子の實演〃奴道成寺〃

松竹蒲田のスター柳さく子が中川芳江、宏橋照子、高橋時子と共に實演團を組織し滿鮮各地を巡演すべく來る十月一日入港の香港丸で來連し大連では中央映畫館に二日から出演、新舞踊「奴道成寺」を快樂藝妓の總出演で實演する（寫眞は柳さく子）

外國爲替管理法發布
豫想外に内容嚴格と 關係業者は一齊に不服

關東州及滿鐵附屬地外國爲替管理規則は二十七日關東廳々報を以て發表せられた、同規則は本文二十四條、施行細則十九條よりなり頗る複雜を極め可成り難解を思はせるものがあるが、今その大要を概說すれば左の如くである

全文を通覽すると大體に於て第一條と第二條に於て思惑取引を禁止し、第三條以下に於て除外例若しくは緩和してゐるものとみてよい、內地の外國爲替管理法では冒頭第二條に於て思惑取引の禁止を强調してゐるが、當地の管理法では、關東長官の許可を受くるに非ざれば……することを得ずとその

内容 に於て思惑を禁止してゐるわけである、當地での最も問題となつてゐたのは錢鈔取引卽ち銀の賣買と無爲替輸出の二問題がどうなるかといふことであつた然るに無爲替輸出の方は第三條の除外例によつて自由となつてゐるから、貿易關係に於ては從來通りに行ふことが出來る次第で、何等の束縛を受けないわけである、他方錢鈔取引に於ては第二條第一項に於て邦貨を對價とする外國通貨(鈔票)の賣買は長官の許可を受くることになつてゐるが、第三條十項に於て「營業、事業、投資又は日常生活上の必要に基き滿洲國內に送金し、又は本令施行地內若くは滿洲國內に流通する銀系の外國通貨(鈔票)又は滿洲國通貨(鈔票)又は滿洲銀系通貨を以て表示する債權を取得し若くは處分するため必要なるとき」の除外例を設けて、その間多少の緩和を爲したとも見受けられる、然るに第十一條に於いて錢鈔取引人は毎日の賣買に關する明細書を三日內に提出することになつてゐるから、その手續きが甚だ厄介だと思ふ、要するに

管理 規則をみただけでは果して錢鈔取引がどの程度に緩和されるかは容易に判然としないしむしろ豫想されたよりも嚴格であるやうに思はれる、これについては關東廳當局の細部に亘る說明を聞く必要があるわけである

右に關しこれが影響と內容の批判につき當業者の意見を徵するに大要左の如し

實需取引まで 阻止することなきや
西正金支店支配人談

正金としては旣に大藏省令によつて爲替取引に關しては屆出でをやつてゐるが、今回關東州及び滿鐵附屬地の施行規則によつて關東廳にも屆出でねばならぬかどうかその點當局に伺つてみようと思つてゐる、地場銀行などは從來屆出でをやつてゐなかつたが、今後は爲替取引に對してはその必要が生ずる譯である、鈔票の賣買に關する規則は非常に嚴格である、業者の實需取引の外絕對に投機的な賣買は出來ないわけである、元來法令の主旨が非常時に際し圓が逃避するとか、圓價の變動が甚だしくては財政、貿易上國家的の損害を蒙る虞ありとして最初內地において施行され、當地と事情を異にするところから多少便法を設けて施行されたのであつて法の寬嚴はその運用の如何にもよるが、若し便法の裏をくゞつて賣買をやるとか、一人でも違法者を出すとかすると法の適用はます〳〵峻嚴となり、延いては純然たる實需取引まで窮屈にし商取引を阻害することになるから此際一般の戒心を要することゝ思ふ

法の修正を 請願の必要あり
古澤錢鈔信託專務談

法の內容は今まで取引所長や靑木管理部長の意見によつて解釋してゐたことゝ異つて、非常に嚴格であることに驚いてゐる、內地に施行されてゐる外國通貨又は外國爲替の思惑的賣買を絕對に禁止した第二條の條項は除かれてはゐるが當地方の分は第二條及第三條において明確に賣買の範圍を制限されてをる、これによれば特產商、輸出入業者、銀行、兩替店、油房又は事業投資其他日常生活上の必要に基く者の外は賣買出來ないことになり非常に窮屈なものになつてゐる、所謂一般マバラ筋の思惑的取引は全然出來ない譯であるが、市場として事實上その取引の圓滑を期す上からみると種々なる不便が生ずることが多いから法の修正を請願する必要が多々あらうと思つてゐる

其他當局から詳しく說明を聞き、又打合せもしたいと思つてゐる、日本人側は兎も角として法律觀念の薄い滿商側の納得するやう說明することは可なり骨が折れると思ふから一日も早く關東廳當局からの法令に關する具體的說明があることを希望してゐる、本日の市場は非常に平靜であるが、これは賣買双方共未だ條文の解釋がハッキリしないところから氣迷つてゐるためであらう

錢鈔業者には 致命的
東裕錢莊首藤定氏談

想像以上に嚴格なもので錢鈔取引人としては致命的な打擊を蒙るのみならず、大連の輸出入業者にとつても商取引を著しく阻害することにならう、取引人に對して屆出でを行はしむることは當然としても、一般客筋に對して許可主義をとる事は他の商品取引と異なり非常に敏速を要する性質のものであるだけに殆んど取引は出來ないことにならう、市場として全く死活問題であるから横山理財課長の詳しい說明を聞いた上で、當業者として對策を講じたいと考へてゐる一方證券取引の分は非常に寬大であり問題はないと思ふ

想像外に 嚴格だつた
赤塚錢鈔取引人組合長談

今條文をみて硏究中で未だハッキリ判らないが、想像したより以上に嚴格であることは事實である、取引人としては屆出での形式方法（下略）

棉花買入方を 我國に懇願
支那が資金化に窮して 外務當局は强硬な態度

日滿間の爲替取引 緩和令を公布
廿八日大藏省令にて

英印の不一致 漸・次・暴・露
會商の進展につれ

銀行集會所 會長等異動
串田、石井氏選任

大阪商船支店 幹部級總入替
吉植次席外主任級異動

新に

榮轉

麥粉市況 回復は未し
依然低落步調

新大豆出廻る
品質乾燥共良好

ボア氏病氣で 會商は停頓

印度關稅引上げ 一ケ月間延期
英政府から我方へ通告

錢鈔市場は 割合に平靜
管理法の解釋に氣迷ふ

北鮮經由 日滿連絡運賃 本年內に決定
當分は暫定的運賃を實施

全國貿易聯合會 設立計畫擡頭
東京滿蒙輸出組合が中心

滿洲では 百貨店尙早
細原高島屋重役來連

北鮮鐵連絡運賃
當分は兩者現率を加算 貨客共來月十五日から實施

本年の毛織物 二割高豫想

混保河豆 出廻り良好

安東流筏不況

櫻內氏離京歸連

市況(廿七日)
特産 奧地前賣り 大豆低落

豆
銀
株
錢鈔 鈔票弱保合
株式 五品保合
商品 麻袋不變 綿糸弱保合
上海爲替情報
市場電報(廿七日)

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部金五錢 一ケ月金一圓二十錢 郵稅金十五錢
廣告料 普通行金一圓三十錢 特別行金二圓六十錢 場所指定二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

選取り勝手の自由企業廿一種
滿洲投資に不干涉 陸軍眞意を表明す

【東京二十七日發國通】滿洲事變以來滿洲の經濟統制は日滿經濟を單一體に合理化融合し平戰兩時に於ける日滿兩國の安固を圖り併せて兩國の對外經濟力の擴充基礎を確立することを根本方針として進んで居るが世間往々にして之を誤解し滿洲の經濟建設はすべて軍の統制下にあらざれば出來得ざる如く思はれてゐる向も多いので陸軍では右に就き次の如く此間の事情を闡明し自由に企業し得る有望なる仕事二十一種のある事を明かにした、それに依れば

一、目下滿洲に於て統制を加へてゐる產業は大體
(イ)交通、通信
(ロ)國防上重要な工業
(ハ)採金
(ニ)電氣
(ホ)金融
(ヘ)公益產業
(ト)產業合理化の見地から特に統制を要する產業
の七種で具體的に說明すると統制下の產業は

統制下の產業

二、特殊銀行、彩票(或は割增金附債券)郵便、鐵道、電信電話航空、競馬、屠殺場、家畜市場國有林業、阿片、國有礦區の採金、鐵、石油、輕金屬原礦採取の二十三種となつて居り

特許事業

三、特許による事業は普通銀行、保險、地方鐵道、海運、狩獵、罌粟栽培、瓦斯、煙草、製鹽事業等の二十四種に分れ門戶開放、機會均等の主旨から外人の企業を許し又外國資本の流入を促し自由に企業し得る有望な事業の主なるものとしては大體左の二十一種が擧げられてゐる

自由企業し得るもの

一、自營に依る農牧業
二、一般漁業
三、農畜產物の加工
四、製材
五、水產物取引
六、畜產物取引
七、農林產物取引
八、パルプ及び製紙、製糖、製粉、釀造、食料品製造、油脂セメント、紡績、染色、皮革窯業、製藥、機械工業

尙ほ右の自由企業家には滿洲國政府並に關東廳、關東軍側でも出來る限りの便宜を與へる方針である

九年度の陸軍豫算
六億二千餘萬圓

【東京二十七日發國通】昭和九年度滿洲事變費として之に關聯する諸施設費は昨日午後二時大藏省に廻附されたが、內容左の如し(單位百萬)

滿洲事件費 一六〇
諸施設費 四〇
合計 二〇〇

右の見當にて七月末大藏省に廻附された陸軍豫算四億二千一百萬圓と合計せば六億二千三百萬圓で八年度豫算の四億四千八百萬圓に比せば一億七、八千萬圓增加してゐる譯である

軍令部々長親補

【東京二十七日發國通】新軍令部令は愈々來る十月一日より施行されることゝなつたので同日附で現軍令部長伏見元帥宮殿下に對し奉り改めて軍令部總長親補の御沙汰あらせられると同時に現軍令部參謀第一班長島田繁太郞少將は軍令部第一部長に、古賀峰一少將は軍令部第二部長に、津田靜枝少將は軍令部第三部長に夫々親補されることゝなつた

劉桂堂軍呼應せず
方吉兩軍孤立に陷る

【東京二十七日發國通】二十七日陸軍省着情報に依れば停戰協定區域たる懷柔に集結して居た方振武吉鴻昌軍は廿四日夜より順義方面に移動を開始し二十七日には停戰協定區域外たる順義に入城した爲め一切の討伐準備を完了して待機中だつた關東軍は討伐の必要がなくなつた一方獨石口に於て方吉兩軍と呼應しつゝあつた湯玉麟劉桂堂軍は廿七日に至るも行動を開始せず之が爲め方振武吉鴻昌の軍は全く孤立狀態に陷つた劉桂堂軍が方、吉兩軍に呼應せざりしは何應欽、劉桂堂等の間に劉桂堂を察哈爾剿匪司令に任命する密約が結ばれた事に依るものらしいといはれて居る

北平順義不通

【北平特電二十六日發】二十六日方振武軍の順義占領、湯玉麟軍の昌平を占領せるに對し何應欽は全然否認してゐるが北平、順義間のバスは方振武軍、便衣隊の活躍により不通となつた

方振武軍の行動 大した懸念なし
わが外務當局の見解

【東京廿七日國通】討蔣抗日を標榜せる方振武軍を中心とする吉鴻昌その他の雜軍を交へて北支における日支停戰區域內に侵入せるに對し、滿洲國側のみならず英米その他の各國も漸次事態を重視せんとする模樣となつたが、外務省は各方面から二十六日までに到達せる報告を綜合するに大體次の如く今後大した懸念なかるべしと爲してゐる

一、方振武今回の擧兵は舊東北軍と中央軍との間の純粹なる內部的問題だから日本軍とは何等關係なきものである
一、卽ち舊東北軍は改編後これに相當するだけの軍費の支給を受けざるため衣食に窮せる雜軍が軍費ほしさに妄動してゐるものである
一、從つて日本としては斯かる無賴の徒を相手として掛り合ふ事は甚だ迷惑とするところで、なるべく支那側の北支政務當局者が事態の紛糾せざる中に收拾されん事を希望するものである
一、勿論之が收拾策のためには相當纏つた軍費を要するので北支政權の代表者たる黃郛が目下上海、南京を奔走してゐるのも此等の事態を收拾のための準備を整へてゐるものと想像し得るので準備の出來上るまでは何應欽が實力で當面を切拔けるものと期待される
一、日本側としては日支停戰交涉の趣旨を嚴重に履行せんとしてゐるのみだから、なるべく事態の不擴大を望むが、雜軍と雖も我軍の立場を無視するが如き事あらば將來に惡例を殘さざるやう斷然たる相當手段を講ずるつもりだ

支那軍不可入

【上海特電二十六日發】北支事態について黃郛は二十六日朝有吉公使を訪ひ方、吉軍討伐のため中央軍の非武裝地帶進入を默許されたしと交涉したがわが公使はこれを峻拒した

停戰協定破棄 方振武の僭稱

【北平二十七日發國通】方振武は廣東西南派に對する通電中において停戰協定破棄の旨を聲明し、西南政務委員會はこれに對し方振武を西北軍總司令に任命の旨發表した

米の蘇聯承認期

【新京特電】アメリカ大使館より當地への入電によれば、アメリカのソ聯承認は國內一部の反對論を押し切り愈々具體化し通商條約などゝも全然別個に政治的解決を急いでゐるが、ルーズヴエルト大統領腹心者の洩らすところでは大體來年一月頃に決定した模樣であると

日蘇の間に禍機なし
北鐵問題は滿洲國當然の措置 日本苦笑・蘇聯を警醒

【東京二十七日發國通】滿洲國政府は北鐵革新のため蘇聯側に斷乎たる態度に出でつゝあるが蘇聯側もこれを以て日本政府の指示に基くものとし二十二日ユレネフ大使より廣田外相に對し抗議を提出すると共に英米側にも反日宣傳を行ひつゝあるので外務當局は二十七日列國の誤解一掃のため左の如く我が公正態度を表示した

一、北鐵の職制改革、內部肅正問題は支那政府時代からの懸案で滿洲國主權行爲である
一、帝國は滿洲國を使嗾したる事實なし
一、北鐵讓渡交涉は目下進行しつゝあり今回の滿洲國の措置とは關係なし
一、日蘇間には何等平和關係を危殆に導く事態ありと認め得ぬ北鐵改革問題の如きは蘇聯側が滿洲國側の公正なる要求を容認せば速かに解決し得べし

外交官試驗 合格の鮮人

【東京二十七日發國通】昨日發表された外交官試驗合格者十一名中張澈壽君といふ朝鮮人の秀才がある、同君は昨年東大法科卒業の二十六歲の靑年である、訪問の記者に對し

これで植民地の者でも外交官試驗に合格し得る事がハッキリとなつた譯で採用されたら大いに働きます

と謙遜しながら抱負を語つた

蘇聯軍隊を集結
國境頓に慌し 赤躍の嵐北東に吹く

【奉天電話】國情報によればソ聯當局ではイルクック以東の各縣に對し非常動員令を密令し目下國境方面に多數の軍隊を移動集結し萬一ソ聯從業員の身體に及ぶ場合は實力行使を避け得ない覺悟を定め意を密令した模樣である、一方ウラジオ方面では極東軍事委員會の作戰により多數の潛行隊を特派したるものらしく且つ間島方面琿春北方に遁竄し來る鮮人共產黨を支援しソウエート共和聯邦の地域を建設する援助を與へ國境方面の第一線警備隊としてゐる傾向あり事實鮮人共產黨の背後にはソウエート第三インターの指令が盛んに飛び交されてゐる狀態である、又ソ聯の極東軍備擴張に對する積極的施設が外部に漏洩することを防止するためゲ・ペ・ウの國境監視隊を增員し沿黑龍州から陸と海により滿洲國或は朝鮮に避難する鮮人ロシア人を監視し若し彼等が小舟により逃走した際は直に銃殺するなど最近特にその警戒ぶりは嚴重を極めてゐるが綏芬、羅津方面に時々小舟の儘生命を賭して逃亡し來り小舟を賣つて旅費を作り樂土の滿洲國に避難して來るといふ狀態である

北鐵問題で八ツ當り
血迷へる蘇聯

【ハルビン特電二十六日發】露都來電によれば滿洲國政府が北滿鐵路ソウエート聯邦代表の不法行爲に關聯し近く主權を發動せしめて何等かの決然たる處置に出でんとしてゐるとの報が傳へられたのに對しソウエート聯邦外務人民委員會次長兼極東部長ソコルニコフ氏は滿洲國の行動は事實上日本政府の指令に依るものだとの假定の下に二十一日モスクワ駐劄日本大使大田爲吉氏に對し左の要旨の警告的意志表示を爲した

滿洲國政府當局は日本政府の指示の下に東支鐵道管理局に幾多の變更を加へ、同鐵道ソ聯管理局長に屬する權利を甚だしく犯し、管理局長を滿洲國側補佐員の隷下に立たしめんとする意圖だとあり、同時に滿洲國當局は日本政府代表指示の下に東支鐵道に於けるソ側從業員に對し或る種の警察的方策を立案中だとの事である、ソ政府は余に對し政府を代表し條約により設定された東支鐵道の現存地位を侵犯する此種手段の實行は東京並に新京政府が有する國際上の義務と相容れず東支鐵道奪取の宥すべからざる企圖と見做さるべき事を警告するの權限を與へた、政府はかゝる侵犯行爲に對する直接責任が日本政府に歸屬するものと思惟し滿洲の事實上の主人たる日本政府こそ東支鐵道に關する一切の條約侵犯の意圖に對し直接責任を負ふべきである

一方ソ政府は駐日大使ユレーネフ氏に對し日本政府に同樣の意思表示を爲す樣訓令した

大演習參觀者

【チチハル二十七日發國通】中央部の內示により人選中の黑龍江省の今秋日本特別大演習參觀者は左の如く確定を見た
黑龍江警備司令官中將張文鑄、黑混成第四旅團長上校石蘭斌、黑龍江警備司令部秘書長張惠元、黑龍江情報處長劉格洸

大連消印の郵便物も重課
普通郵便料倍額徵收

【北平二十七日發國通】當地郵便局は南京郵政總局の訓令に基づき日本切手を貼附し大連郵便局の消印ある郵便物は附屬地內外を問はず關東州外の差出地名を記載せる郵便物同樣普通郵便料の倍額を徵收することゝなつた

常岡部隊凱旋

寫眞 上歡迎の市民に對して捧げ銃 中乘船開始 下テープの綾

譽れの常岡部隊
きのふ第三次凱旋 萬歲の嵐に送られて

赤い夕陽の滿洲との「左樣なら部隊」第三次凱旋兵〇〇〇名は常岡大佐に指揮され二十七日午後秋風に吹かれ、夕陽を浴び乍ら萬歲の怒濤と掛けられた七彩のテープのいろどりに映えて懷しい故國へ凱旋の途に就いた、午後四時凱旋部隊は掃き淸められた甲埠頭

廣場に 整列する、堂々たる編成ぶり、直に宮本少尉によつて捧げられた〇隊旗に捧げ銃の禮が行はれる、劍光が燦然と秋空に冷たく流れる終つて四つの渡橋から整然と御用船羽後丸に乘船する乘船完了と共に見送り市民の群は雪崩の如く所定の船側迄押寄せる、サツと投げ交される赤、白、靑、黃綠、テープ、テープ、テープの綾が美しい、船上の凱旋勇士岸壁の市民、見送る方も送られる方も歡喜感謝の絕頂に立つてゐる興奮が嵐の樣に感情爆發して

萬歲の 絕叫となる、國際バンドその他三つの樂隊が次々にマーチを演奏、行を旺んにすれば中學生が胸にしむ樣な太鼓の音で氣勢を添へる、いよいよ定刻出帆の最後のお別れがある、一瞬水を打つた樣な靜けさが流れる、日本人丈が知つてゐる感情だ、終つて小川市長の感激をこめた送辭がありこれに對し常岡大佐はメガホンを通じて感涙あふれる許りの答辭を述べ「腕を練つて再びお役に立つときを待つ」と力強い言葉を殘す、おお別れだ、喊聲は間斷なく打押せる怒濤、打ちふられる日の丸の旗は感激の嵐だ、かくて碇泊船舶の

汽笛に おくられて一路大分に向つた最後に目に殘つた美しいシーンは一中學生が元氣一杯校の中尾少佐に凱旋を祝ふのぼりを贈つたことであつた

建艦停止提議
英軍縮會議の不成功を懸念 米は最後的に一蹴

【ワシントン廿七日發國通】ルーズヴエルト大統領が國家產業復興法の一部としてロンドン海軍條約の限度まで建艦計畫を遂行するに決した結果日英米三大海軍國間に果然建艦競爭再燃の形勢を誘致するに至つたが二十六日に至り右情勢に關聯し英國政府が軍備縮小運動の前途に暗影を投ずるとの根據から建艦計畫の遂行停止方を要請し米國政府が右要請を一蹴した事實が判明するに至つた、卽ち英國政府は過般ルーズヴエルト大統領の特派使節ノーマン・デヴイス氏がロンドンを訪問した際左の如き見解を披瀝した

米國政府が二億三千八百萬弗の建艦計畫を完成する結果軍備縮小運動に對して惡影響を齎しはせぬかと考へられる

右要請に對し米國政府はその後目下進捗中の建艦計畫の如何なる部分も延期し得ない旨英國政府に宛て回答した、英國政府は右回答を以て米國政府の最終的見解としてこれ以上建艦計畫の停止を要請せざるに決したものと見られる

ソ聯貿易 出超を續く
制輸政策反映

ソ聯邦外國貿易人民委員部最近の發表によると、過去三年間入超を續けた同國對外貿易は今年に入つて出超に轉じたるも輸出入とも全面的に減少、就中輸入については政府の節限政策歷然たるものがあり、これによつて各國の對ソ輸出が一樣に不振な故を察知されるであらう、卽ち本年一月より七月に至る七ケ月間の同國外國貿易左の通りである(單位千留)

	本年七ケ月間
輸出	二六六、五一八
輸入	二二一、二三〇
合計	四八七、七四八

而して一九三〇年より一九三二年までに合計四億五千百八萬七千留入超であつたソ聯邦對外貿易は前記輸入制限政策によつて今年は一月以降出超を續け七月までにその額四千五百二十八萬八千留に達した、なほソ聯邦は貿易外勘定として外國船腹屆備賃、技術援助契約による外國技術者、勞働者賃銀、在外通商機關諸掛等年額五千萬圓內外の支拂勘定を有するので今後の出超が眞の受取勘定に屬する譯である

ソ綠茶自給策

本年の對露綠茶輸出高は九月十一日迄に駐日露國通商代表部が買付けたもの五百六十萬封度、金額にして約百十二萬圓で、露國が本年一月より七月までに輸入せる製茶總額は同國外國貿易省の發表によれば約四百萬金留で、平均年額約一千萬金留に達するのであるが、一方露本國に於ても高架索ジョルジヤに綠茶の栽培並に製茶事業の發展を計畫し、殊に一九三一年以來茶業地として發展し來つたマルトウリスキー管區のシユロームスキイ及びウシヤラトスキイ兩工場では昨年初めて製品を出し、本年は綠茶四萬キロを生產する計畫であるが、去る八月上旬には新たに三百三十ヘクタールの茶園を有するチチ・ヂユンスキイ茶コルホーズ附屬工場竣工を見、二番茶より製造を開始するなど着々綠茶の自給策實現に努めてゐることは注目に値する

政民地方大會

【東京特電二十七日發】久しく沈默を守り地方遊說すら行ふことの出來なかつた政、民兩黨が十月初め前後して地方大會を開くことゝなつたのは政界で注目されてゐるが、大會における宣言及び黨首の演說內容については時節柄頗る苦心し幹部間において愼重考究中であるが政友會は外交方針確立、國防充實日滿提携、產業の增進、行政機構の改革、社會不安の除去等について一通り黨の主張を並べる外、特に近來議會政治否認、獨裁政治謳歌の空氣が濃厚となれる折柄、立憲政治擁護、獨裁政治論の誤謬指摘に對し相當力強く黨の意思を表明するさ

家庭

みのりの秋を迎へ賑やかな市場風景

果物・お野菜類の値段調べ

「空高く馬肥ゆ」爽かな秋は食慾の増進に正比例して人の子たちも思ひ切りぐん〳〵伸び上ります、自然の恩惠を多分にうけて實を結んだ果物、お野菜類もこの秋のみのりの時季を迎へて、秋の市場をより賑やかにして呉れます、地物のお野菜、果物類を美味しく、又お安く戴けるのも滿洲だけに大して長い期間ではなく、せい〴〵十月一ぱいでせう、で今出盛りの滿洲のお野菜其他渡來物の珍しい果物類の狀態、お値段を大連中央卸賣市場の川俣氏に伺ひませう

地物

お野菜で出盛つてゐるものは白菜、大根、ホウレン草甘藷、カブ、インゲン、長豆位でせう、内地ものでは白芋、ギンナン、白ゑび芋、橙、くわゐ、蓮芋、蕃唐辛子、木ノ芽、根芋、ワサビ百合根、新生姜、柚子、みようがさいつた新しいものが、そろ〳〵入荷して居ます、松茸は朝鮮ものが大連市場を現在のところ獨占して居る狀態です、お値段は白菜一貫目六、七錢、大根一本五、六厘ホウレン草一貫目廿五、六錢（一把六厘位）甘藷一貫目八錢、カブ一把六厘、インゲン一貫目五錢、長豆一貫目十五錢―十八錢

内地

もの、ギンナン一貫目一圓から一圓四十錢、白ゑび芋は未だ初荷着の狀態ですが、これも入船毎に多くなつて來ますからずつとお安く手に入りませう、橙一錢―二錢、くわゐ一貫目二圓五十錢、蓮芋一錢―二錢、百合根一箱（石油箱）數日前五圓五十錢したのが現在では二圓―三圓新生姜一貫目九十錢、柚子一ケ一錢―一錢五厘、四五日前まで二圓内外してゐた朝鮮松茸も今では百匁七、八十錢、粒選で一圓―一圓二十錢位に値下りして來ました、さすがに

果物

の王國だけに、臺灣からは人氣物の柿さ珍しい蜜柑、ザボンが既に渡來しました、栗は朝鮮栗を先頭に丹波栗も出ましたが未だ天津栗は入荷してゐません お値段は柿四斗樽で四圓から六圓一ケ三錢から四錢位、内地の木れり、富裕柿、甘柿などもそろ〳〵入荷される筈で、入荷すればお値段も安くなり三錢位になりませう蜜柑は未だ味が眞物でなく大量入つてゐませんが來月中旬頃にもなりますさ味も相當よくなるでせうザボンはバナ、籠一籠三圓―四圓、栗は未だ朝鮮ものが主で一貫目五十錢、丹波栗七、八錢、天津栗はまあ出初め五六十錢位でせう

以上

は大連の卸賣値で、小賣値は品物の種類によつて野菜十割、松茸、果物五割さいつた具合に高くなるわけです

土用干しによい時期です

土用中の土用干が無意味だといふ事は最早誰方も御存知の事です、空中に飛び散つてゐる小虫等がまつたく影をひそめるこれからが所謂土用干しの最もよい時期です

簞笥の虫を防ぐ法

桐の簞笥は決して蟲がつかないものとされてゐますが時節柄

總桐ばかり

が使用されてゐるわけでもありませんから桐の簞笥にも蟲が出るさいふ事もあり得ます、又桐材は他に濕氣を吸收して保存品をいためぬ性質をも持つてゐますが時々完全な乾燥が出來なかつた爲め生の時に植ゑつけられてゐた蟲卵が殘つてゐたり又生の材料を使用すれば後から蟲か侵入するさいふ場合もよくあります、土用干で、衣類はよく乾燥させながら簞笥の抽斗はもさのまゝの上に又衣服をしまひこんだりすることは、凡そ意味ない事です

簞笥の抽斗

も衣類さ同樣に日に乾して、よく風をあてゝ下さい、そして底に樟腦さか、ナフタリンさかを入れます、又菖蒲の葉を乾燥させて二寸位の長さに切り五、六本を一束さしてくり、二、三束づつ簞笥の底へ入れておくのも防蟲の効果があります若しすでに蟲がついてしまつたならば、その穴に第二カクロール水銀を水に溶して注入し、又その近所にハケで塗れば退治が出來ますこれは無色の溶液ですから、たさひ簞笥の表面に塗つても分らないから便利です、そのほか

蟲害を蒙つ

た簞笥類は一時の蟲は治まつても、またそのうちに發生する事が屢々ありますから、改めてよく〳〵乾燥をさせなければなりません

目新しい古風な南蠻風

新しいコートとお部屋羽織　三越の衣裳展覽會

大連三越で開かれた秋の尖端を行く衣裳展覽會を覗いて見ませう、流行に引ずられてゐた時代も早や過ぎて今では各自の趣味に從つて好みの色調、模樣などが選擇され充分個性を發揮する時代になりました、殊に高級品になりますさその傾向が強く見えます、從つて柄合、色調に一派の流れが割合になく、思ひ切つた大柄がある一方に又地味な柄物があるさいつた具合な調子を辿つてゐます然しさうした思ひ切つた大柄も古典的な落つきのある澁色の色調によつて十二分に秋に相應しい氣分を發揮してゐます、特に目を引く目新らしいものさしては古風な南蠻風が帶其他高級な訪問着などに巾を利かせてゐる點でせう、大衆向きの色調の流れさしては今年は白茶系でせう、冬物向も總體に明るい澁系統になつて鼠系統は影薄くなつて來ました、地風さしては絞應用のものが全然勢力を握つて來た感があります、寫眞は御部屋羽織さ變りコートです、コートによつて隱された御婦人の麗しい半衿、帶の生命を生かすために考案された變りコートで下着を生かすために脇を縫ひ明けてある點もこのコートの持つ特徴です、地色は茶で綠は臙脂の總しぼりになつてゐます（四十六圓）御部屋羽織無雙になつてゐて御衣裳によつて裏表が自由に羽織られ陣羽織式になつたものです、四十七圓五十錢

盲腸を手術した跡が痛む

【問】今年十七歳の男子です、去年の八月に盲腸を手術いたしたのでございますが、最近運動をいたしますさ手術した腹部が痛み出すのです、大して苦痛はないのですがどんな原因で痛むので御座いませうか？治療法を御教示願ひます（R・M生）

心配御無用、だが一度診て貰ふ事

【答】手術後の瘢痕は通常幾分引きつるものですから餘り心配する程の物でもありませんが、まゝ瘢痕部に脫腸を起す場合がありますから診斷を受ける必要があるさ思ひます（三浦生）

赤坊が俯伏せに寝て困る

【問】本年正月生れの乳兒ですが一週間前頃から俯伏せに寝て夜中幾度直して寝せても矢張り俯伏せになります、何か病氣でもあるのぢやないでせうか、その他はどこにも異狀ありませんが、何んさか直す工夫はないものでせうかお教示下さいませ（惱める母）

一度醫師に檢便して貰ひなさい

【答】小兒に關はらず大人でも一般に弱い者は俯伏せに寝るものです、消化器や腸が惡く又寄生蟲が居る場合は俯伏して寝勝ちになります、腸に異常なく其他も普通でしたら心配ありません、俯伏してゐる場合は直して寝せてやります、相當生長してゐる幼兒でしたら醫師に檢便して貰ひ蟲卵の有無によつて二月に一回位蟲下しをやる必要もありますが未だ乳兒でありますから身體に別に異狀がなければ心配ないさ思ひます（金子甚藏）

家庭のメモ

無双の滋養劑

これから出來る葡萄の新鮮な實を選びまして器の中へ汁を押し出し、これを更に目の細かい布で他の器へしぼり出します、このしぼり汁一合に對して鷄卵の黃味一個、牛乳約七勺、はちみつ茶匙三杯を加へてよくかきまぜます、この液は長年の實驗上實に無双の滋養强壯劑です、主さして神經衰弱、肋膜患者、消化器病者及び姙産婦によろしく又高熱の重病者に用ひて特効があります、なほ健康者が日々持藥に致しますさ一層一層の精力がつきます。

わたしの結婚觀（八）

大連にはゐないわ

社交的で洗練された男の方

遼東ホテル　宮森光子さん

八……◇……旅愁さ疲勞を感じ乍らはいつて來る旅人に優しい微笑みを投かけ乍ら朗かに遼東ホテル玄關御勤務の宮森光子さん（二三）にお話しを聞くべく出掛けるさ見晴らしのいゝ三階の一室に導かれる。

現れた光子さん、さすがに人の出入りのはげしい玄關で働いてゐらつしやるだけ社交的に洗練されてゐる。しつくり體にあつた洋裝、化粧氣のない麗貌、近代的な感覺を受ける、神明高女卒。

「ホテルの玄關に働いてゐらつしやるさ流行なんか特に氣をつけないさいけないでせう」

「エ、勿論知つておかないさ困るから研究してゐます」

「はいつて來た客で人柄がわかりますか」

「えゝたいていわかります」

「隨分あやしいのも來るこさあるでせう」

「でもそんな方に限つて決して二人揃つて來ませんわ」

……◇……

「このホテルなんかに泊る人だつたらダンスなんかにさそふ人もあるでせうね」

「私、父がやかましいからダンスはしませんがお客さんは玄關では仲々いんぎんですよ」

「ホテルの人なんか社交的だと思ふが」

「性質にもよりませうが併し話しなんか相當洗練されて上手になります」

「公休日には、そうね、私、運動がさても好きなの、此頃テニスやつてゐるわ、映畫もよく〳〵のよ」

「父の仕事の關係で新京、奉天にも住んだわ、大連よりは新京の方がずつさいゝわ」

……◇……

「新京でのローマンス聞かしてくれませんか」

「アラ……」

「一體光子さん、どんな男の人好き」

「社交的で洗練された人」

「どうです大連には」

「大連にはゐない」

「大連には、さいふ以上さては新京にゐるのですな」

「アラ……ゐないわ、ゐないわ、本當よ」

「男の人つて實際蟲がいゝわ」

「貴下の彼氏はどうです」

「いやだわア……そんなこさ御返しない方がいゝでせう……ホホ」

なか〳〵話しの愉快に出來る人です。近代的明朗性を持つた、そしてかうしたはつきりした人は羨ましいさ思ひました。

……◇……

「私達同窓生が五人よつて時々色々さ話し合ふのですよ」

「それやあ面白いでせうね、女の人が集まるさ一體どんな話しをするのです」

「相當男性に就いてなど突つ込んだ話をしますわ、それに結婚した人もありますから」

「さうして話し合ひながら研究するさ却々男性の操縱が上手になるでせう」

「あらあ……そんなこさないわ」

「どうです、男女の交際について は」

「さうね。どし〳〵すればいゝさ思ふわ、女の人も男の人ももつさお互を認識し合ふ必要あるわ」

全く光子さんの仰しやる通り兎角自分をかくしたがる人達の多い時記者は光子さんのはつきりした言葉に大いに共鳴しました。うれしくなりました。

……◇……

「ところでどうです、光子さん一つ結婚に就いて」

「それはこの次までおあづけ」

「さては新京の……」

「あら、あら、そんなこさいふものぢやなくつてよ」

成程、これは記者も野暮でした、すつかり光子さんにたしなめられて了ひました。（寫眞は朗らかな宮森光子さん）

家庭顧問

臍から粘液が出て困る

【問】本年十七歳の男ですが幼少の頃から臍がいぢくる癖があつた爲今では大きく緩んで臍が斜り人のヘソの様にしまつてゐません、時に臭いメヤニの様な粘液が出ます、このまゝ風呂などへ入つても構はないものでせうか、危險な事などはありませんでせうか、大へん見苦しく困つてゐます、元通りにする方法はありませんでせうか（失名氏）

その儘放任して置いて關はぬ

【答】其儘放任しておいて差支へありません、惡臭を放つ分泌物が出る時は「オキシフル」を綿につけて拭き、乾燥した後「デルマトール」を撒布したら直ぐに治ります、元通りに治すには整形手術をせねばなりません。（辻慶太郎）

心淋しき人を歌ふ

前島いづみ

語らふに足らむ人ぞと希ひて君はひたすらもだす君かも

何ものも信ぜずけりと其の淋し君が心を宣す君かも

自らを厚き岩戸に閉しつゝ我れ友無しともらす君かも

詩を嘉す君にしありと吾はもひしさは想ひてし君は君かも

君一つ何樂しむよ他事乍ら書を歌をも厭ふ君かも

本社特選　新棋戰（其五）

平手　先四段△市川一郎　四段▲加藤富久

【圖は三四同飛迄の局面】

△市川氏持駒銀桂歩四ツ

▲四三銀　△三六飛
▲四四桂　△二六飛
▲三六歩　△四五桂
▲三七歩成　△三三桂成
▲同飛　△三四歩
▲同飛　△三五歩

累計八十一手

土居八段講評

加藤君の三七歩成は一見輕手の如く見ゆるも、之れでは攻めが緩かない、四五桂、同銀、三七歩成と指し此の成歩を利用する方が優る、續いて敵の三四歩打に對し同銀と指して は以下飛車換へを挑んでも成歩の働き薄く、之れでは攻勢を採るこさが出來ない、☖同銀、三五歩、三一飛、同銀、三六と、三四歩、三一飛、二九飛なら三五と、と指す方が面白い。

萩原七段解說

加藤氏の四三銀は敵の四三銀打ち防ぐもので次の四四桂も矢張り敵の三四歩打を防ぐ先手である、次に三七歩成は敵が同銀なら四五桂でよい、市川氏の三三桂成は當然の應手で次に三四歩さ打つて先手に三五歩さ敵の飛車先を留め敵の三七歩成を無効に終らさんとするものである。

滿日各地版

秋風吹く橘山にて 壯烈な白兵戰
州外學校青訓生徒聯合の下に 展開された野外演習

【鞍山】今秋の州外學校青訓生徒聯合野外演習は二十六日から遼陽鞍山間地區に於て開始された、參加者は中學生四、五學年約八百名、醫大豫科生約二百名、青訓三、四年生約三百名、合計約一千三百名及奉天、鞍山兩守備隊、在鄕軍人若干名にして南北兩軍に分れ、この兩軍は次の如き想定に基き北軍大隊長池田大佐の率ゆる安中、新商、醫大豫科、青訓の四個中隊及奉天守備隊の機關銃隊、野砲兵隊若干は午前九時遼陽を出發して首山に向ひ南軍大隊長、鮫島中佐の率ゆる奉中、鞍中、撫中、青訓生の四ケ中隊及鞍山守備隊の機關銃隊、野砲兵隊若干は同時刻鞍山の北方立山を出發北進し同十一時頃兩軍は日露戰役の橘中佐で有名なる首山橘山に於て會戰約一時間に亘り壯烈なる發火演習や白兵戰を演じ正午休戰ラッパを合圖に休戰となり一同々山に於て中食、これより先き鞍山にあつた演習統監中西地方部長以下菅野石川少佐、有賀學務課長、秋山、村上視學、池田、吉田青訓係主任等統監部一行は會戰前に橘山に先行觀戰後鞍山守備隊長羽山少佐より橘山附近に關する戰史講話あり小憩の後午後三時南軍鞍山に向けて退却を開始すれば北軍は之を追擊し同夜南軍は鞍山附近北軍は立山驛附近村落に露營の一夜を明した、かくて同夜も互に徹宵斥候戰を交へ翌二十七日午前四時となりて兩軍再び本格的行動を開始鞍山北端の八掛溝附近に於て又も壯烈なる挪崎戰を行ひ無事演習を終り同十時迄に全軍鞍山守備隊練兵場に集合戰鬪講評、統監の訓示あり分列式を以て演習の幕を閉ぢた

兩軍の想定

北軍想定

一、大石橋方面より前進する敵を擊攘する任務を有す在奉天混成旅團は九月二十六日鞍山站に向ひ前進する爲奉天遼陽間鐵道輸送中なり

二、首山堡附近を占領し旅團の遼陽附近に於ける集結を掩護し且爾後の進出を容易ならしむべき任務を有する先遣隊（步兵第一聯隊長の指揮する步兵一大隊（第四中隊及機關銃一小隊缺））は九月二十六日朝遼陽下車午前九時其先頭を以て遼陽西南端を出發す

三、同時迄に先遣隊長の知り得たる情況左の如し

1、飛行機の通報に依れば步兵約一大隊砲四門の敵は本日午前七時鞍山站出發遼陽――海城道を北進中なり

2、又砲兵を有する兵力未詳の敵の一縱隊は本日午前八時大石橋出發北進中なり

3、我混成旅團の主力は本二十六日午前九時以後逐次奉天驛

制令 一、南滿洲鐵道遼陽以南は破壞せられあるものとして使用するを得ず且つその線路に沿うて通過すべからざる障碍物あるものと假想し斥候と雖絕對に鐵道線路を通過すべからず

二、斥候は午前九時三十分より出發せしむることを得

南軍想定

一、奉天占領の任務を有する南軍混成旅團は九月二十六日朝大石橋出發大石橋――遼陽道を北進中なり

二、遼陽附近に前進し敵の鐵道輸送を妨害し已むを得ざるも首山堡附近を占領し旅團の進出を容易ならしむべき任務を有する先遣隊（步兵第一聯隊第一大隊長の指揮する步兵一大隊、野砲兵一中隊）は九月二十六日午前十時其先頭を以て沙河南端三叉路に達す

三、同時迄に先遣隊長の知り得たる情況左の如し

1、飛行機の通報によれば敵の步兵一縱隊（約四百）本朝遼陽に下車し午前九時その先頭を以て遼陽西南端出發南進せり

2、又兵力未詳の敵の步砲兵は本日午前九時奉天驛に集合しあり

出發鐵道輸送にて遼陽に下車南進する豫定なり

制令 一、南滿洲鐵道遼陽以南は破壞せられあるものとして使用するを得ず且其線路に沿うて通過すべからざる障碍物あるものとして斥候と雖も絕對に鐵道線路を通過すべからず

二、斥候は午前八時四十分より出發せしむることを得

秋晴れに轟く銃聲

橘山附近の學生青訓聯合演習（上）橘山上の統監部（下）同附近南軍の機關銃隊

奉天强盜團一味 滿人二名を逮捕
近く根こそぎ逮捕か

【奉天】奉天附近に出沒する兇惡なる强盜團に關しては奉天署に於て不眠不休で捜査中であるが二十五日夜南市場に潛伏してゐた二名の滿人を檢擧し目下嚴重取調中であるが彼等は去る十七日午後十時奉天鐵西細菌研究所西側道路上に於て洋車で歸宅中の毛織會社員古矢弘一（三六）を襲ひ現金十五圓その他クロム時計を强奪逃走せる三名組辻强盜、又同夜十一時半頃滿陽紡績分屯奉天窯業會社宿舍に侵入し目貝外五名の邦人から多額の金品を强奪逃走せる七名組强盜の有力な犯人らしく奉天署ではこれに力を得て更に各方面に刑事隊を派し犯人檢擧に努めてゐるので近くこれ等の强盜團も根こそぎに逮捕されるであらう

二年前を顧みて（九）
實戰參加勇士の手記

筒井主計正

一、略

二、事變前の狀況

排日侮日の氣分が漸次尖銳化す……何さか[illegible]夜間演習をするさ「日本軍は夜間演習をなすべからず」散兵壕を掘れば「豫め支那側の承認を受けよ」又附屬地以外の地に演習行軍をすれば「十日前に報告すべし」等さ何かさ文句が起る、其都度支那膺懲すべしさ慨歎するも由來常に隱忍を爲し來つた當時支那人は豪語して曰く「日本軍は日露戰役後實戰の經驗なく、之れに比し我支那軍は常に彈雨の間を馳驅し居れば兩者戈を交へんか我に十二分の勝算あり」さ

我在留同胞の間にも彼等侮日の態度を憤慨する者自然化し來り、[illegible]

三、集合命令

九月十八日夜は或宴會歸りにて微醉し居りたり妻は病氣のため入院、子供は他に預け全く獨身生活の氣輕さに自分で床をのべ寢に就かんさしたるに玄關のベルはけたゝましく鳴り響いたトン／＼／＼

當番「主計殿々々非常呼集であります、大隊長も本部に來て居られます」

主計「何だ、何事だつ」さ寢呆け面を緊張させた

當番「第三中隊は支那兵さ交戰して北大營を包擊して居ります」

主計「よし、來た」

さ直ちに用意の軍刀、拳銃を手に神佛に一禮して飛び出し、本部に馳せ參じた

思へば妻は折惡く病臥すさ雖も自らは微恙だに無く、幸ひに呼集に應じ得られたるは何たる幸福ぞや、兵馬倥偬の間弓矢持つ身の更に必ず心身を鍛練すべきを痛感した、十八日午後十一時、主計は特務機關に前後三回傳令に行つた、その時入口には「出入禁止」の赤紙が貼つてあった

入口に新聞記者が居て自分が行くさ[illegible]

四、新國、增子兩勇士の最後

滿洲事變のトップを切つた北大營の戰鬪も既に二年前の昔となつた、新國、增子の兩勇士が九月十八日午後十一時頃、意氣天を衝くの概を以て營門を出た有樣が今尙ほ目前に髣髴さして居る、銃聲砲聲の殷々たるを他所に聞き一意北大營に向ひ、いざや今より度々重なる侮日の怨みを晴らさんさ、死を鴻毛の輕きに比し猛烈果敢、敵彈に突入した二勇士の心情こそ實に神か人かさ疑はれた。

雨や霰さ飛來する彈丸に可惜此の二勇士は敵彈を受けた、而もその彈は國際法上嚴禁する所謂ダムダム彈なり、何條以てたまるべき、百方手を盡したが効無く、雄々しくも死の直前

陛下の萬歲を三唱し奉り遂に安らかに護國の鬼さ化した、嗚呼、思へば悲壯の極なるかな、一言の私事を語らず、一意君國の爲に殉す、昨日迄は共に語らひ共に笑つた勇士は、今日は既に問へども答へず靜かに／＼眠つてしまつた

各地の地方委員選擧戰
俄然混戰狀態現出
雲行き一變した鞍山

【鞍山】鞍山の地委員逐鹿戰は屢の如く決戰の日を目睫に控へながら頗る氣乘薄で氣合拔けの觀があつたが、二十五日に至り擁れて滿を持してゐた渡邊直八氏（奉天每日支局長）が突如第三區公認候補さして名乘をあげ又第二區現委員石川義助氏（開業醫師）も同區公認さして再出馬することに決定又滿鐵の五星會から鞍山驛長上田竹桐氏が衆望をもだし難く立候補を宣するに及び、こゝもさ無風帶の形にあつた當地逐鹿戰も既立候補の製鋼所側六氏並に滿人側、土建界側各一名計八名に右三名を加へて忽ち定員一名の超過さなり俄に混戰狀態に陷つた、而して十一名の各候補者何れも轡を並べて陣頭に進め陰に陽に猛烈なる地盤の爭奪を演じつゝあり、更に呼び聲高き井ノ下大連新聞支局長、會社團推薦の某氏等の出馬を見るさきは全局面に重大なる變化を來すべくかくてはこれまで堅城鐵壁を誇つてゐた製鋼所側も油斷ならず戰ひは期日の切迫につれいよ／＼白熱化するであらう

石川氏立候補を斷念

【鞍山】鞍山の地議戰は既報の如く十名の定員に對して遂に二名の超過を見るに及び俄然全局面轉回して俄に混戰狀態に陷り今や戶別訪問の叩頭戰が隨所に演ぜられ白熱化するに至つたが、折柄二十六日朝に至り既に第二區公認候補さして立候補してゐた現委員石川義助氏は如何なる心境の變化か俄に立候補斷念を聲明するに至つたので、こゝもさ超過一名さいふ形さなつたが、この反面かれて拔打ちの功に出でんさ暗躍中であつた池尻半太郎氏（現）の立候補いよいよ確實性を加へ來つたので局面は依然樂觀を許されぬ狀勢にあるが他面又會社團からは立候補せぬ模樣であるので目下の處右十二名の決戰ではないかさ目されてゐる

撫順の立候補 大體二十名位

【撫順】第七區からの立候補は坂本氏か島末氏かさ注目されてゐたが二十五日に至り、坂本吉三郎氏旗色を鮮明にし第七區町內會推薦で決然立候補を宣した、池島周藏氏も一兩日中に立候補を聲明する模樣で、撫順の地委選の立候補者もやつさの定員の十七名に達したなほ市中側に機を窺つてゐる二三氏があり、今期の立候補者は大體二十名位さ見られてゐる

復讐に押掛けて 苦力の亂鬪
製鋼所敷地の騷ぎ

【鞍山】二十四日午後四時頃昭和製鋼所ノロ捨場で苦力百餘名が大亂鬪を演じてゐるさの急報に同所小坂淸水巡査は時を移さず現場に急行立騷ぐ苦力等を取鎭めて取調べたところ亂鬪の原因は目下製鋼所敷地々均し及堤防工事に從事中の同組第五組苦力二名がノロを構外に搬出して空車で歸るところに同第四組及第五組の土砂を滿載せるノロ箱二輛が下り勾配を利用して構內より疾走し來つて續け樣に前記第五組の空車に衝突苦力姜德芝（二五）はこれがため右膝關節骨折の重傷を負ふに至つたゝめ被害者側の第五組苦力約五十名は激昂の上一同仕事を放棄して第三、第四組の仕事場に押かけ關係者各二名を拉去して鐵線を以つて右四名を附近の立木に縛りつけ毆る蹴る等亂暴を働き復讐したものさ判明したが別に日頃から感情の衝突があつたわけでなく單なる誤解の喧嘩であつたさ倘姜は全治六ケ月の重傷、復讐さ成敗をうけてゐた苦力四名は輕傷ではあるが何れも全治數日を要するさ

遊覽客で 金州の賑ひ

【金州】愈々文字通りの天高肥馬の好季節さなつたので二十三日の秋季皇靈祭も郊外行樂には絕好の小春日和に惠まれた更に日曜を次に控へて居るのさで大小團體その他遊覽客に大公司連を合し汽車さバスで約七百名に上つた、團體の主なるものはツーリストビューローの約百名三井物產の五十名で近きは南山戰蹟三崎山より大和尙山鷺水寺等思ひ／＼に一日を金州郊外に遊び名物のリンゴ籠をさげて歸つた

大谷紝子裏方

【營口】前夜來の風雨も止んで一天晴渡る秋空に豫定の如く大谷紝子裏方一行は二十六日午前九時海邊警察隊の小蒸汽にて河北に上陸過ぎし古へ姉君壽子裏方が光瑞師さ同道この河北を經て營口に上陸したゆかりの地さて暫しの間昔を偲びて再び海邊隊に入り同隊の自動車にて十一時過ぎ淸林館に入り晝食を取り訪問者世話方有志に別れの言葉あり十二時十分發列車にて奉天に向け出發、驛には官民多數の見送りがあつた

店先から盗む

【奉天】二十五日午後五時頃市內春日町三番地中谷時計店に學生風の一滿人が來り金時計を購入する樣子を見せて間もなく立去つたが暫くしてプラチナ側五型十五寶石入腕時計一個價格四十三圓、十八金リスト時計バンド一本三十九圓が紛失してゐるのに氣付き直に店員が追跡の上千代田公園前で逮捕し本署につき出した、こ奴は撫順生れ新京大同學院師範部學生吳沼邦（一八）さ自稱し前記時計、バンドを所持してゐた外十八金ホワイトゴールド指輪一個價格十二圓八十錢、十八金指輪二個價格十二圓八十錢を所持してゐたので嚴重取調べの結果中谷時計店で窃取したことを自白したが窃盜の常習犯であるさ

ゴミ中から 百圓札
苦力の驚ろき

【撫順】ゴミの中から百圓札　二十四日夕刻、滿人掃除人夫が撫順永安臺塵芥捨場で掃除中搔き出されたゴミの中に紙幣らしいものを見つけ拾つて見るさまさに百圓札！ビックリしてすぐさま人夫頭の趙萬有を通じ警察署へ屆け出た、この正直な滿人々夫に係官は非常に感心してゐた

三菱奉天出張所

【奉天】三菱商事奉天出張所では奉天に於ける綿糸布市場の發展に鑑み綿糸布の取扱方につき調査中であつたが取敢ず嚢頭から綿布のみの取扱を開始した

ハンマー飛び 職人死亡す

【奉天】市內紅梅町三十三番地奉天鐵工所職人滿人魏某が二十五日作業中ハンマーの柄が折れて一貫目の重いハンマーが前に飛び側にゐた職人周建齋（三）の右横腹に當り人事不省に陷つたので最寄醫師により加療中內出血のため二十六日朝八時頃遂に死亡した

旅順放送

▲嚢て建築中の淨土宗明照寺境內乃木堂は這次全く竣工したので來る三十日午後一時から京都總本山知恩院特派布敎師五島法住僧正を迎へ盛大なる落成慶讃法要を舉行する事さなり當日は午後二時半同七時から說敎、接待（御供物、記念福引）五島僧正の講演會が行はれなほ一時から乃木町二丁目丸山茶舖宅から寺迄天童稚兒四十餘名の練供養が舉行される、因に今回竣工された乃木堂內に乃木文庫を設置し各方面篤志家よりの寄贈品は大に待望する由

▲嚢に旅順署から熱河へ派遣を命ぜられた德田警部補から二十六日當支局宛の第一信が到着したがそれに依るさ氏は赤峰、承德、平泉、凌源、朝陽、北票の熱河六警察署警務部主務さして未開地の警察開拓、邦人保護、滿洲國指導に任じ居る由にてその一節に曰く「目下當地は平泉、凌源等の所謂南熱河線より平穩にて辻强盜の如きものさへ全く無く市民も嬉々さ活動し居り自ら一種の親しみを覺え申候赤峰は所謂赤峰山（一名紅山）の麓に位し滿人約三萬人邦人は僅か二百五十名（軍隊〇〇名）居留し料理店九、食堂、カフエー五、旅館一、醫師一其他の營業を爲しつゝあるが朝陽より一旬一回（十數臺のトラック縱列）の奉山バスが運行を開始し又本月末〇軍の集結を了れば〇〇〇〇〇の〇〇〇さなり從つて〇數も增加し益々邦人進展の機運に導くものさ思考され候、貴紙を通し市民各位へ宜敷」

鞍山愛善會支部

【鞍山】皇道大本敎人類愛善會鞍山支部の發會式は二十四日八卦溝在神公所禮拜堂に於て擧行されたが、奉天より同會司領井上留五郞氏大連より宣傳使諸井義勝氏、遼陽支部長陳楠山氏等參會、在鞍在神五十餘名の出席あり趙農商聯合會副會長の開會挨拶に次いで井上司領より支部設置の主旨等につき講述節日約五十名の入會者があつた、倘大本敎は最近在神さ提携し各地に支部を開設する等運動頗る活潑なるものあり日滿人の宗敎的融和の見地から注目されてゐる

送炭打合會議

【撫順】滿炭期を控へ撫順炭礦では二十五日午後一時より會議室に於て十月の送炭その他に就し打合せ會議を開いた、炭礦側より兒玉[illegible]運輸事務所長、平瀨運輸主任、大部受渡事務所長、鈴木受渡事務主任、並に本社側より河村送炭主任が出席したが、大體十月中の送炭高は七十萬噸の模樣である

中部日本 産業大觀

産業縣「大愛知」の 養鶏業・園藝・畜産加工品・副業に就いて

愛知縣は本州中部地方の主要大縣であつて、尾張、三河の二國より成り、木曾、矢作、豐川の三大川に依つて形成さるゝ大平野で産業縣大愛知の盛名を擅まゝにして居る由來本縣の農業は多種多樣を極め農産の豐富なる點に於て、又農業技術、農業經營の進歩せる點に於て全國に冠絶する處であるが茲に於ては特に本縣の誇りとする養鶏業、園藝、畜産加工業、農家副業等に就いて概説を試みやうと思ふ

養鶏

養鶏王國と云はるゝ丈に斷然一頭地を抜き、飼養羽數五百萬羽、年産額二千萬圓にして全國の數字に比すれば飼養羽數二千九百萬羽の六分の一、産額一億圓の五分の一を占め羽數に於て本邦第一位である

愛知縣卵の聲價は近時著るしく向上を示し、國内は勿論、遠く海外に販路を開拓しその額七萬圓に昇り、多大の好評を博しつゝあるが、特に滿洲國への輸出卵は昨年中九十萬個、價格二萬圓逐年漸增の趨勢にあり

現在養鶏飼料を滿洲國に求め生産卵を彼國に送る事となり、共に堅く握手されて居る事は日滿經濟アウタルキーの一面を伺はれて愉快に堪へない次第である

本縣養鶏業の濫觴は明治維新食祿を離れた武士が生活の道を求めて養鶏を志したのに始まり、明治十年頃には獨立した養鶏業が續々出現し鶏卵、種鶏、食鶏は近隣都市へ移出の形勢を進めこの間、業者の異常なる研究に依り改良が加へられ明治二十年に至り、農家の實行養鶏に好適の國産名古屋種、三河種が造成せられたものである

爾來、白色レグホン種の輸入に依り三者相俟ち本縣の奬勵品種となり、改良蕃殖の實を擧げ、能力增進されつゝある

明治三十六年縣當局は農事試驗場に養鶏部を設置、各種の養鶏試驗を行ふ傍ら、優良種鶏卵の拂下げを行ひ、縣下養鶏の改善に努力し爾來多額の奬勵費を投じ、斯業奬勵助長に遺憾なきを期し、次表の如き發達を遂げたのである

年次	飼養戸數
大正七年	一六八、〇四二戸
昭和二年	一三三、一三六
昭和七年	一〇四、〇八〇

年次	同羽數
大正七年	一、七〇三、九六八
昭和二年	四、一二八、九五五
昭和七年	五、三三七、六一六

年次	産卵數
大正七年	一五〇、四二三、八四一
昭和二年	三七四、六七五、八七七
昭和七年	四九五、九〇一、七三三

而して養鶏組合、同聯合會が設立され、その發展に伴ひ一面雛の供給千孵化業者の增加發展を招きその數百有餘を數へ、孵化雛實に年三千萬羽の多きに及び縣外移出に成績を收めて居る

一面孵化用卵の不足を來し種禽業或は育雛専門家、雌雄鑑別を業とするもの現るゝ等、分業的養鶏事業行はるゝに至り、養鶏生産者販賣業者、飼料供給者の三者一團となり、養鶏の堅實なる基礎を形成するに至つたものである

特筆すべきは從來は養鶏に關する技術は輸入傳習であつた我國が今日に於ては、初生雛、雌雄鑑別百％を世界に向つて公開指導する立場となり、鶏卵の逆輸出を計り、堂々たる成績を收めつゝあるは養鶏王國愛知縣が明治初年以來辛慘をなめつゝも努力研究を怠らなかつた賜であると云ふも過言ではない

畜産加工業

本縣に於ける畜産加工業は豚肉加工品、煉乳及バターの製造品であつて(一)豚肉加工業は全國的に著明であり、本縣の養豚は近來農家の副業として盛んであり、生肉及加工品の需要多く今や其飼育數十萬頭に達し、東京横濱市場への出荷數も年々二三萬頭に及び加工業も次第に盛んとなり最近朝鮮滿洲方面への出荷量頓に增大將來を囑望さるゝに至つたその主なる加工業者は齋藤商會、山田廣吉商店、愛食ハム株式會社等である

(二)乳加工業　乳牛飼養數は約五千頭、飼地は名古屋市及知多郡を中心とする、加工の工場は數ケ所、最大なるは東海製菓株式會社大府工場であり、製品は煉乳(五十萬斤)クリーム(一萬貫)バター(一萬斤)である

園藝

豐饒なる十六萬五千町歩の田畑を擁し、農業經營組織は先進縣として既に名あり、特に園藝農産物は生産額一千五百萬圓に達し就中尾張平野に於ける蔬菜の栽培は其起原古く、品質收穫共に全國に冠たり

縣には、専門技術官及農事試驗場滿洲園藝分場を設け、合理的發達の誘導に努めつゝあるが、販路擴張に對しては、本縣農産物出荷組合聯合會に於て之れを統制し、全縣一糸紊れざる統制に依つて輸移出を計り全國各取引市場に斷然優越なる地位を占めてゐる

對滿貿易

對滿取引は昭和五年以來大連を中心として出荷を續け、蔬菜果實、觀賞植物等の輸出に努め、漸次好評を博するに至り、北滿に對しては吉會線全通の曉を考へ結氷期の蔬菜出荷に關して、多大の期待を以て計畫を研究中である

園藝品の滿洲國輸出の可能性あるもの、種類を擧げれば左の如きものである

大根、白菜、牛蒡、人參、茄子胡瓜、西瓜、南瓜、里芋、馬鈴薯、甘藷、蓮根、獨活、葱、菠薐草、莢豌豆、玉葱、温室及促成蔬菜、蕗、蔬菜種子、果樹苗木、梨、蜜柑、夏橙、觀賞植物花卉種子等

農家副業

農業經營の多角化を圖り、農山漁村の經濟更生の爲め、農村副業の奬勵に全力を擧げて居る、從つて近年副業は長足の進歩を來たし現在生産額五千萬圓を示すに至つた、製品販賣に對しては、愛知縣副業組合聯合會に於て所屬團體を統轄して輸移出に當り、技術的方面の指導にも當つて居る

本縣の副業品は現在では、東西兩都市へ主として出荷されてゐるが將來は滿鮮地方に向つて雄飛の計畫を進めつゝある

滿鮮方面への主なる副業品は大根切干、茶、干大根、干柿、グリンピース、筍罐詰、澤庵、福神漬、トマトソース、ケチヤツプ、椎茸、兎毛皮、蜂蜜、食用蛙、疊表、眞綿、麻繩等である

織物王國 福井縣
全國に冠絶する輸出額 八千七百十餘萬圓

福井縣は日本中央部に位し、越前、若狹の二國を併せ面積二百六十萬里、人口六十一萬八千餘人、中央部を九頭龍、足羽、日野の三川西北に走つて、日本海に注ぎ、其の流域は越前平野をなし地味肥沃、農耕に適し米麥、大豆、馬鈴薯、蔬菜、果實の産多く、夙に織物業發達して我國絹織物の大宗をなし海外諸國に輸出し、本邦輸出貿易の重要なる地位を占め、又西北一帶は日本海に面し海岬長汀九十二里に亘り魚族頗る豐富にして且つ河川沼湖の魚利尠からず、其他蠶糸、繭、清酒、漆器、打刄物等本縣産業に付き一般に紹介すべきもの少くない

特に敦賀港は古來より日本海第一の良港と稱せられ、日露滿鮮の交通要衝に當り、政府に於ても之を重要視し連年巨費を投じて港灣の修築を完成せる折柄、滿洲國の獨立並に吉會線の全通に依り北滿地方との距離著るしく短縮された結果、滋賀縣、京都府愛知縣石川縣等の所謂中部日本の物資は敦賀港を利用せんとする傾向頓に顯著今後愈々日滿交通運輸の關係密接の度を加ふるに從ひ同港は將來重大なる役割を演ずる事とならう

本縣總産業の總産額は昭和六年の統計に依れば一億二千三百九十五萬八千百三十三圓であつて人口一人當り約二百圓強、内工産額九千四百八十七萬五千餘圓本縣總額の約七割強に相當し、最も重要な地位にある、今其の主要物産織物について概況を述べる事にする

織物王國福井縣の名は内地は勿論遠く海外に其の盛名を馳せてゐる、從つて之が消長は直接本縣經濟界に重大なる影響を及ぼすものである、沿革は古く一千年の昔に遡り、爾來天輿の氣候風土に惠まれ連綿として其の生産を續けて來たが、明治初期に至り奉書紬を以て世に知られ明治二十年現在の羽二重を創製し遠く海外に輸出して聲價を得、縮緬、羽繻、富士絹等相續いて興り大正八年には此等の生産額實に一億七千萬圓を突破するに及び其の名天下に喧傳せらるゝに至つた、然るに其の後生糸の暴落と世界的大不況とに禍され絹織物の需要も亦漸減したが此間一面人絹織物勃興し異常なる進歩發達を遂げ昭和七年の織物總産額は金額に於て八千七百十三萬圓に減じたが數量に於て千百九十四萬五千點に及び年々激增しつゝあり

實に本縣は我國絹織物輸出額の約四割に達し、人絹織物輸出額の約六割を占め斷然全國に冠たるものがある、之が産地は越前一帶に散在し福井、松岡、森田、丸岡、春江、武生、鯖江、神明、勝山、大野等が其の中心地帶をなしてゐる、昭和七年末の調査に依れば左の如し

項目	數
機業戸數	千七百九十一戸
機臺數	四萬三千八百十五臺
職工數	二萬八千六百五十一人
使用動力	七千百六十三馬力
撚糸錘數	二十二萬一千四百錘
輸出羽二重	四、九二九、八八一圓
輸出縮緬	八、〇〇六、七四七圓
輸出絹紬	八、一七〇、六七三圓
輸出富士絹	一、五一五、五一〇圓
輸出人絹織物	四五、〇二一、三九四圓

之等の輸出先は英領印度、蘭領印度、埃及、南阿、フイリツピン、濠洲海峽殖民地、南米、北米、英佛、アルゼンチン等に販路を有し最近滿洲國への輸出額益々增加の趨勢にある、用途は主として婦人服地、ワイシヤツ地、レンコート地、シヨール、カーテン、テーブル掛地其の他裝飾として愛用されてゐる、其の外漆器、紙、瑪瑙、打刄物等の産額見るべきものあり本縣の産業的將來たるや實に洋々たるもののあるを知る事が出來る

伊勢木綿と萬古焼の本場 三重縣の工業界

本縣は本州中樞に位し、交通は海陸共至便なるのみならず、畏くも伊勢神宮鎭座の地として古へより參拜者の往來頻繁なるに伴ひ文化夙に開け百貨の集散多く、加ふるに西に京都、大阪、北に名古屋の大都市、消費地を控へ、海運は東海第一を誇る天然の良港たる四日市港ありて一萬噸級の巨船が自由に出入し、商港としてその聲價を世界的に知られてその實を擧げて居る

四圍の状況は自然各種工業の發達を促し、殊に近年長足の進歩を示し其の産額は一億五千五百萬圓に達するに至つた

其の種類は多種多樣、就中重要なものは、紡績、綿糸、織物、蠶糸、陶磁器、タオル製品、菜種油清酒、漁網、醬油、鑄物、漆器、人造絹糸、メリヤス、電線、傘、琺瑯鐵器等であつて之等の生産組織は近年從來の手工業より機械工業、工業組織に進み會社經營に移るの傾向逐年增加其面目を一新するに至つた

代表的のもの一、二に就いて概略を記し其他の物産年産額を示せば

織物

織物は本縣工業品中主要物産で昭和三年の産額三千三百五十萬圓で織物産額の大部分である、主なるものは

津市を中心とする伊勢木綿
松坂を中心とする松阪木綿

が尤もたるもので、夙に品質の堅牢を誇つて居る

最近時勢の進運に伴ひ小幅物から廣幅織物に改められ、之れが織機を增設し産額の增加を圖り最近年度二千百萬圓以上を製産し滿洲及南洋方面への輸出が多い

陶磁器

萬古焼、大正焼の二種が代表的なもので産額は約五百萬圓、その内八割まではアメリカ、南洋、濠洲、西歐各國へ輸出され最近滿洲との貿易旺盛なるに至つた、萬古焼の起源は元久年間に始まり、天保年間に至つて再興を見るに至りこれが今日の四日市萬古焼の鼻祖となつた

大正焼は大正年間に於て多年の苦心研究の結果が酬いられて、大改良を加へられ、大量生産に適した陶器を出し大正焼と命名され産額販路の擴張を圖る事となつた、現在、陶磁器工場數は百五軒、職工數三千五百名、此外家庭副業としての生産業者も多數あり、價格の低廉なる事殆ど比類なき特徴と亦外觀優美特有の光澤あり多樣な色彩を出し大衆的であつて品種も甚だ多い

同業の統制機關としては萬古陶磁器工業組合、卸賣商業組合、等設置されて、各機能に應じて活躍しつゝある

其他の産額

菜種油(二百六十七萬圓)琺瑯鐵器及漆器(九十六萬圓)和紙(三十三萬圓)、紙製品(百七十萬圓)賣藥石鹸(七十五萬圓)電線(百二十萬圓)メリヤス(五十六萬圓)伊勢表(三十萬圓)食鹽、眞珠酒類(七百萬圓)醬油、溜(三百六十萬圓)、鑄物製品(百六十萬圓)人造絹糸(百萬圓)竹製品(三十三萬圓)等である、本縣工業は漸次健實なる發達を遂げ、縣下總物産生産額の五割五分を占むるの重要性を帶びて居る豐富なる原料と有利なる天惠とを享有せるを以て將來一層の進歩發展を期待せらるゝもので今や、縣民協力諸般の研究と奬勵機關の活動に遺憾なきを期して居る

愛知縣命令航路と 大連汽船株式會社
昭和八年に入つて名古屋港の輸出貨物頓に增加す

對滿貿易の伸張に伴ひて愛知縣の命令航路たる大連汽船の取扱貨物は順調に、しかも異常の增加を來たし、日滿貿易殊に中部日本との商取引において大連汽船の任務は重要性を增して居る

大連直通航路

大連汽船株式會社の名古屋＝大連航路は愛知縣の命令定期補助航路であつて名古屋港出帆後は阪神、門司各港何れも寄港せず直行し正味四晝夜半にて大連港に到着するなほ大型船にて其上途中不寄港の爲め他港荷を積重ね荷傷みの心配は少しもない、然も愛知縣の補助航路として特に運賃も低廉であるから滿洲國方面の取引に對し最大の好果を收め得らるゝことが特長である、右の意味に於いて本航路利用出荷の手續は左記代理店で懇切に取扱つてゐる

名古屋市南區港本町六丁目
合名會社 淺野信治商店
電話(南)三〇〇六 四三〇五

情痴行進の 亡き青柳貢の手記 系圖を語る

兒玉勝美

夫人と知合になつたのは昨年の暮或る喫茶店から私の五年前の音學の講師で御幡氏が只今〇〇喫茶店に例の二人とお茶を飲んでゐるから會社歸りに寄らないかとのことで例の〇〇夫人とはかねがね噂になつて居た、私の友人松谷夫婦や御幡さんから聞いてゐた、實に高慢ちきな虚榮の高いいやな女とのこと、皆常盤橋メソヂストの信者、どんな奴かと一つは好奇心に驅られて退社後喫茶店にゆき御幡夫人に紹介されました、成る程いやな女でした

◇……◇

その後クリスマスイヴニングの夜遼東レストランで偶然御幡夫人が例の夫人を連れて來られました、その時もいやな感じがしましたがその後屢々夫人の呼び出しを受けました、始め二三回は辭退しましたが或る日遼東レストランで待つてゐるから是非とのことに私も夫人に誘はれるのは初めてなので一人で行く勇氣はありませんので、友人二人と參りました、六時近くになりましたが夫人は一向に歸る氣配がないので皆が歸ることを勸めました、夫人曰く「何おやぢ位かまひません、少し位遲くなつても」これには皆もちよつと驚きました、間もなく仕方なしに歸りました、その後一日に二、三回はかならず電話がかゝるやうになりました、それは私の横にゐる小〇が好く知つてゐます、彼が取繼ぐ時三度の内一回かゝる位で、後は席にゐないとか、まだ來てないとか逃げてゐました、そんなに嫌なら何故お茶飲みに行つたかとお尋ねになるかも知れませんが餘りの歡めに對して可愛想な氣もしたからです、或る時はおやぢが宴會だからダンスに行かうとか、夕食を共にしようとか色々ありましたが、ダンスに二回程行きました、初めを快樂に、二度目をペロケに參りました、無論この日は主人が宴會にて留守の日でした

◇……◇

或る日電話で今晩おやぢが宴會だから是非お茶飲みにかダンスに連れて行つてくれとの事で承知しました、電話は必ず午前中會社にかゝるのです、一人で行くのが何んだか變なので私の横の席にゐる小〇氏に何時頃〇〇喫茶店に來てゐるやう頼んでその日夕方會ひました、そして〇〇喫茶店に行くと小〇氏と偶然會つたことにして三人で雜談を交し約三十分程して散歩に行き赤玉にゆきました、そこで十二時近くになつたので歸ることを進めましたが一向に平氣で「何時計を二時間程遲らしておくから大丈夫だ」と言つた調子」總てがこんな風でした

青柳貢

巌の如き冷徹さ

感情も生物運動の現象とみる 人間兒玉の私生活

一人の女に三人の男が纏ること常識的推理を許さない複雜な事件を惹起した原因の大きなものは多年續いた博士夫妻の冷たい家庭生活の醸し落したものと見られてゐるが、まことに科學者兒玉博士の反面としての

人間 兒玉誠の私生活は變質的なほど冷徹極まるものであつた、博士が千葉醫專入學以來二十年間、全く研究室の生活に終始し青春時代も世上の雜事には無頓着で顯微鏡を抱いて暮し續けたものであつた、安藤衞生研究所長は兒玉博士を評して

朝は早くから夜は九時過ぎまで衞研の研究室にゐて自宅に歸るのはたゞ寢るだけだつた、科學者としては實に純粹なおそろしい程のゑらい人だが

世情 に疎いことは全く常識では考へられない程で而も口は吃ると常識的な世に出しては生きていけない程の好人物だと語つてゐた程で世情とは超越した兒玉博士の爲人を一應知つた上でないとこの不可解な事件を解釋することは出來ない、兒玉博士が如何に人間離れした性質であるかは二十三日來取調べに當つてゐる沙河口署係員も呆氣にとられてゐる、博士の自供により第一の姦夫中薗が第二の姦夫青柳を殺害した原因を

係官 が訊問すると博士は恬然として

そりや多分嫉妬のためでせう

輕くいつてのけて自らの氣にもとめない、取調べの係官はまるきり他人事の樣にいつてゐると、淡々として拘らないがあの氣持が解せない餘程變つた人だと首を捻つてゐたが博士は終にこの出來事は一體私の何處が惡いのですか、何處が罪になるのですと反問して來る有樣で係官の訊問が餘り急で事を重大視してゐるのが心から不思議でたまらない有樣だ、二人の姦夫を前に置いてその上に勝美夫人まで侍らして、其の場で最も

激昂 すべき事件の主人公たるべき博士が却て傍觀者の立場にあつて姦夫同志の奇怪な殺人事件が勃發、この奇妙な犯罪が織出されたものである

ジキル博士とハイドの二重人格物語りの例は兒玉博士には少し當てはまらないが科學者兒玉博士にとつては世の戀愛とか鬪爭といひ喜怒哀樂の感情も所詮博士が日常顯微鏡下に見る微生物の運動が博士專攻の腦病理學の一現象にしか過ぎなかつたのであらう

とは或る博士友人の談だ、あの怖るべき兇行のあつた直後二度も兒玉博士に會つて兇の腦片所驗を

依頼 した大連療病院長豐田博士は當時の博士の素振りを追懷して未だにこの事件の兒玉博士と關係あることを疑ふ人であるが

豐田博士は相當緻密な腦力を要する依頼實驗を博士は日曜まで研究所に出てやつてくれた、そしてその結果をいたゞいたが明確な實驗回答ぶりで而も事件の起つた後二度もお會ひしたが机上で論文を書いてをられた、そんな怖ろしい兇行にたとひ手傳つたにしろあんな冷徹に研究を續けられるとは幾ら科學者とはいへ解しかねる

と語つてゐる、滿洲チフス病原體の發見者として世界醫學界に名を知られた微生物學、腦病理學の

權威 兒玉博士も斯くの如く社會人としては確に變質者としての性格的缺陷を有してゐた、この博士の性格的缺陷が今回の事件に常識以上の奇怪な謎を織り込むと共にまた實にこの變質者博士の冷徹な夫婦生活こそが「淫婦」勝美夫人を作り出しまた二人の姦夫の複雜な相剋を織り出した宿命的な因子となつたものであらう

新しい情婦

血の舞臺に登場 沙河口署で嚴重取調

有閑マダムから人妻へさらに私娼窟の女將へと情痴の世界を泳ぎ廻つた青柳殺しの元兇で博士夫人と

內地 へ逃亡してゐる中薗秀雄(三〇)と兇行後まで關係を繼續してゐたといふ新しい女が血で彩らる舞臺に登場した――

てからも情交を續け、彼女が會館を辭める直前、本月二十日頃まで

毎日のやうに中薗から電話が掛り密會してゐた事實が判明、沙河口署の取調べとなつたので、從つて兇行後における中薗の

言動 を知る唯一人物として重要視されてゐる、彼女を岩代

いま彼はいづこへ

同情と誠意で 圓滿に解決

富田サーカス事件

民間側公判

五・一五事件

蘇炳文事件の 記念碑竣工

きのふ除幕式擧行

淸津新京間 直通列車 時刻表決まる

大激論を交す

ルデイ局長と張副管理局長 北鐵管理局員問題

奉天の强盜團 悉く逮捕す

奉天署の意氣昂し

女を賣り飛して 渡滿し熱河從軍

新京に歸つた運轉手の蕾惡

第二次滿洲 國體育大會

廿九日から擧行

別府方面に 犯人潜入か

羅津遺骨事件

全滿各地に 慰問使派遣

溥儀執政が

遠藤中佐挨拶

新港丸進水式

伏見臺兒童 圖書館休館

實業展望(第二號)

滿蒙總支社(募集)

颱風圏内 (106)

畑耕一作　山田喜作畫

反逆者（九）

「なに、理由？——目的？」
「さうだ」と、斯波は傲然と腕組した。「君は今、僕を裏切者と言つたれ。ふむ、裏切者——それもよからう。その裏切者としての理由と目的で立聞きしてゐた——と、言つたらどうするれ？」
「な、なにつ！」
「まあ落つけ。驚くのはまだ早い」
「手前なんかの仕ぐさに、なにを驚くことがあるもんか。その理由と目的——こゝじやあ聲が大きくなる。家外へ出やう。出て聞かう」
「いや、僕はこの部屋に用がある」
「話の相手はおれだ」
「はゝゝ。自惚れてゐるな。君なんかになんの話がある？僕が立聞きしてゐた理由は、この部屋の中に、僕の目的通りの事實が起つてゐるかゐないか、それを探知するためだつたのだ。そして、その事實はあつた」
「なに、事實？」
「はゝゝゝ。小宮織江といふ若い美しい女性が果して來てゐられるかどうかの事實だ」
「な……なにつ！」
銀次は眼を光らせた。
「や、あなたは小宮織江さんですれ！僕はあなたにお話があるのです。お話——こゝではどうかと思ひますから、出來る事なら——いや、出來ないことでも——是非僕と一緒においで願ひたいのです」
斯波は構はず進んで織江の手を取らうとした。
「あ！なにをなさるんです。わたくし……」
織江は乙彦のうしろに逃れた。
「はゝゝ。なにも御存じないからさう仰有るんでせう。だが、僕は決して心配な人間じやありません。信頼して頂きたい。僕は或る人の命令によつてあなたをお迎ひに來たのです。僕と一緒においでなさればわかることです。さあ、どうぞ」
「なにをするつ！」
進んで手を伸ばさうとする斯波を、銀次はドンと突き飛ばした。
わざとらしく大きくよろめいて斯波はドアに背をあてた。
「妙な眞似をしやがると、たゞあ置かれえぞツ！」
「はつはゝゝ。あゝ恐ろしいとでも言はなきやあ、君の引つ込みがつかないかな。——だが、僕あそんなおつきあひの芝居をしてゐる暇あないんだ。理由と目的——この織江さんを受取りに來たのが裏切者としての理由と目的さ。下手に惡あがき•••すると、ためにならないぜ」
「織江さんを受取る——とは、なんだ？」
「鏡子さんの場合でも、君は「誘惑」つていつたらう？この織江さんに對しても、そんな言葉を使はれちやあ心外だ。だから、「受取る」つていふのだ」
「手前にそんな……」
「はゝゝ。僕は理由と目的があつてやつて來たんだよ。立派な——當然の理由と目的と——だ」
「な、なにつ！」
「説明するよりも、さあ、このお方に會ふがいゝだらう」
斯波はサツとドアを開けた。
「あつ！あれつ！」
恐怖に滿ちた織江の叫び——
そこにピストルをつき出しながら、ニタリと凄く笑つて立つ男——

滿日俳壇

殘暑　島田青峰選

秋暑し提げし荷物の持ち重り　大連　高木春蔭
小地震におびやかされし殘暑かな
喘ぎ行く荷馬車の列や秋暑し
箱庭の池濁り居る殘暑かな
避暑の人去りたる濱の殘暑かな
秋暑し潮浴びて居る異人達
秋暑し一風呂浴びて欄に寄る　大連　川上春枝女
穴を出て泡ふく蟹や秋暑し
鐘樓に遊ぶ子守や秋暑し
秋暑し露路をふさぎて花車
アトリエに殘暑の西日當りけり
糸とりの繭おごりゐる殘暑かな
蠶棚の下に寢る子や秋暑し
秋暑の栢榴の花の二番咲
白粉の花に殘暑の埃かな

ビクター十月 洋樂新譜を聽く

ビクターは遂にレコード界待望の豪華版ベートーヴエンの「協奏曲—第四番」（シユナーベル演奏）とバツハの「ブランデンブルグ協奏曲—第五番」とを發表した、此の二つは演奏、吹込、其他凡ての點に於て名盤の名に背かず、長い間のフアンの期待を充分滿足させよう、其他名曲、名歌、等々、秋の夜永に一家團欒の十數種あり

家庭衛生の大家今津佛理博士は幾多の苦惱と闘ひ 愈々藥界に驀進

家庭衛生に非常なる貢獻をなし坊間より衞生博士と、稱せられた佛國理學博士今津明氏は、數年來人知れず研究室にて研鑽をこらし、植物の精髓花粉から化學的純粹のエキスを抽出する事に成功し加ふるに齋藤醫博の臨床實驗今津農學士の化學實驗とが、根幹となり苦心の結果、肺系統の新良藥イマヅミンの完成を見た事は先に報道した通りであるが、之は果然異常なる反響を讀者に與へ、同博士は各地より殺到した照會の回答に忙殺されてゐる。

同博士夫人のかくれた美談

この成功の蔭には、實に涙ぐましい挿話がかくされてゐる、即ち同博士夫人は爾來ひどい喘息の持病があつた、從來良藥がなかつた處、同博士は喘息は氣管支の痙攣性發作との見地から、敢然決心して齋藤醫博と協力し、夫人を試驗臺として遂に喘息を驅逐し全快するに到り、多年の宿望を達成したのである。

尚序ながら同博士の近況を報ずるに、博士はイマヅミンの完成のみに飽きたらず、引續き新時代の要望する體力を旺盛にする藥劑の研究中で未だ發表するに到らぬが、殆んど完成に近く愈々成功の曉には、再び藥界を革命せしむるであらう、吾人はこの偉大なる學者の健鬪を祈るものである。因に病患の問合せは大阪大仁本町今津化學研究所へすれば懇切に養生其他注意事項を回答する由。

人物と團體を解剖する

現代日本を動かす人物と團體、それは政界、學界、教育界、宗教界、陸海軍關係、藝術方面其他あらゆる方面に亘つて分布されてゐるが「現代日本に活躍する人物とその團體」をつけてこの方面から時代の動きを見んとする人に多大の便宜を與へてゐる。

筆者は何れも第一流の知名の士雜誌週間記念附錄としてはまことにふさはしいものである。

一册の雜誌に附錄が三册

婦人倶樂部十月號の附錄は三種で二册、第一が「流行新型毛糸編み物全集」六倍判二〇四頁の大部册、原色刷の口繪が四十四頁、次が「新考案の毛糸模樣編二百種」四六判一九二頁、毛糸編物愛好の長い間の懸案となつてゐた模樣編の集成、その次はお馴染の「凸凹黒兵衛」この漫畫本が、家庭での大受け、大歡迎、第一の編物本は素晴らしい重寶さでヤンヤ云はれ第二第三も夫々どれが要らぬとは云へぬ金的のもの、本誌五百餘頁特大號に二重の驚きだ

珍趣向の廣告船

全世界にその覇を唱へて居るシボレーが、今回大きな船の船腹に大文字を書き「水上移動廣告」の嶄新な方法を案出して、さすがの米國人にもアツといはせてゐる。それはシボレー工場の貨物船を利用したるもので船腹にアルミニユームで高さ七呎餘の大きな文字で「世界一の賣行は世界一の價値を示す」のスローガンとシボレーのマークを入れた大廣告である。

雄辯（十月號）

雜誌週間記念特大號として別册附錄杉村陽太郎氏著「祖國に歸りて」全一册、四六判二四八頁をつけてゐる、著者は聯盟事務次長として我國の聯盟脱退に際して松岡洋右氏と共に大活動をなしたる人、最近歸朝して祖國の現狀につき大に考ふるところあり、即ち氏がわが國民殊に青年諸君に愬ふる切々愛國の至情である、讀者は歐米の實狀を詳にし、著者獨得の堅實透明なる批判によりて世界列强の間に介在する日本の運命を正確に認識することが出來よう、他はすべておして知るべしである

齒ブラシを永持させる秘訣 家庭の常識

齒ブラシは使用後日光の當る通風のよい個所にかけて、よく乾燥させておくと衛生的でもあり、永持ちもいたします。又時々消毒をすることは衛生上大變よい事です。熱氣消毒と云つてもホーローのコツプに刷子を入れて熱湯をかければ、それでよろしい。此の點ではセルロイド製のものは、しばんだり曲つたりして感心しません。齒ブラシはやはり骨柄のもので毛がかたく齒並みに合せて切つた信用のある品がよい。慾を云へば、齒ブラシは三本備へて朝晩交互に使うのが理想的です